口之島野々頭墓地トイレ整備設計委託業務

	意匠		電気設備		機械設備
図面番号	図 面 名 称			図面番号	図 面 名 称
A-00	表紙	E-01	電気設備 特記仕様書	M-01	衛生設備 特記仕様書
A-01	特記仕様書1	E-02	付近見取図・配置図・工事内容・特記事項	M-02	配置図(衛生設備)
A-02	特記仕様書2	E-03	構内配電線路・引込柱装柱図(参考)	M-03	平面図(衛生設備),配管凡例表,衛生器具表
A-03	特記仕様書3	E-04	電灯設備平面図・照明姿図・盤結線図	M-04	浄化槽設備図1
A-04	特記仕様書4			M-05	浄化槽設備図2
A-05	特記仕様書5				
A-06	特記仕様書6				
A-07	特記仕様書7				
A-08	特記仕様書8				
A-09	特記仕様書9				
A-10	特記仕様書10				
A-11	仕上表・面積表・位置図				
A-12	配置図				
A-13	平面図・立面図・断面図・建具表				
A-14	断面詳細図・展開図				
A-15	部分詳細図				
A-16	構造図				

十島村役場

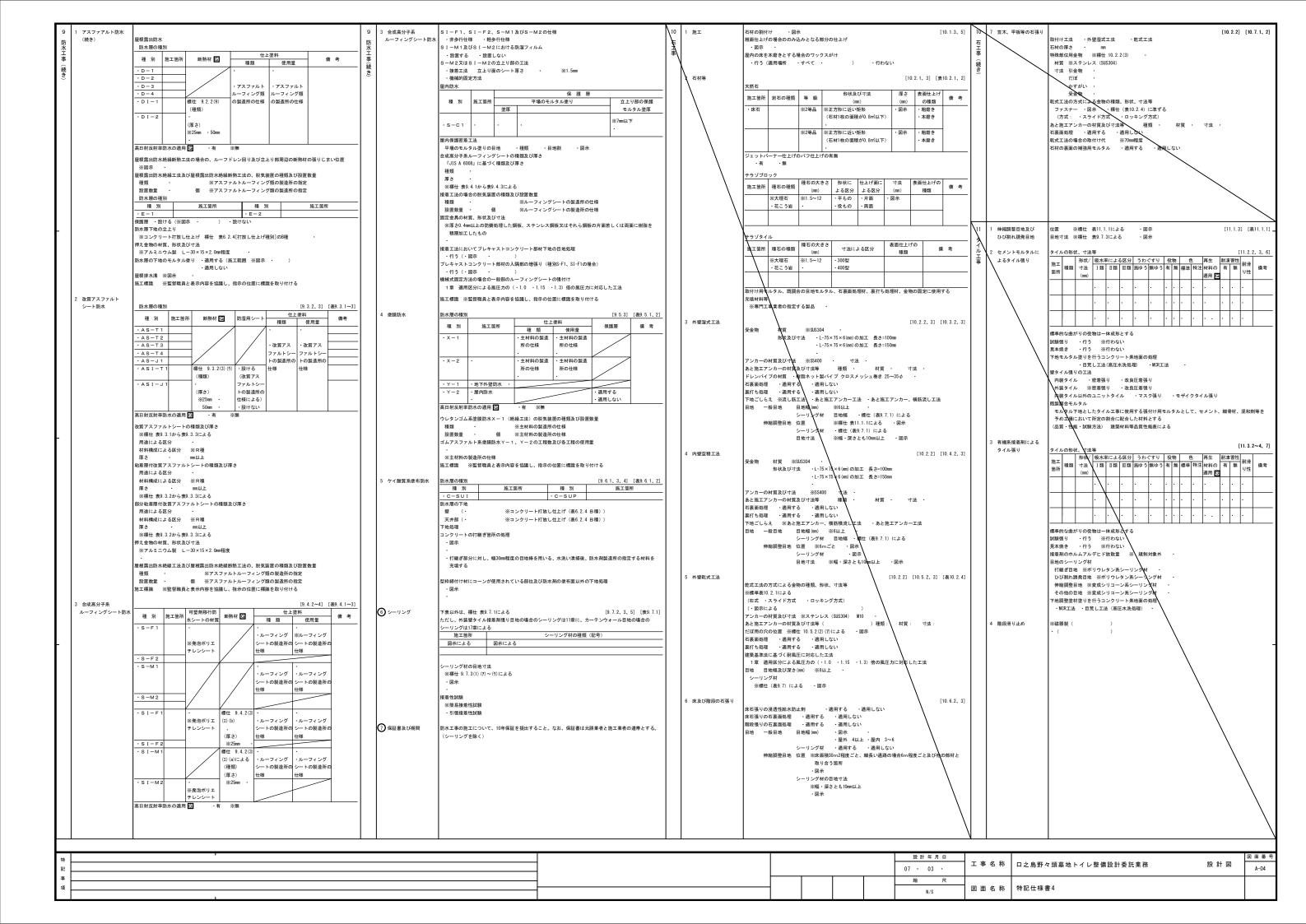
特	•				設計年月日	丁重夕		図面番号
58					07 - 03 -	工事名称	口之島野々頭墓地トイレ整備設計委託業務 設 計 図	A-00
事		 		l	縮尺			
項					W / /	図面名称	表紙	
					N/S			

	T 1					
建築工事特記仕様書	章 項目	特 記 事 項	1 11 一級技能士	下記により適用する技能士については、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をする [1.5.2] とともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う	2 ① 監督職員事務所	・設ける ・設ける(既存建築物の一部を使用する) ② 設けない [2.3.1] 面積規模 (・10㎡ ・20㎡ ・35㎡ ・65㎡ ・100㎡ ・ () ㎡)程度
1. 共通仕様	1 ① 適用基準等	※ 適用を受ける関係法令等を遵守すること	各 章	適用工事種別 技能検定の職種	し 仮 ・ 設 ・ ・	仕上げの程度、設置する設備、備品等の種類及び数量は現場説明書による
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事様準仕様書(建築工事編) (令和4年版)」(以下、「標仕」という。)による。	各音	(参考) ☑建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修)(令和4年版)	通	鉄筋工事 ・鉄筋施工(鉄筋組立て作業) コンクリート工事 ・型枠施工 ・コンクリート圧送作業	事	監督職員スペースと工事監理業務の職員スペースは間仕切り等で仕切る 監督職員事務所の仕上げ
2. 標仕のうち必要として特記する事項と、その他必要として特記する事項を特記事項とする。	<u> </u>	●構内舗装・排水設計基準及び参考資料 (平成31年版)	項()	鉄骨工事		部 位 等 仕 上 げ
3. 特記仕様 (1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。	事	●建築工事安全施工技術指針(官庁営締部) ●建設工事公衆災害防止対策要網(建設工事編)(官庁営締部)	続 き	ブロック・A L C バネル工事 ・ブロック建築 ・ A L C バネル施工 ・ ブロック建築 ・ A L C バネル施工 ・ アスファルト防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業		床 合板張り又はビニル床シート張り 内壁、天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り
(2) 特記事項は、 ① 印の付いたものを適用する。		●建設副産物適正処理推進要綱(平成14年5月30日国交省通知122号等)		・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・シーリング防水工事作業		屋根 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は、鉄板張り、調合ペイント塗り
○ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。○ 印と※ 印の付いた場合は、共に適用する。		●廃棄物の処理及び清掃に関する法律●資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)		石工事 ・石材施工 (石張り施工) タイル工事 ・タイル張り	② 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる (※有償 ・無償) [2.3.1]
(3) 特記事項に記載の[] 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。		●建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)		木工事・建築大工		
(4) 特記事項に記載の () は「各部配筋参考図」の当該項目を示す。 (5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また () 内は製品名を示す。	2 工事実績情報の登録	 ※適用する 対象工事 [1.1.4]		屋根及びとい工事 ・建築板金 (内外装板金作業) 金属工事 ・内装仕上げ施工 (銅製下地工事作業)	③ 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる (※有償 ・無償) [2.3.1]
(6) 印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」の特定調達品目を示す。グリーン購入法による調達推進品目は、		※工事請負金額500万円以上 ()		左官工事 ・左官	4 現場表示板	規格 ※下図による ●監督職員の承諾による
「鹿児島県環境物品等調達方針」の環境物品等調達推進品目等一覧表及び別表 1 (鹿児島県のホームページからダウンロード可能) による。	③ 品質計画	・施工計画書で工法を定める場合の風圧力の計算 [1.2.2]		建具工事 ・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工 ・木製建具手加工作業 カーテンウォール工事 ・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工		材質 ※県産杉板 ●監督職員の承諾による
4. 前金拉		※基準風速 (Vo) (46) m/s		塗装工事 · 塗装 (建築塗装作業)		県シンポルマーク 150×150程度
契約金額100万円以上の工事にあっては、契約金額(全体又は年度毎の出来高子定額)の10分の4を超えない範囲内に限り許払金の支払 を請求することができる。		※地表面粗度区分 ・ I ・ I		内装工事 ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ボード仕上げ工事作業 ・ 表装(壁装作業)		↑ #
- 6. 中間前金払又は部分払かの選択		・上記風圧力の1.15倍の風圧力に対する安全性を確保する		植栽工事・造園		工事名工事発注者
契約金額100万円以上の工事にあっては、契約に当たり中間前金払又は部分払き選択することができる。 ・ 中間前金払		適用工種 ・ALCバネル(外壁、屋根)・押出成形セメント板(外壁)・外壁石張(乾式)・外壁材(外断熱 工法)・長尺金属板糞Φ折板糞・アルミ笠木・ガラスブロック・シート防水(機械式)				股計者
契約金額(全体ス体年度等の出来高子定額)の10分の2を超えない範囲内に限り7の全ての要件を満たす場合に中間前出金の支払を請求		・屋上緑化システム・()	12) 完成図等	完成図 ※作成する(完成図の種類 ※全ての設計図 ・ ()) [1.7.2]		900 監理者
することができる。 - 7. 中間前金比の要件	4 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、 [1.3.3]		完成図の様式等 A 3縮小二つ折り製本 ※3部 ・()部 [表1.7.1] A 1二つ折り製本 ※1部 ・()部		施工者
(1)工規の2分の1を経過していること。		電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ・要 ・不要		完成図のCAD図面データ CD-R ※3枚 ・()枚		-
(2) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。(3) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。	5 45-50			・作成しない 保全に関する資料 ・作成する(提出部数 ※1部 ・()部)		1800
- 0. 部分社	5 施工条件	標任 1.3.5以外の施工条件 ・図示 ・現場説明書 [1.3.5]		※作成しない		※設置位置は、監督職員との協議による。また取付けは、強風に対し安全な工法とする
<u> </u>	⑥ 発生材の処理	・発注者に引渡しを要するもの (・金属類 ・ PCB含有物 ・) [1.3.11]	(13) 完成写真等	撮影箇所及び方法については、「工事写真撮影ガイドブック(平成30年版)」による		
契約締結後速やかに火災保険に加入し、保険期間は工期後21日とする。		引渡し場所 ※構内 ・ ()		下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする		
10. 県産資材の優先使用 (1) 工事に使用する資材については、県内で産出、生産又は製造されたもの(以下、「県産資材」という。)の優先使用に努めること		・特別管理産業廃棄物の処理方法 ()		区分 分類 規格 部数 備考	<u> </u>	Like day was
とし、さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めることとする。	. []	再生資源化を図るもの又は廃棄するもの ・有 ・無 分類 受入れ施設名 所 在 地 搬出距離 (km)		着工前 部分:サービスサイズ ・	3 1 埋戻し及び盛土	材料及び工法 種別 [3.2.3] [表3.2.1] ・A種 ※B種 ・C種 ・D種
(2)以下に記載する「指定主要資材」の中で県産資材を使用しない場合、「県産資材等不使用状況報告書」を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。	·	・コンクリート塊		工事中 ※デジ タルカクラ カラーサービスサイズ ※ 1 部 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	並	C種の場合 (発生場所)
《指定主要資材(7品目)【生コン(レディミクストコンクリート)コンクリート二次製品 石材類 アスファルト合材 木材 樹木 芝】)	・アスファルト ・コンクリート塊		完成時 ※デックルカルラ 全景:キャビネサイズ ※ 1 部 外観4面/棟 内部全状況	7	(連絡先) (連 搬 ・発生原因者側 ・本工事 km)
(3) 前項の「果産資材等不使用状況報告書」において、第1項の資材業者等から調達しない場合は、その理由を記載すること。(4) 工事完成時及び監督職員から指示された場合、「建設資材使用実績報告書」を監督職員に提出すること。		○建設発生木材		(出来形時) 部分:サービスサイズ 実態調査用 ※デジ外が5 カラーサービスサイズ ※ 2 部 外報4面/棟		
11. 下請工事における管内(県内) 建設業者の優先活用				電子データ ・完成時写真 ・工事中写真 ・着工前写真	② 建設発生土の処理	※構外指示の場所 受入施設名 所在地 [3.2.5] 受入れ場所 指定無し)(
(1) 工事の一部を下請に付する場合は () 管内に主たる営業所を有する者を活用するよう努めることとする。 (2) 前項で定めた建設業者を活用しない場合、施工計画書等の提出と併せて「下請工事における管内建設業者等不活用状況報告書」を		上記に示す受入れ施設は参考であり、実施に当たっては関係法令を遵守し、適切な処理を行うものとする。		100×125以上の原板を使う場合には、監督職員にあらかじめべた焼きを提出し確認を受ける 電子データは、RBG(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-ROMにて提出する		受入れ場所での処置 (・敷均し ※たい積)
監督職員に提出すること。		なお、処分場の決定に当たっては、監督職員と協議する。 ※建設廃棄物処理計画書の作成		撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影者 ・監督職員の承諾する撮影業者		搬出距離 (
(3) 工事完成時及び監督職員から指示された場合、「下請業者使用実積報告書」を監督職員に提出すること。12. 配置技術者等の途中交代		※再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の作成	(14) 設備工事との取り合	い 設備機器の設置、取合い等が検討のできる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける [1.1.7]		上記に示す受入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督職員と協議のうえ決定する
(1) 配置技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、傷病、退職等、真にやむを得ない場合の	⑦ 環境への配慮	本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有する [1.4.1]	_			- 構内指示の場所 () ・ 処理の方法 (・ 敷均し ・ たい積)
ほか、下記に該当する場合である。 ① 受注者の責務によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合		とともに、次の1) から4) を満たすものとする。	(15) 設計GL	※図示による ・現地地盤の平均高さとし、監督職員と協議する		資源利用法に基づく届け出
② 工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点		1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、 その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、	16 既存部分等への措置			
③ 大規模な工事で一つの契約工期が多数年に及ぶ場合(2) 上記(1)のいずれの場合であっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ		アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定		準じて補修する		
- 途中交代が可能となる。		する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する 2)接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する	① 騒音振動の防止	低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき指定された建設機械を使用する		
13. 電子結局 (1) 本工事は、電子結局対象工事であり、電子結局とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として結局する	.	3)接着剤は可塑剤(フタル酸ジー-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない		適用工事(土、地業、コンクリート、舗装、植栽、とりこわし等)		
こと」をいう。ここでいう電子結晶とは、「鹿児島県電子結晶ガイドライン(案)(令和2年8月):(以下、「ガイドライン」という。	<u>-</u>	難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する 4) 1) の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、	18 部分使用	この工事については、部分使用は ・有(図示) ・無	4 1 地盤調査の結果	調査位置、柱状図、地層構成、地下水位
に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。 - (2) ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体(00-R) で正本+部、副本2部の計9部提出する。電子化しない成果品について	<u>.</u>	アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする	19 一部完成	この工事については、一部完成は ・有(図示) ・無	地業	※資料提供 ・図示による ()
従来どおりの取扱いとする。電子結晶レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。	•	また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は次のとおりとする 規制対象外			工	
(3) 電子成果品を提出する際は、施児機果の公開する電子輸品チェックソフトによるチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、 ウィルス対策を実施した上で提出すること。	-	①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散	20 中間検査	この工事については、中間検査を・行う・行わない 行う場合は、工事の進捗率が概ね50%に達した時期又は、躯体工事中(基礎地中梁、中間階及び	2 支持地盤	- 杭基礎 [3.2.1] [4.2.4] [4.3.4、5] [4.4.4] [4.5.5、6] 支持地盤の種類及び位置(基礎ぐいの先端の位置含む)
14. CAD図面データの貸与について		建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料		最上階配筋完了時、鉄骨建方完了時)及び内装工事等施工中を検査の目安とし、工事受注者は検査の		·図示による () ·
本工事に関するCAD図面データの貸与を希望する場合は「CAD図面データ借用に張わる誓約書」を果に提出すること。なお貸与し CAD図面データは、本工事の履行に必要な施工図及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはなら		第三種品		希望日を監督職員と協議の上、発注者に申し出ること。		直接基礎支持地盤の種類及び位置(基礎底部の位置含む)
い。また、当該CAD図面データは、完成図提出時までに、受注者において履行期限期間中に複製又は再配布しているもの全て消去する		①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ②建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料	②1 白蟻防除工事	この工事については、(公社)日本しろあり対策協会(以下、「協会」という。)発行「防除施工標準仕様書」		・図示による()・
と。その他、誓約書の記載事項を遵守すること。 15. 暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置		建材		(以下、「防除」という。)による この項目に記載の[防] 内表示番号は、防除の当該項目を示す		長期設計支持力度 ・ () kN/m ・
鹿児島県が発注する建設工事等(以下、「県工事等」という。)において、暴力団関係者による不当要求又は工事妨害(以下、「不当		本工事に使用する材料については、アスペストを含有しないものとする		※使用薬剤は、協会認定薬剤のうち、非有機リン系薬剤とする		試験堀(根切り底)による支持地盤の確認 [3.2.1]
介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく県(発注者)及び警察に通報すること。 県工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、県(発注者)と協	⑧ 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、 [1.4.2]		※工事施工者は、原則として協会登録施工業者とする ※土壌処理		・行う 位置等は図示による()・行わない
議を行うこと。		JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)から(6)すべての事項を満たすもの とし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出		処理の適用区分 ※行う ・行わない [防 I.2]		地盤の載荷試験 [4.2.4]
16. ダンプトラック等による過積截等の防止について(1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。		して監督職員の承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。		処理の方法 ※帯状散布法、面状散布法の一つ又はその組み合わせによって行う [防 I.3.(1)] ・木材処理		・行う 試験の位置、方法等は図示による() ・行わない
(2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。		(1) 品質及び性能に関する試験データを整備していること (2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること		処理の適用区分 ※行う ・行わない [防I.2]		77.07
(3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に書することがないようにすること。(4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンブカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。		(3) 安定的な供給が可能であること		処理の方法 ※吹付け処理法、塗布処理法の一つ又はその組み合わせによって行う [防 I . 3. (2)] ※処理の箇所	3 既製コンクリート 地業	t 種類 ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)
(5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下、「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に	:	(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること		・木造の場合		 - 外殻綱管付きコンクリート杭 (SC杭) SC杭の鋼管材料 - SKK490 - SKK490
規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 - (6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等	;	(6) 販売、保守等の営業体制を整えていること なお、商品名等が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、		※I.4.(2)①~⑥及び⑧に規定する箇所 ・陸梁、合掌、小屋梁、間仕切、桁、火打梁などと敷桁又は軒桁との仕口面		・プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭) -
によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 (7) (1)から(6)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。		あらかじめ監督職員の承諾を受ける。		・2階梁、火打梁と胴差との仕口面 ・木造以外の場合		試験堀 ・行う 孔径はオーガー径とする 位置及び長さは図示による()
17. 施工体制台帳の作成等について		※工事に使用する材料は、アスベストを含有しないもの(含有率0.1%以下)とする。		※ I . 4. (2) ⑦に規定する箇所		試験堀の施工は試験杭の施工に先立ち行う
本工事の受注者は建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写 を監督職員に運滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があった	り 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による		・2以上の階の床面より 1 m以内にある木部でコンクリート、石、レンガに接する面 ※保証書及び期間		・行わない
ときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。	(10) 化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、 [1.5.9]		白蟻防除工事について、下記事項を記載した5年保証書を提出すること。なお、保証書については元請		寸法、継手、性能等(種別:種類、性能及び曲げ強度区分) [4.2.2] [4.3.3] 種類 コンクリート強度(N/mm2) 枕長(m) 枕長(m) 様長(m) 様子数 長期設計支持力(kN/本)
18. 施工体系図の作成等について 本工事の受注者は、工事を施工するために、建設工事の一部又は以下のアからエの業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、	しナ物貝の巌及湖走	スチレン(学校施設については、パラジクロロベンゼンを加えた6物質)の濃度を測定し、監督職員に		業者と白蠟防除工事施工業者と連帯とする。 (7)工事名称 (4)建物の所在地 (9)建物の構造・用途・面積 (エ)白蠟防除工事の施工面積		上杭
工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督職員に遅滞なく(遅		報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。なお、結果が良好でなかった場合には、監督職 員と協議し対策を行うこと。		(オ)防除処理別並びに使用薬剤名、製造者名、施工年月日 (カ)登録施工業者会員名簿		試験就中抗
とも下請工事又は業務の着手前までに)提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事 について、作成し提出すること。	項	着工前の測定・行う		(キ)施工した防除士の氏名及び登録番号・取得年月日・登録年月日 (ケ)保証期間 ※工事施工にあたり、協会発行「しろあり防除施工における安全管理基準」を遵守すること		上杭
ア 伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務		測定対象室と箇所数 ・図示				本杭中杭
イ 土砂やコンクリート般等の運搬のみを行う業務 ウ 工事現場の警備(交通誘導を含む)を行う業務			22 鹿児島県トライアル 発注制度の製品等			
エ その他監督職員が記載を指示した業務等						
						試験杭の位置、本数 ※最初の一本 ・図示による ()
1						
<u> </u>	1 1	1		1		I
	· ·					
5 h		T		設計年月日	Ī	図面番号
特 記				股計年月日 07 · 03 ·	工事名称 口之島	野々頭墓地トイレ整備設計委託業務 設 計 図 4-01
特 82 事					工事名称 口之島	

4	3 既製コンクリート杭	施工方法	[4.3.2] 4	5 場所打ちコンクリート		-6] 5 (3) 鉄筋の継手	継手方法等 [5.	3.4] [5.5.2, 3] 6	① コンクリートの	普通コンクリートの設計基準強度 (N/mm2) [6.2.2]
4 #h	3 既要コングリート机 地業 (続き)	ルエカ法 ・セメントミルク工法	[4. 3. 2] 4 [4. 3. 4] +th	5 場所打らコングリート 杭地業	が住、長さ、任休寺 ・ 凶亦による() ・ [4.2.2] [4.5.1] [4.5.4 材料その他	4 公 鉄肋の継手	部位維手方法	3.4] [5.5.2、3] 呼び名 _	種類及び強度	音通コングリートの設計基準強度 (N/mm2) [0.2.2] 設計基準強度 適用箇所
業		アースオーガーの支持地盤への掘削深さ	業		帯筋の加工及び組み立て 図示による	筋	柱、梁の主筋 ※ガス圧接・機械式継手・溶接継手・重ね継手	5	:	⊙ 21 基礎・地中梁
事		・図示 杭の支持地盤への根入れ深さ	事		鉄筋の最小かぶり厚さ 図示による 鉄筋かごの補強	事	耐力壁の鉄筋 ※重ね継手 ・ その他の鉄筋() ※重ね継手 ・	í		
続き		・図示 ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	き		組み立てた鉄筋の節ごとの継ぎ手	続き	耐力壁の重ね継手の長さ	[5. 3. 4]		
		水平方向の位置ずれ ・			・重ね継手 重ね継手の長さ ・図示による ・		・図示による()・	4	•	構造体強度補正値(S) ※標仕 表6.3.2による
		杭の傾斜 ・ 1/100以内			主筋の基礎底盤への定着長さ 図示による		継手位置図			構造体域及 加速
		・特定埋込杭工法	[4. 3. 5]		セメントの種類 ※高炉セメントB種 G · [4.5.4] [6. コンクリートの種別		・図示による()			スランノの位置(単位: cm)
		・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法			- A種 · B種 · 評定等の内容による [4.5.4] [表4.5.4]	1 1	柱及び梁主筋の重ね継手の長さ ・図示による()			所要スランプ 15、18 18
		図示による () ・上記以外の特定埋込杭工法 図示による ()			コンクリートの設計基準強度 () N/mm2 [4.5.4 スランプ ・ ※18cm	_	MM - + M = 1	55.0.43	② レディーミクスト	類別 [6.2.1] [表 6.2.1]
		工法			構造体強度補正値(S) [4.	4] 4 鉄筋の定着長さ	鉄筋の定着長さ ・図示による() ・図示による() ・	[5. 3. 4]	コンクリートの類別	※I類 · I類
		・プレボーリング拡大根固め工法 ・中振り拡大根固め工法			・ () ・3N/mm2 ・評定等の内容による ・	63	・機械式定着工法		③セメント	種類 [6.3.1] [表 6.3.1]
		•			掘削工法 [4.5.1] [4.5.5 ・アースドリル工法 安定液 ※使用する ・使用しない	(5) 鉄筋のかぶり厚さ及び	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)	[5. 3. 5]		●普通ポルトランドセメント又は高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 (普通ポルトランドセメントの品質はJIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日で352J/g以下、かつ
		・ ・使用する			・リバース工法	間隔 (溶接金網含む)				(音通ホルトラントセメントの品質は518 k 5210に示された規定の他、水和熱か7日で5525/g以下、から28日目で402J/g以下のものとする。)
		・使用しない			・オールケーシング工法 孔内の水張り ・行う ・行わない		柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・無し			施工箇所 (基礎)
		杭の支持層への根入れ深さ			併用する工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 図示による ()		・有り適用箇所()			・高炉セメントB種 ⑤ 施工箇所 ()
		・ 図示による () ・			鋼管巻き材料 ・SKK400 ・SKK490 ・		主筋のかぶり厚さ ※鉄筋径の1.5倍以上			・フライアッシュセメントB種 G
		水平方向の位置ずれ ※評定等の評価内容による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			・ 拡底机工法 図示による () 安定液 ・ 使用する ・ 使用しない		軽量コンクリートを使用する場合 ・有り 適用箇所()			施工箇所(
ı		杭の傾斜 ※評定等の評価内容による・			· 試験杭 [4.2.2] [4.5.5	61	・最小かぶり厚さに加える厚さ()mm		4 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 [6.3.1] ⁻ ※A ・B
		杭継手工法 [4.3.2、6] ・アーク溶接継手	[7. 2. 5]		試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う ・	0]	耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・無し			XA · B
		・ 標仕 4.3.6による			試験杭の位置、本数 ※最初の一本 ・図示による()		・有り適用箇所()		⑤ 混和材料	- 混和剤 [6.3.1] 混和剤の種類
		溶接材料 ・標仕 7.2.5(1)(2)による ・図示による()			孔壁測定 [4.5.5 ・行う 測定方法、測定箇所は図示による() ・行わない	6]	・図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)表4.1に加える厚さ() mm)		混和剤の種類 ※標任 6.3.1(4)(a)による・・
		・機械式継手 (継手部に接続金具を用いた方式のもの)			・177		・ 鉄筋相互のあき (特殊な鉄筋を除く)[5.	3.5] [🗷 5.3.6]		 ・混和材 [6.3.1] 混和材の種類
		工法 ※評定等を受けた工法 (・図 による) 検査 ※評定等により定められた項目 (・図 による)			・図示による()		・図示による()・図示による()・			※標任 6.3.1(4)(b)による・・
		施工 ※評定等をされた施工管理基準による (・図 による)			杭の精度	6 各部配筋	各部配筋	[5. 3. 7]	6 気乾単位容積質量	並革ったカリート
		杭頭の処理	[4. 3. 8]		水平方向の位置ずれ ・		・図示による(構造関係共通事項(配筋標準図))		スキル平 世 仕 慎 貝里	普通コンクリート ・2.3t/m3 程度 ・ [6.2.3] [6.10.1]
		・行う 処理方法(切断にともなう補強方法含む)							7 マスコンクリート	セメントの種類 [6.13.2]
		・図示による()・		6 地盤改良 (セメント系固化材を	工法 ・浅層混合処理工法	7 圧接完了後の試験	抜取試験 ※超音波探傷試験	[5. 4. 10]	, (23), 1	・高炉セメントB種 G
- 1		・行わない		用いた工法による改良)			· 引張試験			普通ポルトランドセメント・中庸熱ポルトランドセメント
		杭頭の中語め材料 ※基礎のコンクリートと同調合のもの ・	[4. 3. 8]		長期設計支持力 () kN/m ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		試験ロット:1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。 なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする。			・低熱ポルトランドセメント
- 1					適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による(・フライアッシュセメントB種 G ・シリカセメント
	4 鋼杭地業	種類の記号 [4.4.2] [4 ・SKK400 ・SKK490 ・	4. 3~6]		長期設計支持力 ・()kN/m ² ・	8 機械式継手	使用箇所 ・図示による() ・	[5. 5. 3]		適用箇所
		杭の種類、寸法、継手等			形状、支持地盤、仕様・図示による()		性能(H12建告第1463号に適合するもの)	[5. 5. 3]		・図示による () 湿和材料 [6.13.2]
		種類 枕径 (mm) 板厚 (mm) 枕長 (m) 総手数 長期設計支持力 (kM/本) 上枕	備考	(ラップル コンクリート地業)	長期設計支持力 ・ () kN/m ・ セメントの種類 [6.	11	・A級 機械式継手の種類及び工法()	[5. 5. 3]		- 混和剤
- 1		試験杭 中杭		1277 (Nex.)	※高炉セメントB種 G	"	鉄筋相互のあき	[5. 3. 5]		混和剤の種類 ・標仕6·13·2 (2) (7)による
L		上杭			コンクリートの設計基準強度 () N/mm2 構造体強度補正値 (S) = () N/mm2		・図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)表4.1) ・図示による()			・混和材
		本杭 中杭					品質の確認方法	[5. 5. 3]		混和材の種類 ・標仕6·13·2 (2) (イ)による
		下杭	<u></u>	8 液状化対策	工法・() 仕様、範囲、計測、試験等・図示による()		・図示による() ・			スランプ ・15cm ・ [6.13.2]
- 1			K	⑨ 砂利地業	材料 ※再生クラッシャラン G・切込砂利及び切込砕石 [4.		不良となった継手の修正方法等	[5. 5. 2]		構造体強度補正値(3) [6.13.2] ※標仕 表6.13.1による
		試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う 試験杭の位置、本数 ※最初の一本 図示による()			厚さ及び使用範囲 [4.] 厚 さ 使 用 範 囲	3]	・図示による() .			
			[4. 4. 1]		※60 基礎スラブ下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下				8 無筋コンクリート	コンクリートの種類 [6.14.1] ・ ※普通コンクリート
		· 特定埋込杭工法	[4. 3. 5]		●100 土間スラブ下、土に接するスラブ下	9 溶接継手	使用箇所 ・図示による()	[5. 6. 3]		適用箇所 [6.14.1]
		・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法 図示による())		10 捨コンクリート地業	コンクリートの仕様 ※無筋コンクリートによる [4.6.4] [6.14.1		・ 性能(H12建告第1463号に適合するもの)	[5. 6. 3]		・標仕 6.14.1(4)による箇所 ・標住 6.14.1(4)以外の箇所
		・上記以外の特定埋込杭工法 図示による()			セメントの種類 ※高炉セメントB種 G ・ [6. 厚さ及び使用範囲 [4.		• A級 •			・図示による() ・
- 1		工法 ・中堀り拡大根固め工法 ・			厚 き 使 用 範 囲	<u> </u>	溶接継手の工法 () 鉄筋相互のあき	[5. 6. 3] [5. 6. 3]		設計基準強度 ※18N/mm2 ·
		杭の支持盤への根入深さ			※50 基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下 ・	-	・図示による (構造関係共通事項 (配筋標準図) 表4.1)			スランプ
		※評定等の評価内容による ・ 杭の精度		O			・図示による() 品質の確認方法	[5. 6. 3]		※15cm又は18cm
		水平方向の位置ずれ ※辞定等の評価内容による ※等で等の評価内容による		11 床下防湿層	施工範囲 [4.6.2 ② 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く)	ν,	・図示による()		ひび割れ誘発目地 大畑日地	打継の位置 [6.6.4] [6.8.1] [9.7.3] ・標仕 6.6.4(1)による ・図示による ()
		杭の傾斜 ※評定等の評価内容による	[[不良となった継手の修正方法等	[5. 6. 3]	打継目地	目地寸法
		杭の現場継手 ・アーク溶接継手	[4. 4. 5]		材料 ② ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・		・図示による()			・標仕 9.7.3による ・図示による () 間隔、位置、形状
		形状 ・JIS A 5525による			防湿層の位置 ● 図示による() ・	10 帯筋	組立の形の種別			間隔、位直、形状 ・ 図示による ()・
		溶接材料	[4. 4. 3]		Charles Co. (b) \		・図示による ・H形 ・ () 形 ・図示による ()		(1) 7 VAII-LAHLI	J 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [6.2.5] [6.8.2] [表6.2.4]
		・標 (7.2.5(1)(2)による ・ 図示による () ・ 機械式総手(総手部に接続金具を用いた方式のもの)							- John-rouges	※コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による
ŀ		工法 ※評定等を受けた工法 (・図 による)				11 最上階柱頭補強	補強方法 ・図示による ()			コンクリートの仕上がりの平たんさ 種別 適用箇所
		検査 ※評定等により定められた項目 (・図 による) 施工 ※評定等をされた施工管理基準による (・図 による)								Oa種
			[4. 4. 6]			12 片持ちスラブの 出隅部の補強配筋	配筋方法 ・図示による ()			· b種 · c種
		· 行う				(出隅受け部分の	出隅部分及び出隅受け部の補強筋・図示による()		
		処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・図示による() ・	5	① 鉄筋の種類	鉄筋の種類等 [5.2.1] [表5.	補強筋を含む)	·		(打放し仕上げ部)	・打放し仕上げ (仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む) の打増し厚さ [6.8.2] (外部に面する部分に限る)
		・行わない	鉄盤		種類の記号 呼 び 名 備 考 ② SD295	13 壁開口部の補強	- 般 壁 · 図示による ()			⊙ 20mm ·
			[4.4.6] 工事		· SD345	_	耐震壁・図示による()			・打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・
		※基礎のコンクリートと同調合のもの・	"			-			.	
				0 754	Atta o Killer	14 梁貫通孔の補強	補強形式 ・図示による ()		① 型枠	・外壁タイル張りで、MCR工法又は目荒らし(高圧水洗)工法を行う場合は、外部側に20mmの打増しを行う
				2 溶接金網	鉄線の形状等 [5.] 種 類 種類の記号 網目の形状、網目寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位	<u> </u>	配筋種別 ・図示による ()			せき板の材料及び厚さ [6.8.2] ・合板 (※12mm ・) G
					· 溶接金網 · 鉄筋格子	_	梁貫通孔径(部材記号含む)及び配筋種別リスト			断熱材を兼用した型枠材の使用 [6.8.3]
						-	・図示による ()			・行う 適用箇所()・行わない
						15 基礎梁主筋の継手	・図示による()			スリーブの材種・規格等 [6.8.2]
										※標仕 6.8.2(9)(7)、(4)による
						16 機械吊上げ用フック	種別 ・図示による()			
	_	<u> </u>								
特		·						年月日 工	事名称 口之島野	々頭墓地トイレ整備設計委託業務 設計図 4-02
部							07 -	03 -		ペ 類 基 地 ト イ レ 全 偏 放 計 安 紅 来 粉 放 前 区 A-02
-7"							■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	尺	1	

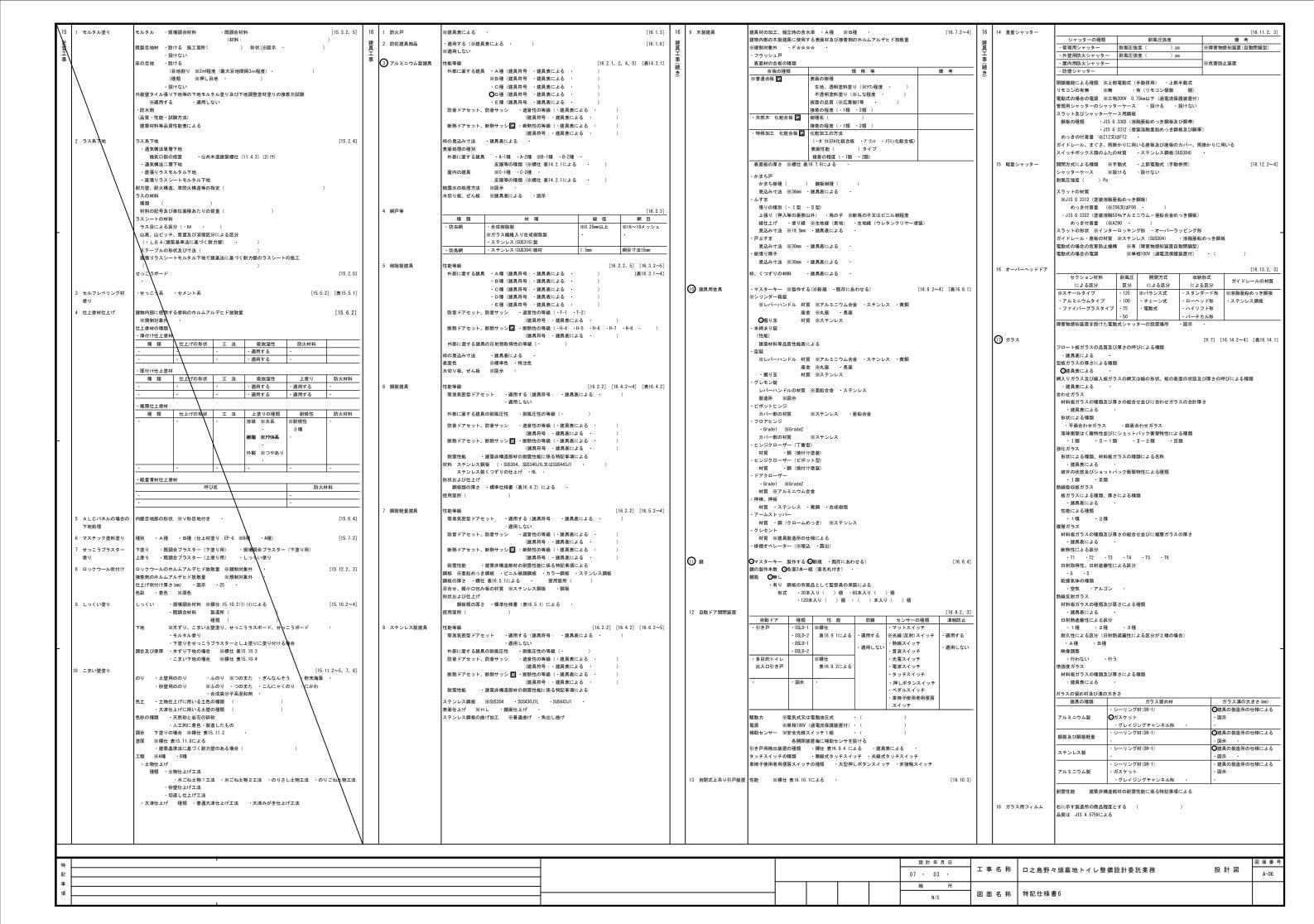
図面名称 特記仕様書2

7 禁 骨 工事	鉄骨製作工場の加工能力 [7.1.3] 7 (ア.1.3] ※雑葉基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨 評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国機構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める()グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場・監督職員の承諾する工場(標任 7.1.1以外の適用範囲に限る。)	10 床構造用 デッキブレート	適用箇所 材質・形状・寸法 f ・ デッキブレート単独の構法 ・ デッキブレートとコンクリート	6.8.2] [7.2.7] 横 考	7 21 鉄骨工事(続	錆止め塗装	塗料の種別 [7.8.4] [18.3. ・鉄骨鉄筋コンクリート造の銅製スリーブの内面の錦止め塗料(鉄骨に溶接されたものに限る) ※輝仕 表18.3.1 A種 ・ ・塗装を行う耐火被覆材の接着する面 適用箇所	2] 8 コンクリー	3 ALCパネル	パネルの区分 単位荷重 (N/ml) 厚さ (mm) 幅 (mm) 耐火性能 (mm) 表面加工 構法の種別 ・外壁用 ・100 ・なし ・平 ・1時間 ・急圧 ・A種 ・B種
鉄骨製作工場における 施工管理技術者 3 編材	・配置する ・配置しない [7.1.4] 材料等 [7.2.1] [表7.2.1] 種類の記号 適用場所 規格		との合成スラブとする構法		22	耐火被覆	・図示による() ・	トブロック・A C		- 間仕切壁用 - 100 - なし - 平 - C種 - D種 - 1時間 - 意匠 - E種 - E種 - Ip時間 - 100 - 1時間 - 100 - 1 1
	※図示による ()		鉄骨部材への溶接方法 - 図示による() ・ 耐火認定 - 有り 耐火時間 - 図示による() ・			NOT HOLE	種別 材料・工法 性能 適用箇所 (耐火時間) ・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ 湿式ロックウール ・ 湿式ロックウール ・ 湿式ロックウール ・ ・			・床用 ・100 ・1時間 ・2時間 ・2時間 ・2時間 ・2時間 ・2時間
4 高力ポルト	※図示による 高力ポルトの区分 [7.2.2] [7.3.2] [7.4.1~9] ・トルシア形高カポルト ・JI路高カポルト セットの種類 ※2種(F10T)	11 スタッド	- 無し - 材質、形状及び寸法 ※頭付きスタッド JIS B 1198 - 呼び名等 呼び名 呼び長さ(mn) 適用箇所	[7. 7. 8]			- 耐火板張り - 繊維混入けい酸カルシウム板	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	4 押出成形セメント板 (ECP)	バネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと 他部材と収取り合い部の目地幅 (mm) ※10~20 ・ 外壁、開仕、製パネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない 外壁、屋根パネルの構造 外壁が表れて構造及な間仕切壁パネル構造における耐震性能 [8.5.2~5]
\ -	高圧ポルトの径 ・図示による() ポルトの縁端距離、ポルト間隔、ゲージ等 [7.3.2] ・図示による () ポルトの縁端距離、ポルト間隔、ゲージ等 () ・	12 柱底均しモルタル	- 19 - 22 モルタルの種別 - 無収縮モルタル	[7. 2. 9]	23	建方精度	・耐火塗料 村料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする ※(一社)日本建築学会「A)SSO鉄骨工事」付則6[鉄骨精度基準] 付表5[工事現場]による [7.10.	- 続き) - 2]	(2017)	パネルの種類 形状 厚さ(mn) 幅(mn) 工法の種別 耐火性能 ・外壁パネル ・ト・F-R ・50 ・450 ・A種 ・30分 ・D D R ・60 ・600 ・B種 ・19時間 ・町仕切壁パネル ・F・F・R ・50 ・450 ・B種 ・30分
	す。 (7.4.2] ※行わない ・ でう ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	13 工作図	無収縮モルタルの材料、調合等 ※据仕 表7.2.9(2)(7)から(1)による ・	[7. 3. 2]	24	アンカーボルト等の 設置	雄方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法			・D・D-N ・600 ・C種 ・1時間 ・T・T・R ・100 ・2時間 ・2時間 ・2時間 ・1次年 ・100 ・2時間 ・2時間 ・2時間 ・1次年 ・2時間 ・2時間
5 普通ポルト	ボルト及び ットの材料 [7.2.3] [7.3.2] [7.3.8] ※様仕 表7.2.3 (JIS附属書品)による ・様仕 表7.2.3 (JIS附属書品)による ・様仕 表7.2.3 (JIS附属書品) 又は、JIS本体規格品(ISO規格)による。 (JIS本体規格品による 場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルト、強度区分を4.6又は4.8の鋼製とし、 ナットの機能を六角ナットへの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの粉径の最大寸法は、ボルトの	14 製作精度	増築工費を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測のうえ、作成を行 鉄骨の製作構度は、JISS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準] に加えて次による 通しダイヤンラムの突合わせ継手の食い違い寸法 ※出12建告案 1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法	う。 [7. 3. 3]	25	轻量形銅構造	 ※様任 表 1.0.2 ※A種 モルタル厚さ () ・B種 モルタル厚さ () 接合部 (ボルト接合の場合) ・普通ボルト接合 			出隅及び入隅のバネル接合目地の目地幅(mn) ※15 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※バネルの製造所の仕様 やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限まとし、欠損部分を考慮した速度を 確認した施工計画書を提出する。 初断後のバネルの 残り部分の幅
	程の値以下する。) 産金 ※椰仕 7.2.3(4) による・ ボルトの程 ・ 図示による ()	15 鉄骨の仮組	※#12建告第 ¹ 64号第二号イ(3)による 食い違い・仕口の大の検査方法及び補強方法 ・「突合わせ起手の食い違い・仕口のずれの検査・補強マニュアルによる」 ・行わない	. [7. 3. 10]		溶融亜鉛めっき (構造耐力上主要な部分)	もや、胴縁類の取付け用ポルトを普通ポルト接合とする 種別等 [7.12.4] [表14.2. <u>亜鉛めっきの種別 材料 適用部位</u> A種 最小板厚6.0mm以上の形銅、銅板	<u>11</u>		対立 ・バネル幅の1/2以下かつ300mm以下 ・150mm以下 長辺 ・500mm以下 ・300mm以下 パネルに欠き込みを設ける場合 短辺 ・バネル幅の1/2以下かつ300mm以下 最辺 ・500mm以下 ・300mm以下 最辺 ・バネル幅の1/2以下かつ300mm以下 ・300mm以下 300mm以下 ・300mm以下
6 溶融亜鉛めっき高力 ポルト	図示による セットの種類 ※1種 (781相当) 溶融亜鉛のっき高カポルトの径	16 溶接技能者の技量 付加試験	・行う 仮相を行う範囲 ・図示による() 試験の要領及び試験を要する流域箇所 ・図示による()	[7. 6. 3]			日種 最小板厚3.2m以上、6.0m未満の形類。	- - 		
-	図示による(17 溶接接合	開先の移状 ・図示による () ・ スカラップの形状 ・図示による () ・ エンドタブの切断する部分	[7. 6. 4] [7. 6. 7] [7. 6. 7]	27	梁貫通孔の補強	補強方法 ・精強プレート法 ・精強トラス法 適用箇所 ※図示による() ・			
	摩擦面の処理 - プラスト処理(表面和度50μmRz以上) ************************************		・全て ・見え掛り部となる部分 ・切断する部分なし ・ 切断する部分なし ・ 切断する部囲 ・エンドタブ、裏あて金等は、梁フランジの端から直線上に切断する。その際の残し	寸法は、				9 防水工事	1 アスファアルト防水	屋根保護防水 [9.2.2~5] [養9.2.3~9] 防水層の種別 種別 施工箇所 動線用シート 立上り部の保護方法 - A - 1 ※ポリスチレン
7 アンカーボルト	・「高カボルト接合設計施工ガイ ブック(日本建築学会)」による 適用 ・構造用アンカーボルト ・ABR400 セットの種類(JIS B 1220) ・ABR490 セットの種類(JIS B 1220) ・SNR400B アンカーボルト及びナットのねじの ・様仕 表7.2.3による		5mm以下とする。なお、切断面が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 切断面の仕上げ ・概仕7.6.7(1)(b)(b)(2)による 溶接部の余盛り高さ ※MSS 6 付削6 (鉄骨精度検査基準」付表3 [溶接] 低応力高サイクル疲労を受ける部位 ・阅示による()	[7. 6. 7] [7. 6. 7]		補強コンクリート ブロック造	プロックの種類等 正映厚さ	<u>-</u>		・ A - 2 - A - 3 ・ B - 1 ・ 兄はフラット ・ B - 2 ・ アンクロス ・ B - 3 ・ アンクロス ・ A I - 1 (種類) ※JIS A 9521に基づく押出法 ・ A I - 2 ボリスチレンフォーム断熱材3種hA ・ A I - 3 バスキン層付き) フロス (JIS R 1250) フロス (スキン層付き)
	形状、寸法 ・ 図示による() ・ ・ 連方用アンカーボルト 材質 ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げる程度 ・ 様仕 表7.2.3による	18 現場溶接の有無	・無し ・有り 適用箇所 ・図示による()	X		コンクリートブロック 帳壁及び塀	ESTERNIC THE 1 TO 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1]		・BI-1 ・ (厚き)※25mm ・50mm ・ (厚き)※25mm ・50mm ・ (ワき)※25mm ・ (ワe)※25mm ・ (ワe) ※25mm ・ (ワe) ※2
- 8 溶接材料	形状、寸法 ・図示による() ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による() 溶接材料 [7.2.5]	19 入熱、バス間温度の 溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 -	. 6. 7] [7. 6. 10] 押 原 刑 せ	・押出成形セメント	WEAC 40	Emit	_ _ _		F
	※標任 7.2.5(1)(2)による ・標任 7.2.5(1)(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・図示による() ・	20 溶接部の試験	完全階込み部の超音波深陽試験 [7.6. 2] [表7.6. · 行わない ※行う - 工事溶接の場合 - 金飲検査 - 扱政検査	. 2] [表7. 6. 3] 村	 板 工 事		一			※標任 表9.2.5及び標仕 表9.2.6による 立上り部への断熱材及び絶縁シート ・設置しない ・設置する 平場の保護コンクリートの厚さ
9 ターンバックル	種類		A00L(%) ・4.0 ・2.5 節 ・全て ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				※図示 各部の配筋 ※図示 化粧目地の有無 ・無 ・有 工法 コンクリートブロック積帳壁の積高さは、壁厚の25倍かつ3500以内とし、その他の部分は同厚の 鉄防コンクリート造垂壁とする			こで仕上げ ※水下 80mm以上 ・ 床タイル張り ※水下 60mm以上 ・ 立上り部の保護方法 ・乾式保護材 窯業系パネル:無石綿の機維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの (品質 性能・試験方法)
	・図示による() ・		AODL(%) ・4.0 ・2.5 突き合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・マニュアル(建築研究所監修)」による ・抜き取り検査 (7) ※抜き取り検査 (2)							建築材料等品質性能表による
			JASS 6 付則6 [鉄青精度検査基準] の付表3 「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4(受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波深傷試験の試験箇所と同一とする。外観試影不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。							
特 82	'						設計年月日 07 03 ·	工事:	名 称 口之島野	々頭墓地トイレ整備設計委託業務 設計図 A-03
事 項							縮尺	図面:	名 称 特記仕様	書3
							N/S			

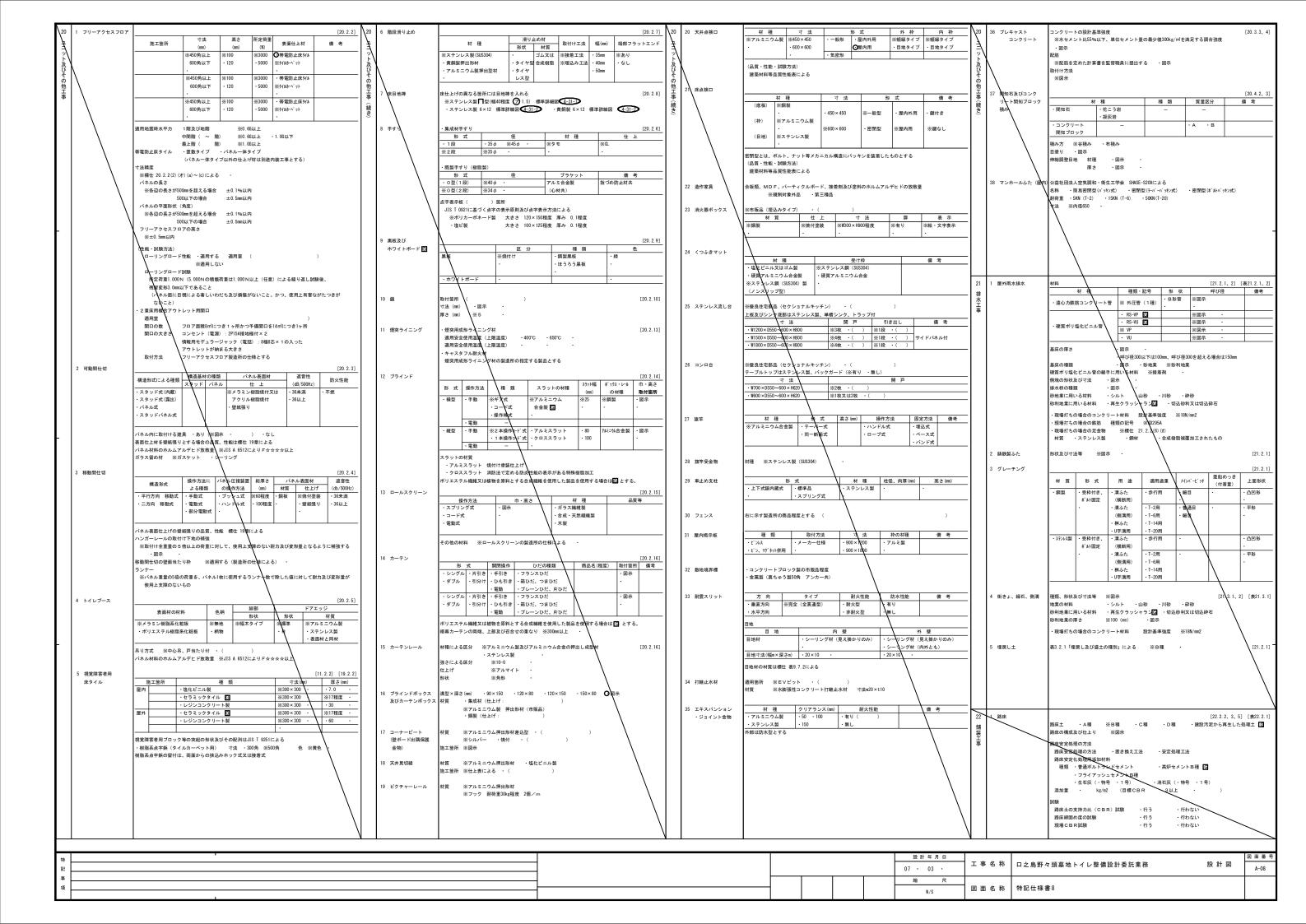


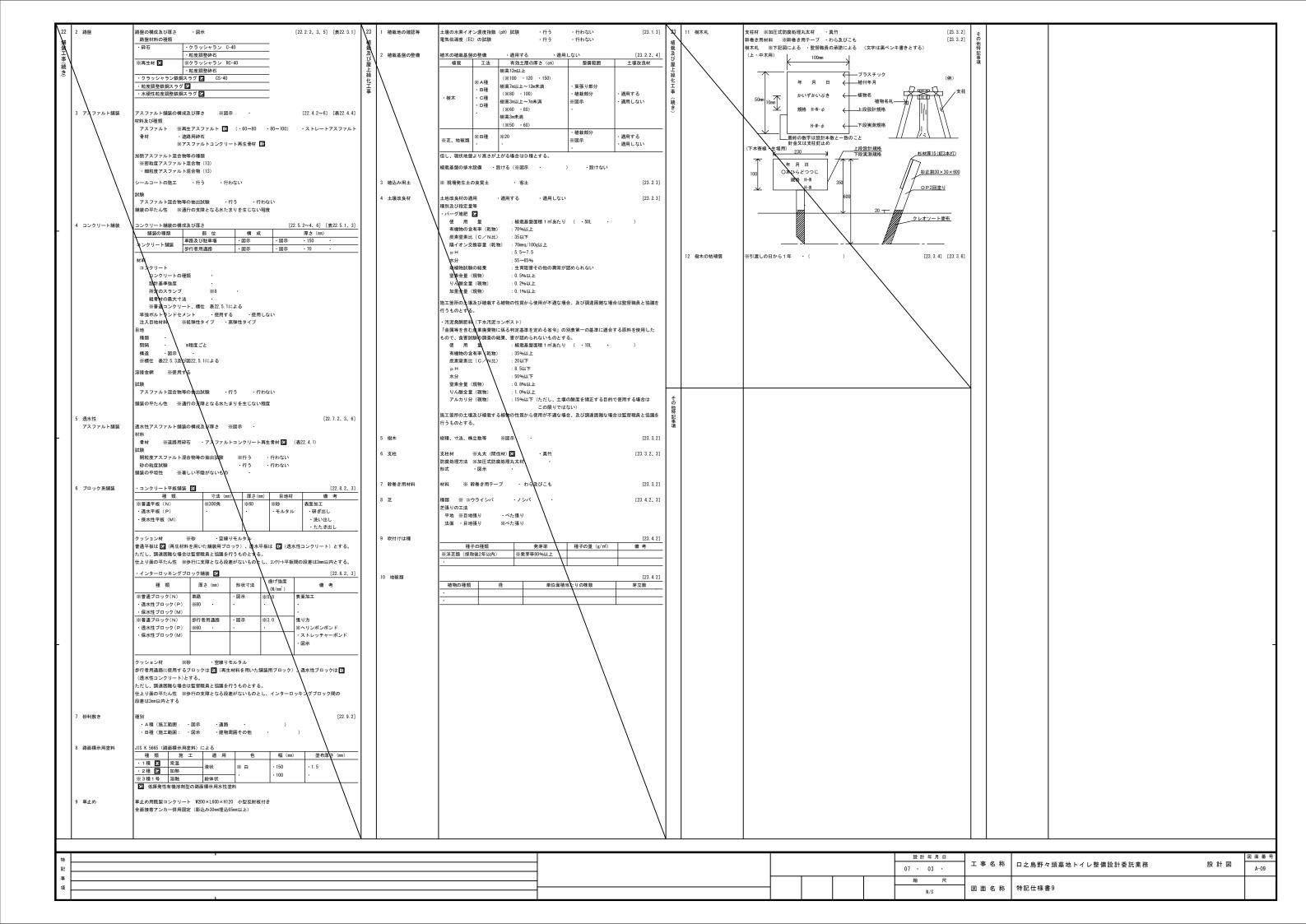
12 ① 木材の品質		12 6 床張り用合板等		12. 2. 1] 13	1 長尺金属板葺	[13.2.2, 3]	1 1	レスの表面
*	「認証かごしま材」を使用すること。 (途作材、木製開仕切り、腰壁)	* *				施工箇所 板及び3/kの種類 塗膜の耐久性、めっき付着 厚さ 屋根葉形式 備考	仕上げ	※H L 程度
事 ② 表面仕上げ	[12.1.4] [表12.1.1.2] 表面仕上げの種別 適用箇所	事 (続	(mm) 樹種名 程度 の過 ※5.5 ・ラワン ※1類 広葉樹 ・適用する	<u>適用</u>		屋根 ※JIS G 3322の フッ素 0.4 ・心木なし瓦棒葺・ 屋根用コイル ・立平葺・蟻掛葺	<u></u>	- 鏡面仕上げ程度 - No. 2B 程度
l	- A種 機械加工 ※B種	(*	・ ・しな ・2類 ※2等以上 ・1等 ・適用しない 針葉樹	L L L		(CGL CCR-20-AZ150) ・横葦 ・		- ウム及び [14.2.1] [表14.2.2]
l	- C種 - H-A種		※C-D以上	#		下糞材料 ※アスファルトルーフィング 940		ニウム合金の 種 別 色合い等 施工箇所 備 者
l	手加工 · H-B種		○ C C C C C C C C C C C C C C C C C C C			・改質アスファルトルーフィング下基材 (・一般947*・複層材947*・粘着層付947*)	\	・標準色
I	· H-C種			戈材等		工法 1章 適用区分による風圧力の (・1.0・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法		- 特注色
3 製材 G	[12.2.1] [12.4.1] [12.5.1] [12.6.1] [12.7.1]		Text	適用	2 折板葺	[13.2.2] [13.3.2、3] [表13.2.1]	$ \ \ $	
-	- 「JAS 1083-5」製材・第5部に基づく 施工箇所 樹種 寸法 (mn) 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用		外壁下地			加高、山ビガ 山高、山ビガ 耐力による		\
	※2級· ※A種·B種·					山高 山t' 75 とが E27 E27 128<	1	
	※ 2級 · ※A種 · B種 · ·		・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (国施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適	適用		- はぜ締め形 - 7½ミ-7¼ - 無し - 無し - 無し - かん合形 - 合金板製	1	陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色
I	 「JAS 1083-2」製材・第2部に基づく 		・ 1 類 ・ 適用する ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 適用しない			· /// //		\
1	施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用					材料 ※JIS G 3322の屋根用コイル(CGL CCR-20-AZ150) ・ ()	3 鉄鋼の重	亜鉛めっき [14.2.2] 表面処理方法 種 別 施工箇所(手すり、タラップ以外)
l			_			タイトフレームにJIS G 3322以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋外で使用する場合の表面処理	1	- A種
l	見え掛り面 ※小節以上 ※A種・B種・ 以外 ・		- 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 (全施工箇所 厚さ (mm)			(標仕 表14.2.2による ・ E種 ・ F種) 断熱材 ・ 有り (種別: 厚さ(mm): 防火性能: 時間)	1	- C種 - D種
†	・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材		施工圏所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 ・ 1 類 ・ 適用する ()			・無し 工法 折板のけらば納め	1	電気亜鉛めっき・E種
1	施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ※1級 ※10%以下 ・ ・ ・ ・		・2類 ・適用しない			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	· F種
						・ 工法 1章 適用区分による風圧力の (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法	4 軽量鉄子	骨天井下地 野縁 鳴 の種類
	・「JAS 1083(製材)」以外の製材		・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 🖸		3 粘土瓦葺	[13.4.2, 3]	1	屋外(・25形 ・19形) 屋内(・19形 ・25形)
	施工箇所 樹種 寸法 (mm) 適作材の材面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 ()・適用する ※ A種・B種 ・		施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理 ・1類 ・適用する ()			施工箇所 種類 類 を 地 役物瓦の種類 製法による区分 形状による区分 寸法による区分 産 地	1	・屋外の軒天井、ピロティ天井等 野縁後、吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ・()
	造作材の場合 ・適用しない ・		- 2類 - 2類 - 適用しない	´		SELATION VIEW IN VIEW VIEW IN VIEW VIEW IN VIEW VIEW VIEW VIEW VIEW VIEW VIEW VIEW	1	周辺部の端からの間隔 ・図示 野縁の間隔 ・300程度 ()
				_			1	- 吊りボルト の 間隔が900mmを超える場合 補強方法 〉 ※図示
④ 造作用集成材 G	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [12.2.1] ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材		・パーティクルボード 🖸			「JIS A 5208」に基づく凍害試験等 ・行う ・行わない	1	・天井のふとこえが1.5m以上3.0m以下の場合
I	施工箇所 樹種 寸法 (mm) 見付け材面数 見付け材面の品質 間伐材等の適用		施工箇所 厚さ(mm) 表裏面の状態による 曲げ強さによる 耐水性による 難燃性に 区分 区分 区分 区分			D技木 材質 杉 寸法 幅21mm×高さ15mm以上	1	補強方法 ※標仕 14.4.4(8) ・図示 ・天井のふところが 0mを超える場合
			区分 区分 区分 区分 区分 区分 区分 区分			棟橋強用心材 材質 ・ 杉 寸法 ・ 幅40mm × 高さ30mm	1	補強方法 ※国示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強
I						瓦緊結用釘及びねじ 種類 () 径() 長さ()	1	補強箇所 ・図オ ・
I	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 現付け 現場 おお 寸法 化粧薄板 見付け スカー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェ		- 「JAS 0306」に基づく構造用パネル			棟補強等に使用する金物等 材質 ・SUS製 ・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製	1	補強方法 ・図示 ・天井下地材における耐風III性を考慮した補強
I	施工箇所 の樹種 の樹種 (mm) の厚さ(mm) 材面数 ^{見付け} 材面の品質 間伐杯等の適用		施工箇所 厚さ(mm) 等級 ・1級・2級・3級・4級	<u> </u>		形状、寸法及び留付け方法 ・図示 ・	1	補強箇所 ・図示 ・ 補強方法 ・図示 ・
I			- MDF G	_		風圧カ又は地震カに対応した瓦の緊結方法等 ・図示	1	· 耐震性能
I			施工筋所 (厘さ (mm)) 表裏面の状態による 曲げ強さによる 耐水性による 難燃性に。			互桟木の留付け工法 図示 様の工法 7寸丸伏せ様又はF形用冠瓦伏せ様 のし積み様	1	建築非構造部材の耐震性能(係る特記事項による ・屋外の軒天井・ピロティ天井等(D工法
 	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱		区分 区分 区分			面戸、雀口、葦土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合 ・モルタル ・瓦葺き用しっくい	1	1章 適用区分による風圧力の (・1.0・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
	施工箇所 化粧薄板 お材 寸法 化粧薄板 見付け材面数 間伐材等の適用 の樹種 の樹種 (mm) の厚さ(mm)				4 とい	といの材種 [13.5.2, 3] [表13.5.4]	5 軽量鉄骨	骨壁下地 スタッド、ランナーの種類 [14.5.3、4] [表14.5.1] ※様仕 表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示
		① 接着剤	[12. 2	2. 2. 3]	1	種 別 材 種 径 施工箇所 備 考	1	スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示
			接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外			 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用鋼管 	1	出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標仕 14.5.4(5)による ·
	●「集成材の日本農林規格」以外の遺作用集成材			,		たてどい - ステンレス 鋼管 SUS304 - 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー)		\
	施工箇所 樹種 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 面台 タモ 図示 1等 ※15%以下 ・	⑧ 防腐・防蟻	・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材	3.1, 2]		軒 どい ・	6 金属成刑	新 Su
	※15%以下 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		適用部位: () ・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理			防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・	1	性 が
I	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造成用集成材		適用部材 保存処理性能区分 ・K2 ・K3 ・K4	<u> </u>		鋼管製といの防露巻き ・適用する (工法:※標仕 表13.5.4による ・) ・適用しない	1	- ロール - 日地有 - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ - ・ -
I	佐工笠彦 化粧薄板 芯材 寸法 化粧薄板 見付け材面 _{会北京} 間伐材等		· K2 · K3 · K4	<u> </u>		とい受金物 [13.5.2] [表13.5.3]	1	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **
	応上回が の樹種 の樹種 (mm) の厚さ(mm) の品質 コハギ の適用 ※15%以下		· K2 · K3 · K4			材種 ・銅製(溶融亜鉛めっき) ※ステンレス製 形状 ※市販品(とい径100以下) ・25×4.5mm以上(とい径100を超えるもの)	1	· BT
			○薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理適用部位処理の方法薬剤の種類	<u> </u>		取付け間隔 ・標仕 (表13.5.2) による 足金物	1	
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱		構造材 ※様仕 12 3.1(4) (b) ①~④による ・ ※様仕 12 3.1(4) (b) ①~④による ・	<u> </u>		材種 ・鋼製(溶融亜鉛めっき) ※ステンレス製	1	取付け用下地 ※様仕 14.4による ・図示 伸縦調整継手 ・設ける (施工箇所 ・図示 ・) ・設けない
	佐工笠彦 化粧薄板 芯材 寸法 化粧薄板 見付け材面 会大家 間伐材等		※標性 12 3.1(4)(b)(①)~(4)による ・	<u> </u>		形状 ※市販品 取付け間隔 - 標任 (表13.5.2) による	1	屋外の軒天井・ピロティ天井等の工法
	応工曲が の樹種 の樹種 (mm) の厚さ(mm) の品質 ロバギ の適用 ※15%以下		・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理			ルーフドレン IR Dd IRS 16 作工禁死 ++ IR	1	1章 適用区分による風圧力の (・1.0 ・1.15 ・1.3) (倍の風圧力に対応した工法
			適用部位 (・ 合板等の加圧注入処理の適用			種 別	7 アルミニ	=ウム製笠木 [1 へ.7.2、3] [表14.2.1] [表14.7.1] 表面処理
- '生你四番标稿團士			適用部位(・バルコニー用(・ねじ込式 ・差込式) ・50 ・75 ・80 ・100 ・バルコニー中継用(・ねじ込式 ・差込式) ・50 ・75 ・80 ・100	1	施工箇所 種 類 製品幅 呼称肉厚 種別 色合い等
5 道作用単依債店的	- 「JAS 0701」に基づく造作用単板積層材				(5) 保証書及び期間	金属屋根工事の施工については、10年保証書を提出すること。なお、保証書は元請業者と施工者の	1	- 押出し250粉 ※260~240 ※1.6以上 - (
	た工箇所 厚さ 表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等 の適用				J KEE & J W	並病症似エチの売上については、TO+水証者で使出すること。 なお、水証者はル研末者と売上者の連帯とする。	1	・押出し350形 ※350 ※2.0以上 ・() ・() ※2.0以上 ()
 	・有り (加工 ・天然木加工・塗装加工) ・適用する ・ ・無し (等級:) ・適用しない						1	- 板材折曲げ形 ・ () ※2.0以上
I							1	棟上避雷導体システム ・無 ・有(実厚2.0以上) 笠木の固定金具の工法等
I	- 「JAS 0701」以外の造作用単板積層材						1	取付け用下地 ※標住 14.4による ・図示
I	施工箇所 (mm) 表面の化粧施工 防虫処理 含水量 の適用 ・ 適用する ※14以下・						1	笠木の固定金具の工法等 1章 適用区分による風圧力の(・1.0・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
I	(加工 ・天然木加工・塗装加工) ・適用しない						(8) # ≠ 0 ½	及びタラップ
I	・無し ()							手すり ・SUS304 (表面処理 ※ H.程度 ・) ・ 銅製 表面処理 溶融亜鉛めっき
 	- 「JAS 3079」に基づくC L T (直交集成板)						1	種別 ※標仕 表14.2.2による
	施工箇所 品名 (強度等級) 種別 (使用環境) 樹種 (mm) の適用						1	タラップ ※SUS304 (表面処理 ・研磨なし 仕上げは#400程度 ・HL程度
							1	・銅製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっきC種) 滑り止め ※ローレット加工 ()
							1	\
							1	
							1	\
							Щ	
	 					設計年月日		図面番号
特 記							工事名称	ロ之島野々頭墓地トイレ整備設計委託業務 設計図
*						縮尺	Th	A
■ □ □ □						N/S	凶面名称	特記仕様書5

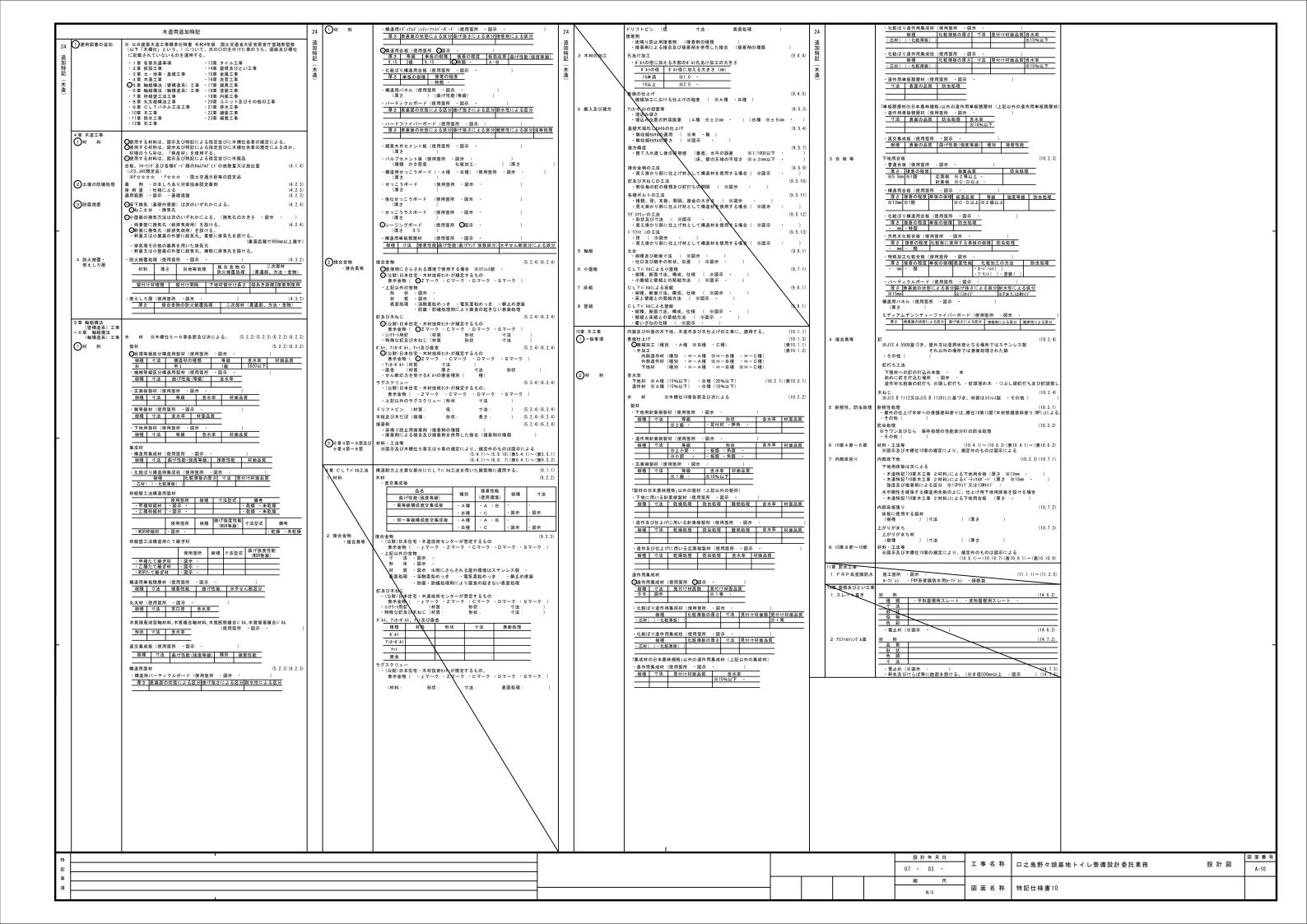
N/S



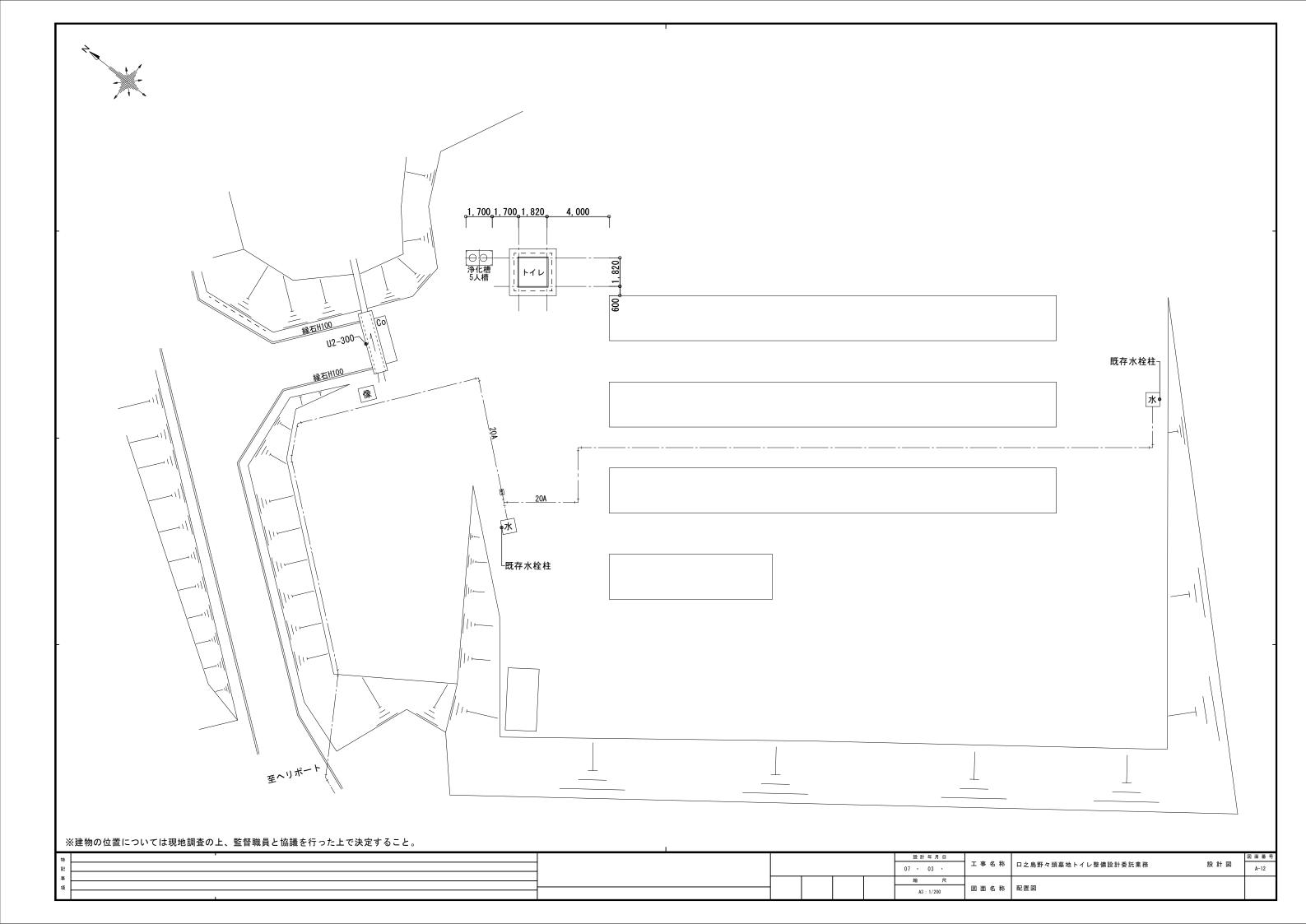
17	1 取付方法、性能等	[17.1.3] [17.2.2] [17.3.2]	18 ① 材料	内部に使用する塗料は、原則水性系のものとする [18.1.3]	19 (1)接着到	接着剤のホルムアルデヒド放散量 [19.2.2]	19 9 骨敷き	[19.6.2] [表 19.6.1]
_b'	1 取刊刀法、性能等	[17.1.3] [17.2.2] 取付方法 ・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スパンドレル方式 ・	塗	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量	内	※規制対象外 ·	内 9 畳敷き	種別 ・A種 ・B種 ※C種 ・D種(畳床:・KT−I ・KT−I ・KT−Ⅲ ・KT−K ・KT−N)
7		性能 耐震性能 耐風圧性 水密性 気密性 適音性 断熱性 耐火性能	装工工	※F☆☆☆☆ ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。	装工	接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別	装工工	下地の種類 ・標仕 表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン 🕓)
2 5 7	\	・30分 - 1時間	₱	・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:	₱	· 図示	締	・ 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない
1 ル	\	· 199[E]	② 素地ごしらえ	[18. 2. 2~7]	2 ビニル床シート G	[19.2.2、3] 種類 JIS記号 施工箇所 色柄 特殊機能 厚さ(mm) 備考	<u>*</u>	材料を使用したものとする。
事	I 1	耐温度差性 ・80°C ・70°C ・60°C		下地面等 種 別		※発砲層の ※ FS(複層t'=ル床シ=ト) ・無地 ・帯電防止 ※ 2.0		衝撃緩和畳 畳表 (JIS A 5902) ・C1 ・C2 防虫処理は加熱による方法及び防虫加工紙(布)による方法とし、人体に無害なものとする。
	\	耐風圧性 適用区分による風圧力の (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法		木 部 透明塗料塗りの場合 ※B種・A種 鉄銅面(DP以外) ※7種 ・A種 ・B種		・発砲層の ・無地 ・防滑性		畳表は、熊本県畳表検査規定による「綿糸引通 五八 2等級」規定品同等以上とする。
	\	主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く)		鉄銅面(D P のみ) ※C種 ・A種 ・B種		あるもの ・ 柄物 ・ 耐薬品性	10 せっこうボードその他	
	\	支点間距離(h) 耐風圧性能 状態 4m以下 ・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること 部材の脱落、ガラスの破損		亜鉛めっき銅面 ・A種 ・B種 モルタル面及びプラスター面 %B種 ・A種		工法 ※熱溶接工法 ・	のボード張り	種 類 JIS 厚さ(mm)、規格等 記号
	\	・ 及び主要部材に有害な 4mを超える ・ 歪みが起こらないこと。		コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種 コンクリート面(DPのみ)、ALCパネル面及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種	3 ビニル床タイル G	[19.2.2] JIS記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ(mm) 備考		・硬質木毛セメント板 HW ・15 ・20 ※25 ・ ・普通木毛セメント板 NW ・15 ・20 ※25 ・
	\	耐震性能 ・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による		せっこうボード面及びその他 目地:総目処理工法 ※A種 ・B種		・FT ※無地 ・帯電防止		
	\	性能の確認及び判定方法・性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し監督員の承諾を受ける。		ボード面 目地: 継目処理工法以外 ※B種 ・A種		· 務物 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		1.0FK タイプ2 (無石綿) ※6 · 8
	2 メタルカーテン	[17. 2. 2、 3、 5、 6]	3 錆止め塗料塗り	[18.3.2, 3]		※KT ※無地 -300×300 -帯電防止 -2.5 (コルデジョンピュル床ウイル) - 柄物 -450×450 - 防滑性		・フラットタイプ (・9(不燃) ※12 (不燃) ・) ・凹凸タイプ (・12 (不燃)・15 (不燃)・19 (不燃)・)
	ウォール	金属材料の種類 ・アルミウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材 シーリング材の種類(目地等) 種類及び寸法 ・図示		下地面等 塗料の種別 錆止め塗料変りの工程 鉄鋼面 SOP - A種 見え掛り: A種、見え隠れ: B種		・ T T (単層ピニル床タイル) ・500×500 ・3.0		※300×600 · 455×910
	\	ガラスの取付け材料 ・シーリング 種類 ・SR-2 ・SR-1 支持方法 ・4 辺指示 ・		DP ・C種及び0種 標仕(表18.3.4) EP-G ・A種 ・B種 見え掛り: A種、見え隠れ: B種		※FOA ・無地 ※帯電防止 (置数きt゚ニル床タイル) ・柄物 ・防滑性		・グラスウール吸音ボード32K GW-B ※25 (厚手ガラスクロス包) ・※留め付け材 樹脂製プラグ@300程度
	\	断熱材 🖸 種類() 厚さ(mm)() 施工箇所 ・図示 ・		亜鉛めっき銅面 SOP ・銅製建具等 - 銅製建具等:A種		・FOB(置き敷きピニル床タイル)		・せっこうボード GB-R ※突付け(ベベルエッジ) ・継目処理 ※12.5 (不燃) ・15 (不燃)
ŀ	Ì	製品及び取付位置の寸法許容差 ※標仕 17.2.1~3による カラス溝の寸法、形状 ※製造所の仕様による		・A種 ・B種 ・その他		■数形ピニル床タイル(FOA・FOB)の接着剤は粘着はく離形とし、製造所の指定する製品とする ・帯電防止ビニル床タイル (パネルー体タイプ)		
		耐火処理		- A種 - B種 DP - B種 銅製建具等: A種		右に示す製造所の商品程度とする (※9.5 (不燃) ・化粧無 (下地張り用)
		適用部位 · 図示 材料、種別 · 図示		上記以外:B種		・耐熱性ビニル床タイル 右に示す製造所の商品程度とする ()		・化粧有(トラパーチン模様) ※450×910 ・910×910
				EP-G - C種 銅製建具等: A種 上記以外: B種	4 ビニル幅木	材質 ※軟質 ・硬質 [19.2.2]		
	3 PCカーテンウォール	カーテンウォールの材料 [17.3.2~5] [表17.3.1、2] コンクレート 種類 ・普通コンクリート 軽量コンクリート1種 ・			· 二一//TB小	高さ(mm) ※60 ・75 ・100		・化粧せっこうボード(木目) GB-D ※目透し
		品質 ※標仕17.3.2(1)(4)による ・	4 塗装	[18. 4. 1~18. 12. 2] ※ 注 預 日 ※対の程度 高日射反射率		厚さ(mm) ※1.5以上 ・		(W) ・12.5 (不燃) 幅 440mm程度 ※9.5 模様 (※征目 ・板目) 専用下地材有り
		鉄筋			5 ゴム床タイル	色柄 (・メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903による (※1.2 ・)
		配筋 ※図示 シーリング材の種類(目地等) 種類及び寸法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		ペイント塗り (SOP) 木部屋内 ※B種 ・A種		Fe C (min)		せっこうボード等の下地は図示による 石膏ボードの目地工法等
		先付けの材料 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール		鉄銅面 ※B種 ・A種 ・適用する 亜鉛めっき銅面 - ・適用する	6 カーペット敷き G	・タイルカーペット [19.3.2、3] [表19.3.1、2]		目地工法の種類 ・仕上表による
		表面仕上材		・クリヤラッカー塗り(OL) ※B種 ・アクリル樹脂系非水分散型塗装塗り(NAD) ※B種 - A種		パイル形状 種別 施工箇所 寸 法 総厚さ(mm) 備 考 ※ループパイル ※第一種 ※500×500 ※6.5		突付工法及び目透かし工法のエッジの種類 ・ペペルエッジ ・スクエアエッジ
		製品及び取付位置の寸法計容差 ※標仕 表17.3.1、2による・・ボニスの取付けまさ		・耐候性塗料塗り(DP) 鉄鋼面 - 上塗り等級()級 ・適用する		・第二種		遮音シール材 ※アクリル系またはウレタン系シーリング材 ジョイコンパウンド(JIS A 6914) 会板類、MDF及びパーティクルポードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
		ガラスの取付け方法 ガラスの取付け材が構造用ガスケットで複層 ガラス等を使用する場合は、排水機能の設置及びガラス		亜鉛めっき銅面 - 上塗り等級()級 - コンクリート面及び ・A種 ・B種		・カットバイル ・第一種 ※500×500 ※6.5 帯電防止及び ・第二種 ・ ・ 防汚加工品		合板類の張付け ※8種 ・A種
		の封着処理の強化を行う		押出成形をメント板面 ・C種 ・ つや有合成樹脂エマル コンクリート面、 もルタル面、		・カット・ループ併用 ・第一種 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・ ・	11 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ [19.8.2、3]
				ションペイント塗り せっこうボード面、 ※B種 ・A種 — — — (EP-6)		色柄 ※無地 ・柄物		壁紙の種類 施工箇所 紙 機種 プラス 無機質 その他 防火性能 商品名(程度)
				屋内の鉄銅面 ※B種 ・A種		タイルカーペットの敷き方 平 場 ※市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・		一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
				・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) ※B種 ・ A種 ー ー ・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ※B種 ・ A種 ー ー		見切り、押え金物 ・適用する(材質、形状等 ※図示)		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
				・オイルステイン塗り(0S) ※水性 ・油性		※適用しない		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		\		○ A 付款級 全科全 9 (W) ※ N理 · A理 -	7 合成樹脂塗床	[19.4.2、3] [表 19.4.1~8] 種 別 施工箇所 エ 法 仕上げの種類		モルタル・ブラスター面の素地でしらえ ※B種 ・A種
		\		クリアラッカー塗 (CL) A種の工種2の適用 ・適用する (着色剤: ・溶剤系接薬剤 ・油性染料接着剤)		・ 厚膜型塗床材		コンクリート・A L C面の素地ごしらえ ※B種 ・A種 せっこうボード面の素地ごしらえ ※B種 ・A種
				・週用9 る(宿巴剤: ・溶剤糸接染剤 ・油性栄料接着剤) ・適用しない		※厚膜型塗床材 ※薄膜流し展べ工法 ・平滑仕上げ		
				・高日射反射率塗料塗り		エボキ>樹脂系塗床 ・厚膜流し展ベエ法・防滑仕上げ ・樹脂もがエ法		
				工程 塗料その他 塗付け量 規格番号 規格名称 種類 等級 (kg/m²)		- 薄膜型塗床材		
		\		塗料塗り JISK 5675 屋根用高日射 2種 ・1級・2級・3級 塗料製造所の仕様による 反射率塗料		塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・		
		\			8 フローリング張り	単層フローリング [19.5.2~5] [表 19.5.1~5]		
		\	5 フッ素樹脂塗装	打放しコンクリート面保護工法 (下塗材) 水性 浸透性吸水防止材		種類 エ 法 樹種 厚さ 大きさ 仕上塗装 間伐材等 の適用		
		\		(上塗材) ・水性フッ素樹脂クリアー		- 70-リング ボート・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 15 振幅75 ・塗装品 ・有り ・なし		
		\		・水性フッ素樹脂カラークリアー		1等 - 新留め工法 · ・12以上 振幅75 (直張り) · ・ 板長さ400以上		
		\	6 焼付塗装	素 材 焼付種別 仕上げ コート ベーク 部 位		・接着工法 ・ ・8以上 振幅75		
		\		・フッ素樹脂 ・ソリッド ・アルミニウム ・ウレタン樹脂		・ ・ 板長さ400以上 - 7ロ-リング プロック ・接着工法 ・ 15 303×303 ・途禁品		
		\		・アクリル樹脂 ・フッ素樹脂 ・ソリッド		1等 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 有り ・ なし		
				・ステンレス ・ウレタン樹脂 ・メタリック		複合フローリング區		
		\		・アクリル樹脂 ・フッ素樹脂 ・ソリッド		種類 エ 法 樹種 厚さ/大きさ 種別 防湿処理 塗装仕上げ 間伐材等 の適用		1
				・亜鉛めっき網板 ・ウレタン樹脂 ・アクリル樹脂		(両面) ・天然木化粧 ・釘留め工法 ※なら ・A種 ・適用する ・塗装品 ・有り		
		\				複合70-リング (根太張り) ・ ・ B種 ・ 適用しない ・ 無塗装品 ・ なし - C種		
						(直張り)		
						・接着工法 ※なら 板厚 ・12以上・ ・有り ・なし		
						板長さ 400以上		
						フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート		
						現場塗装仕上げ ・行う(施工箇所) ・行わない		
						※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り		
						・生地のままワックス塗り		
		\						
							1	
特织		·				設計年月日 07 - 03 -	工事名称 口之島野	Q面番号 Q面番号 A-07
事						縮尺		
項							図 面 名 称 特記仕様	書7
				I .				

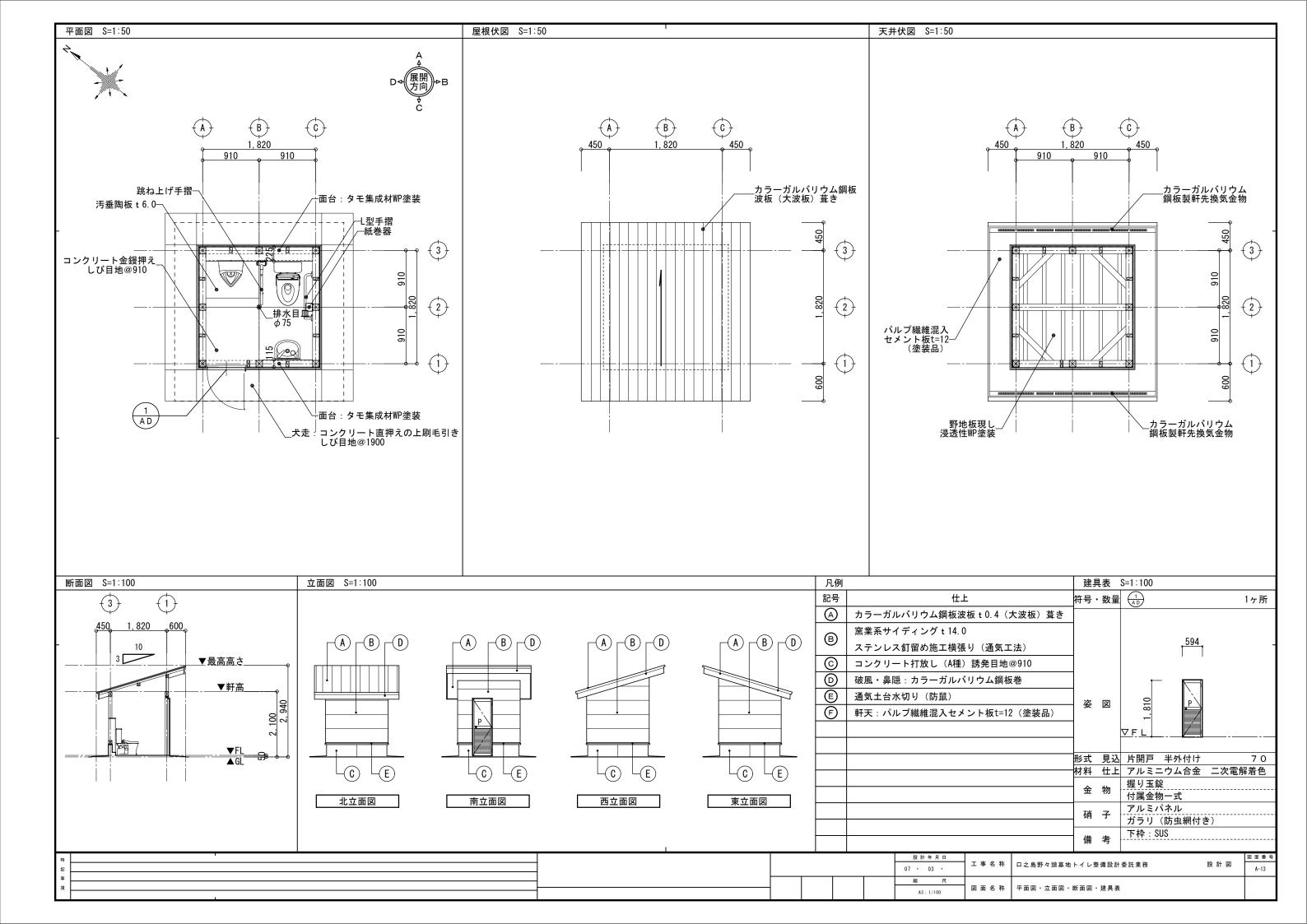


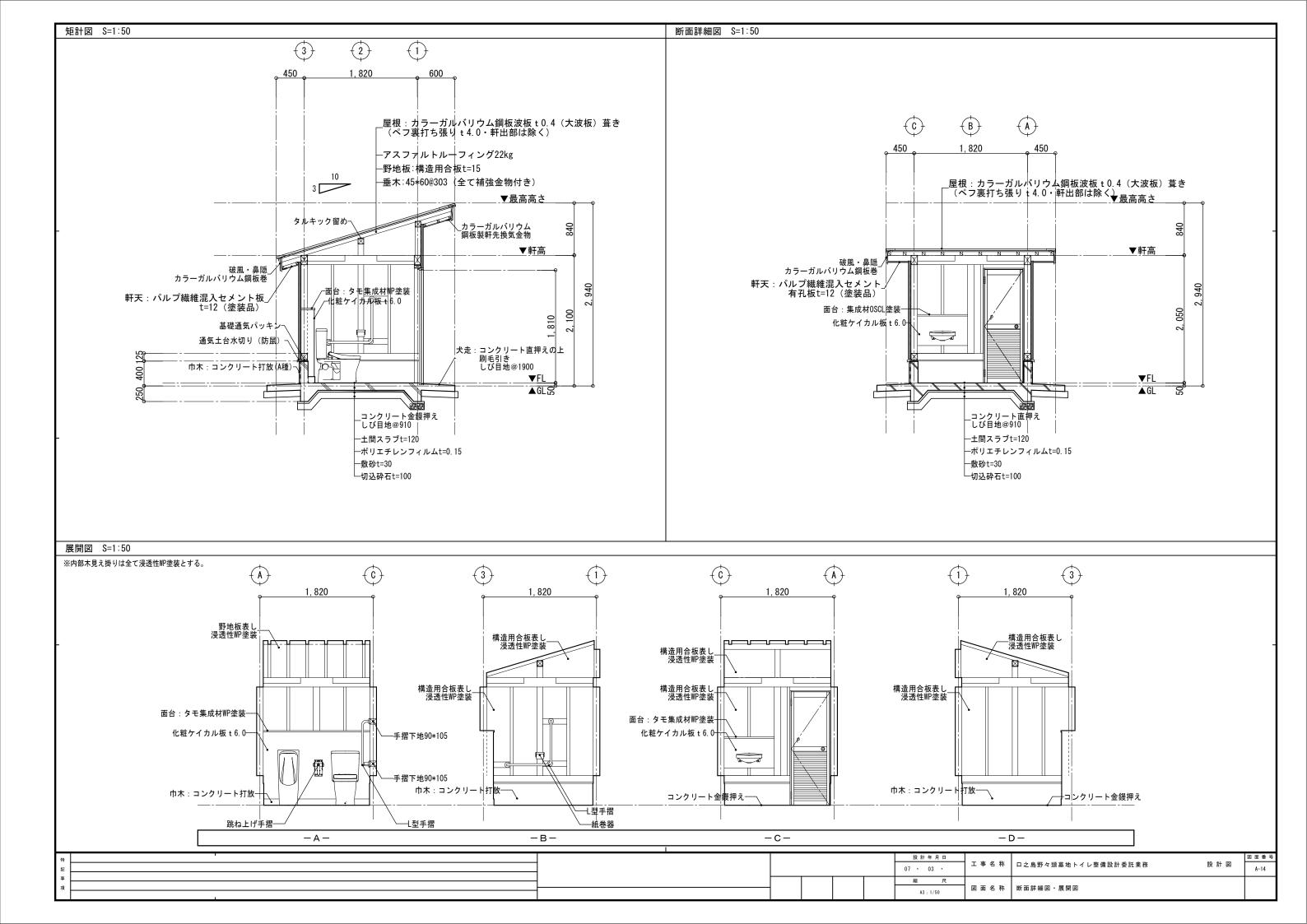


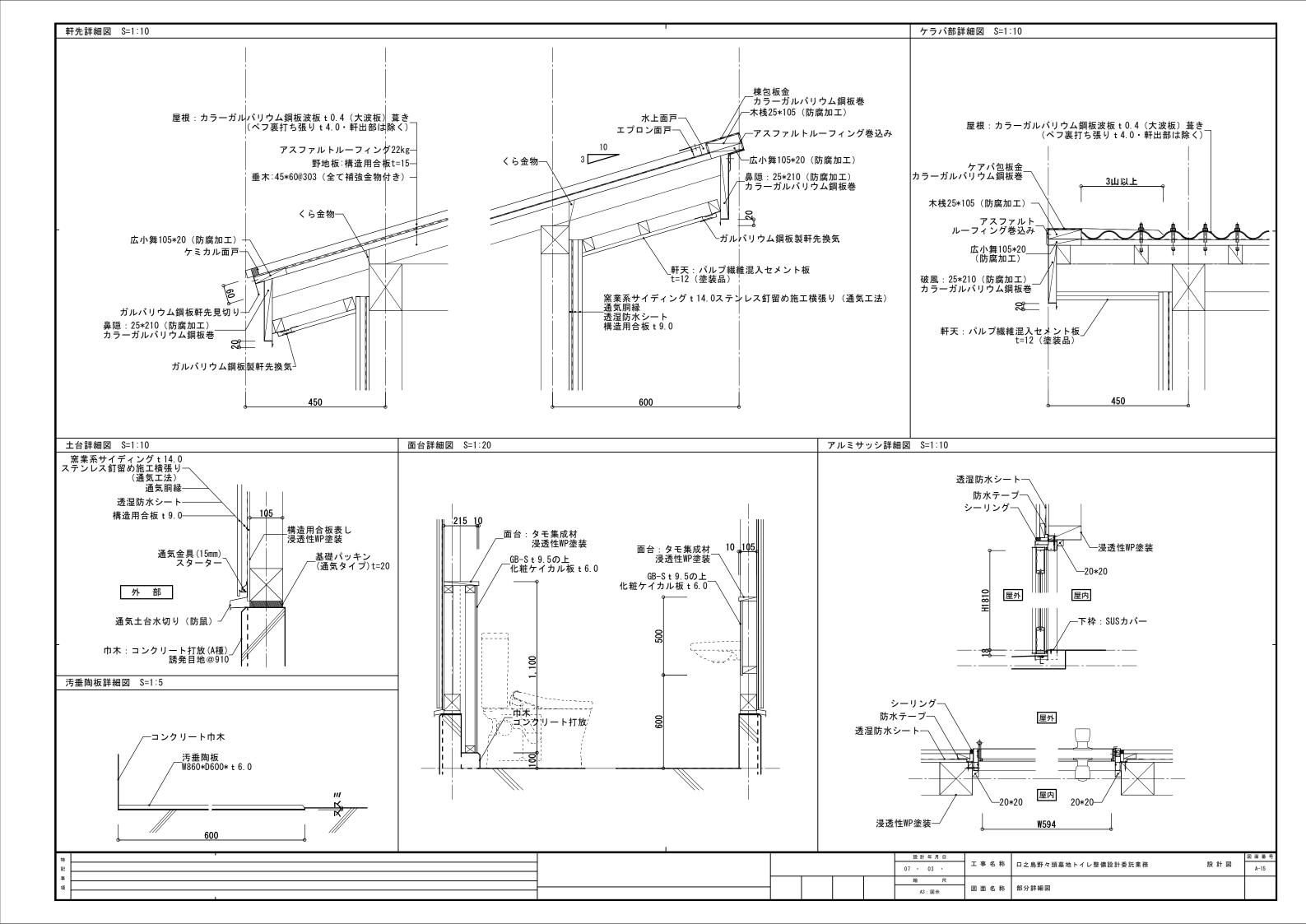


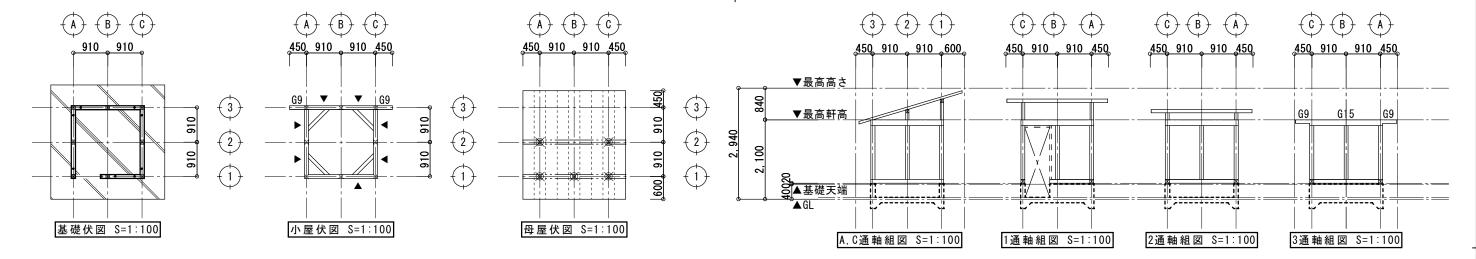
■設計概要							■防火材料	=刃 中	防火認定:	番号 燃材料 QM:準不燃		Τ,	■特記	車石	<u> </u>		
										1			■行品	尹坦	<u> </u>		
工事名称	口之島野々頭墓地トイレ整備設計委託業務	敷 地 面		- m (- :		1	石膏ボード(GB-R t	,	QM-9828	繊維強化セメント板	NM-85						
工事場所	地名地番 鹿児島郡十島村口之島地内 			申請部分	申請以外の部分	合計	石膏ボード(GB-R t=12		NM-8619	繊維混入けい酸加					よる日本工業規格又は日本農林規格に適合す		
		建築面		3. 31 m²		3. 31 m²	強化石膏ボード(GB-F t=		NM-8615	ロックウール吸音板(岩綿吸音板) NM-859		_			ホルムアルデヒドの規制の適用を受けないもの	のを除き、F☆☆	☆☆とする。
区域の指定	都市計画区域外	延べ面		3. 31 m ²	— m²	3. 31 m²	不燃積層石膏ボード(GB-		NM-0441	吹付けロックウール	NM-860				方水シートを貼ること。 		
防火地域 他	防火指定:指定なし	建 ペ い 容 積	率 -				硬質せっこうボード(GB-R シージング石膏ボード(GB-S		NM-1908 NM-9639	グラウウール保温板	NM-860	. —			水道法施行令第5条に基づき施工する		7
その他の指定│ 条 例 │	鹿児島県福祉のまちづくり条例:対象外 		- +	- 最高高さ 2.9	04 具方 紅 方	2. 10m	シーシ ング 石膏 ボード (GB-S			ビニルクロス 塗料塗り	QM-*** NM-8585 QM-9816 RM-	<u> </u>			は、下水道法第10条第1項及び第3項に - - - - - - - - - - - - -) 0
前面道路(最大)	電員 **m 接道長さ **m	同		取同同 ○ 2.8 構造種別 木油		2. 10m	吸放湿化粧石膏ボード(GB-S	-		坐科空り 無機質砂壁状吹付材塗 (セメントリシン, セメントスタッコ他)	<u> </u>				₹基準法施1]〒第129年の2の51に基 20 条)は、電気事業法により施工する。	ルエタる。	
用途地域	指定なし	 構 造 種					化粧石膏(天井用)(GB-D		QM-0524	-1-100 FF -1 FA 15 16 16 11 16	NM-8582 QM-9812 RM-				*/ は、電気事業器により施工する。 2建告1388号に基づき施工する。		
法定建ペい率	指定なし					化粧石膏(天井用)(GB-NC		NM-1864	(合成樹脂系リシン) 複合型化粧用仕上材塗 (吹付タイル他)	<u> </u>					日色 旦十 太	上修)	
法定容積率	指定なし	建築設備の穏	を設備の種類 電気・給水・排水・浄化槽			化粧石膏(入外州/db/No		QM-9824	繊維壁材塗り	NM-8574 QM-9814 RM-				。 ・		119/	
主要用途	公衆トイレ (08990) その他	工事の種		モメ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- /F 1016		硬質せっこうボード(GB-R		NM-1908	(じゅらく) 不燃腰壁用シート	' 		156.00	8/2, 1	こ 収定性 0 日 な 7。 休証 自 (3 千) 近に	шусс.	
<u>- </u>			. 233 2	*//** 			灰貝と フェブホー (40 代	11 6 0.07	14111 1000	「小林版主用フート	100 412						
		破風・鼻隠	+ T-#/	 の上、カラーガル	バリウル銀振券		1	1				Z	<u></u> の	他			
屋根	カラーカルハリウム鋼板波板 t 0.4 (ズ波板) 葺さ (ペフ裏打ち張り t 4.0・軒出部は除く)	双			√ハリワム鋼仮巻 		+					そ	U)	1년			
外 壁		巾 木	73.5	リート打放			-										
27 堂	************************************	· μ					†							-			
軒 裏		建 具	アルミ									-					
T		建 具 犬 走				0 910	1										
 ■ 内 部 仕 上		八	1 -1 -1 -1 -1	, ドロザんのエ	- MPT TIC しい日地で	= V I V						 CS: カッ	ティングシ	<u>_</u>	C:カーテン B:ブラインド R:ロールカーテン		
	内装制限床高									_		P:ピクト T	1	カーテン	<u>ی</u>	1	
階 室 名			巾木			腰		壁		:	天井	見切縁	录 室名札		- 備考	室	名
	元味依拠 スパー	コンクリート打	 「放し(A和	種)	GB−S t 9. 5+化粧ケ	イカル板 t 6.0	浸透性WP塗	表		浸透性WP塗装				レ <u>ール</u> -	<u>/ │</u> 面台:タモ集成材WP塗装		
1	ν <u> </u>	1		-	木下地		構造用合板			垂木・野地板		_	-	-	※木見え掛りは全て浸透性WP塗装とする		
-		1				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				-			-	1			
												/2					
■建物求	積 図 S=1:100	■位置								<u> </u>	=N/S						
600, 1,820			中島。 〇 宝	○ ○ □建記 □表記 □表記 □表記 □表記 □表記 □表記 □表記 □表記 □表記 □表	屋久島	- 島の	東シナ海フェリー待合所		おける。	使高 本在	建設地予定地						
記号 計算式	(m) 面積(m²) × 1.82 3.31	奄美大	·島 / J)							設計年月日 07 · 03 · 縮 尺 A3: 國示	工事:			頭墓地トイレ整備設計委託業務 積表・位置図	設計図	図面番号 A-11
		<u></u>									A3:図示						











※特記なき柱はC10とする。 ※基礎天端はGL+450とする。 ※基礎下は防蟻土壌処理を行うこと。 ※特記なき梁はG15とする。 ※▼:耐力壁は構造用合板 t 9.0 N50釘@150mm以下とする。

コンクリート強度補正(奄美市名瀬) 標準値 3 N 6月11日~10月5日 6 N

※特記なき柱はC10とする。 ※特記なき梁はG15とする。 ※G9・G15は通し梁とする。

記号	材サイズ	材種	備考	部材	材サイズ	材 種	備考	部 材	材サイズ	材 種	備考
C10	105 × 105	杉構造用製材 KD材		土台	105 × 105	杉 構 造 用 製 材 KD材		小屋東 🛚 🗎	90 × 90	杉 構 造 用 製 材 KD 材	
G 9	105 × 90	杉構造用製材 KD材		棟 木	90 × 90	杉 構 造 用 製 材 KD材		垂木	45 × 60	杉一等 KD材	@303
G15	105 × 150	杉構造用製材 KD材		火打梁	90 × 90	杉 構 造 用 製 材 KD材		間柱	90 × 45	杉一等 KD材	@455
				母屋 ≕∺≕	90 × 90	杉 構 造 用 製 材 KD材		耐力壁面材 ▼	t 9.0	針葉樹構造用合板 2級	N50釘@150mm以下

基礎コンクリート

普通コンクリート

設計基準強度18 N/mm2 (18-15-20)

骨材の最大径:20mm スランプ 15cm

空気量4.5%±1.5 単位水量の最大値:185kg/m3

単位セメント量: 270kg/m3以上 水セメント比の最大値:65%

塩化物量:塩化物イオン量で0.3kg/m3

骨材はアルカリ骨材反応を生じるおそれのないものとする。

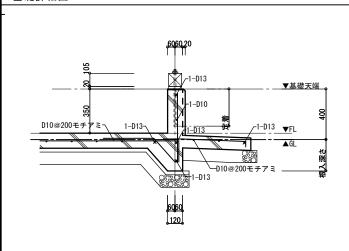
※捨てコンクリート:18-15-20 (無筋コンクリート)とする。

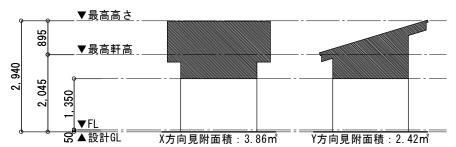
※型枠の存置期間は3日以上とする。

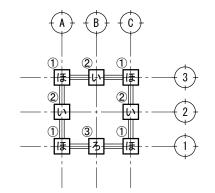
※コンクリートの供試体(3本)による強度試験を行ない、

4週強度の確認を行なうこと。

基礎詳細図 S=1:30







柱頭・柱脚金物はN値法による N≧A1*B1-L

A1:当該柱の両側における軸組の壁倍率の差

B1:出隅0.8, その他0.5 L:出隅0.4、その他の場合0.6

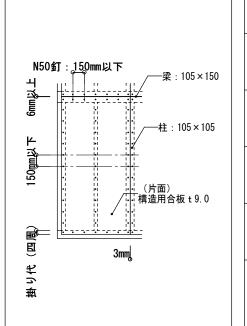
(1): 2.5*0.8-0.4=1.6

②: 0*0.5-0.6=-0.6 ③: 2.5*0.5-0.6=0.65 こと

壁量計	建量計算表												
階	方向	地震力に対する 必要壁量	風圧力に対する 必要壁量	必要 壁量	設計 壁量	判定							
	X軸 方向	$3.31 \mathrm{m}^2 \times 0.11 = 0.37$	2. 42 × 0. 5 = 1. 21	1. 21m	1通り: 0.91×1×2.5=2.275	ок							
1階	方向		1.21m	I.ZIM	3通り: 0.91×2×2.5=4.55 6.825m								
中白	Y軸		$3.86 \times 0.5 = 1.93$		A通り: 0.91×2×2.5=4.55	ок							
	方向	0.37m	1.93m	1.93m	C通り: 0.91×2×2.5=4.55 9.10m								

(い)・・・N値:0.0以下 必要耐力:0.0kN

短ほぞ差し又はかすがい打ち



耐力壁 (壁倍率2.5)

(または同等以上の耐力を有する金物)
b)・・・N値:0.65以下 必要耐力:3.4kN
長ほぞ差し込み栓打ちまたはかど金物CP-L
(または同等以上の接合方法)
t)・・・N値:1.00以下 必要耐力:5.1kN
かど金物CP-T・山形プレート
(または同等以上の接合方法)
E)・・・N値:1.4以下 必要耐力:7.5kN
羽子板ボルト又は短冊金物

(ほ)・・・N値:1.6以下 必要耐力:8.5kN 羽子板ボルト又は短ざく金物

(スクリュー釘打ちあり) (または同等以上の接合方法)

・金物の仕様の詳細については、「建築基準法告示第1460号 表1及び表3」 を参照すること。

(スクリュー釘なし) (または同等以上の耐力を有する金物)

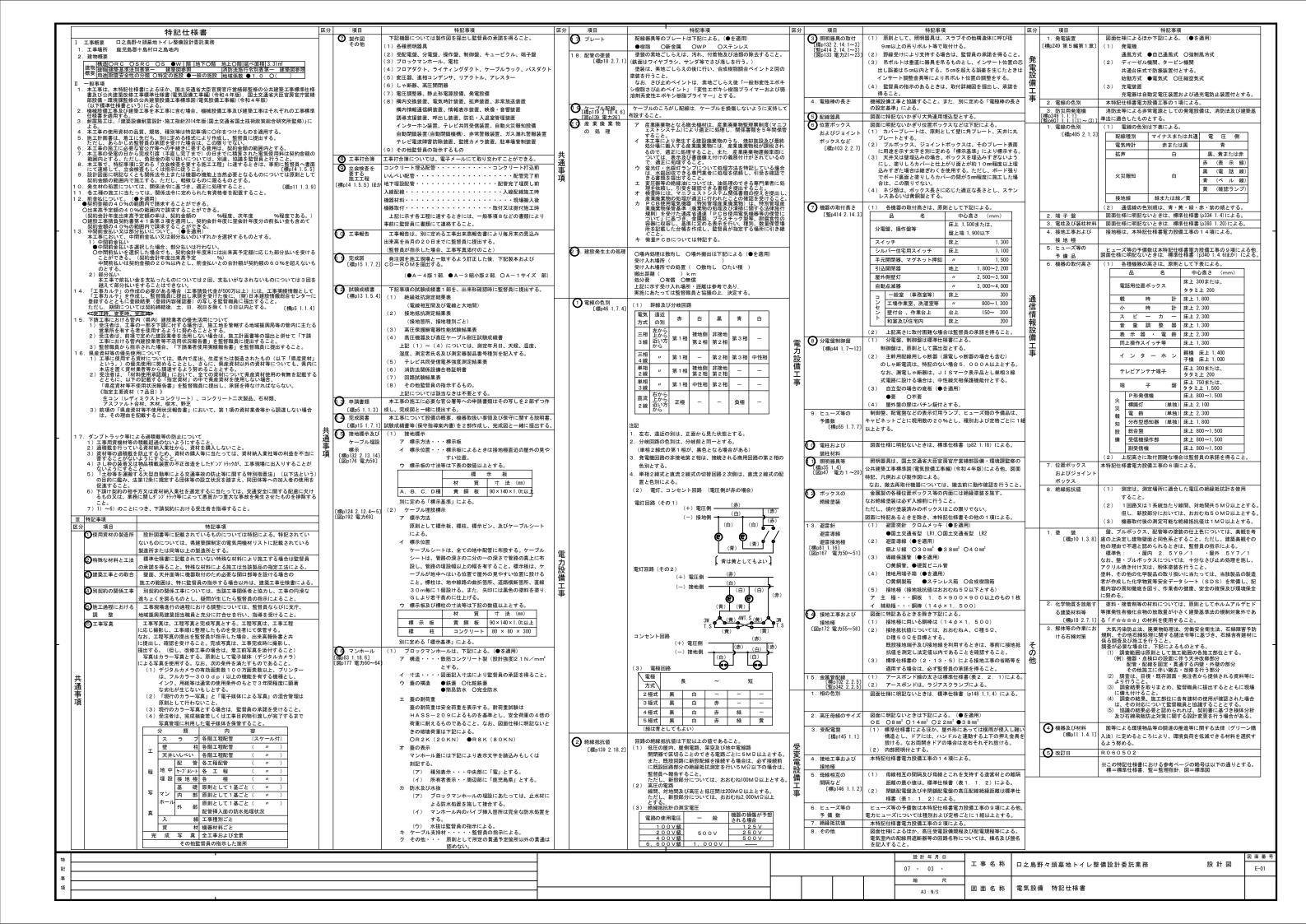
・接合金物は、Zマーク認定金物同等以上とすること。

※土台用アンカーボルトは下記の通りとする。

・M12アンカーボルト L=450(定着長さ250以上)

・土台両端部又は柱から+200@1,900以内

特				設計年月日	- = 2 5		図面番号
58				07 · 03 ·	工事名称	ロ之島野々頭墓地トイレ整備設計委託業務 設 計 図	A-16
事				線 尺			
項					図面名称	構造図	
				A3 : 1/100			

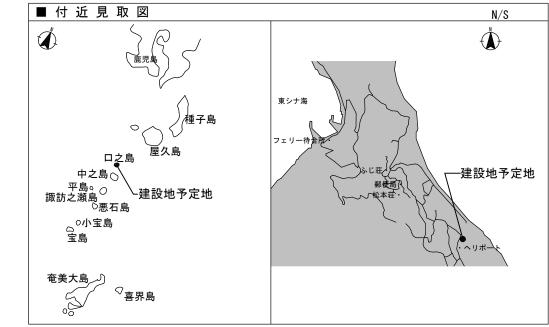


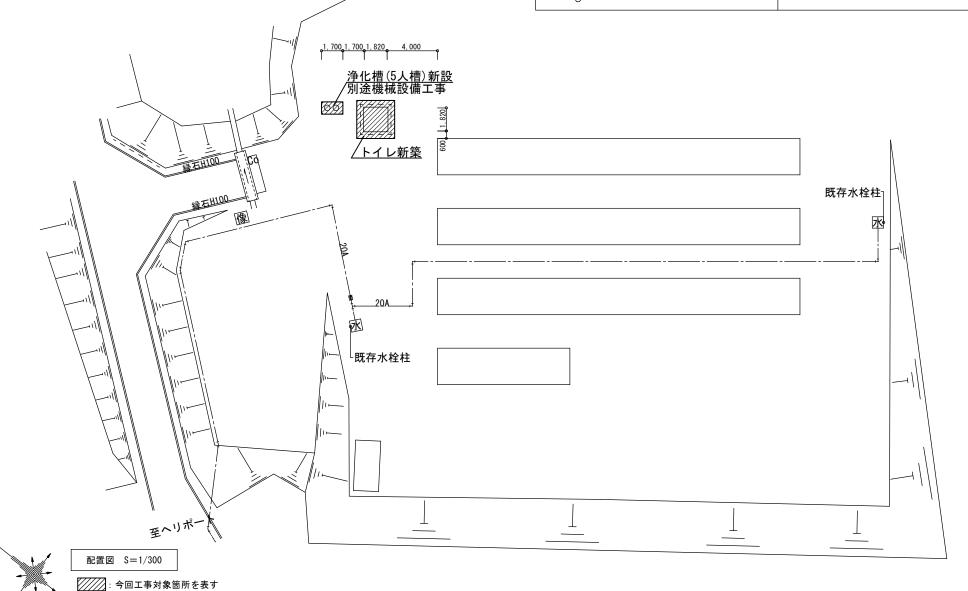
工事内容

1, トイレ新築・浄化槽新設に伴う、電気設備工事一式

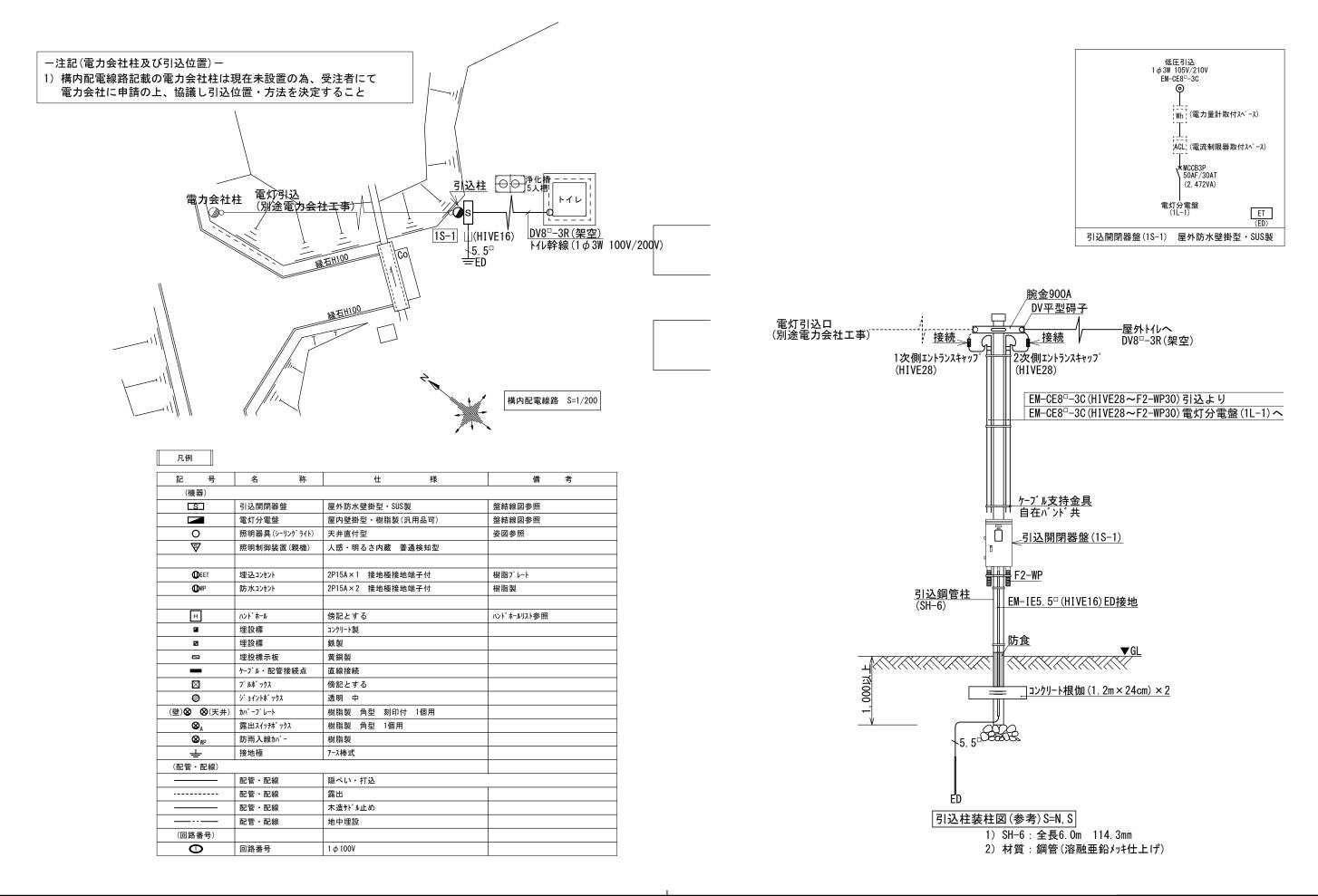
特記事項

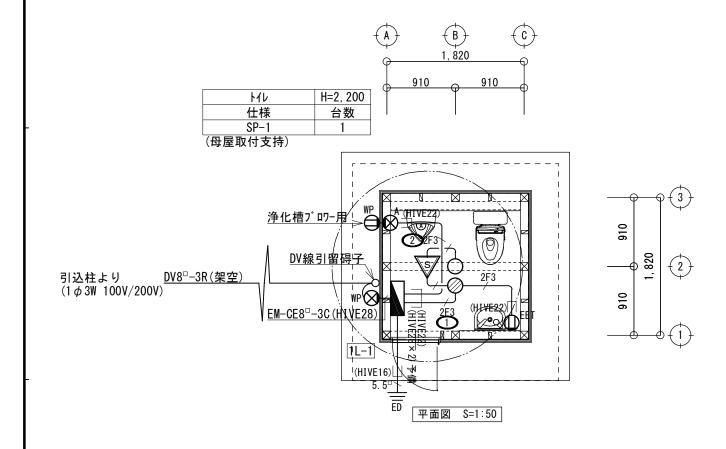
- 01) 本工事場所の安全を確保し十分注意して作業を行うこと。
- O2)本工事着工前に現地調査を十分行い施工すること。
- 03) 本工事において、監督職員と十分協議し、承諾を得た後作業に着手すること。
- 04)工事施工に先立ち、工事の支障となる機器又は移動すべき機器等が発生した場合は、監督職員 と協議すること。
- 05) 工事期間中は安全作業に努めると共に火気にも十分注意して作業すること。
- 06) 工事期間中に休日及び時間外作業をする場合、事前に監督職員に連絡し承諾を得て作業すること。
- 07)工事現場事務所、材料置場及び作業車両の駐車スペースについては監督職員と打合せのこと。 また、敷地内の車両走行については、必ず徐行運転を行うこと。
- 08)屋外露出及び多湿箇所の支持金物・ボルトナット類は全てステンレス製(SUS304)とする。
- 09) 施工や工程等に問題が発生した場合は速やかに監督職員に連絡、協議を行うこと。
- 10)機器等の調達遅延を含め、受注者の責めによらない事由により、工程に影響が生じる場合には、 工事の一時中止や工期延長について監督職員と協議すること。また、工事を全面的に一時中止している 期間は、監理技術者等の専任を要しない期間とする。
- 1 1) 高所作業の際は墜落制止用器具を着用するなどの安全対策を行うこと。





特				設計年月日			図面番号
58				07 · 03 ·	工事名称	口之島野々頭墓地トイレ整備設計委託業務 設計 図	E-02
事			ī	線界			+
項				MB /	図面名称	付近見取図・配置図・工事内容・特記事項	
				A3:1/300			







注記

配線	保護管
EM-EEF1. 6-2C	(木造サドル止め)
EM-EEF1. 6-3C	(木造サドル止め)
EM-EEF2. 0-3C	(木造サドル止め)
空配管	(傍記とする)
表す	
たは別途工事を表す	
	EM-EEF1. 6-3C EM-EEF2. 0-3C 空配管 表す

盤名称	盤仕様			- 00	,	\ .i.± BE	188 00		4 # #	= (VA)			
電気方式	主開閉器・その他	回路 番号	電圧	E (V)) 5.) 收 饼	閉器		負荷容	重 (VA)	負荷名称		
幹線番号	1 土用闭絡・ての他	田勺	200	100	種別	種別 P AF		AT	第1相	第2相			
1L-1													
AC 1 φ 3W	ELCB3P 50AF/30AT												
100V/200V EM-CE8=-3C	O Y JUAF/ SUAT	\dashv		0	MCCB	2	50	20	322		トイレ 照明・洗面器・便座コンセント		
	 	<u>_</u> ②		0	MCCB	2	50	20		150	浄化槽プロワーコンセント		
屋内壁掛型樹脂製	 			0	MCCB	2	50	20	500		予備		
(汎用品可) ウラホ゛ックス	 			0	MCCB	2	50	20		500	予備		
(FS200 × 200	×75)			0	MCCB	2	50	20	500		予備		
	 			0	MCCB	2	50	20		500	予備		
					MCCB	2	50				ス^゚−ス		
▼FL					MCCB	2	50				λ Λ° − λ		
姿図(参考)	(FD)							計	1322	1150	計: 2, 472VA		

—【注記】 ——

- 1) 主開閉器は、中性線欠相保護装置付きとすること
- 2) 遮断器の定格は下記による。

分岐 MCCB RC≧2.5kA ELCB RC≧2.5kA 30mA 0.1sec

3)分岐回路用遮断器及び電磁接触器(2P30A以下)はJIS協約型 1Pサイズとし、 種別は結線図による。

200V : 2P2E (MCCB, ELCB) 100V : 2P1E (MCCB, ELCB)

特	•		設計年月日	丁事夕称		図面番号
58			07 • 03 •	工事名称	ロ之島野々頭墓地トイレ整備設計委託業務 設計 図	E-04
事						
項		4	10 1/50	図面名称	電灯設備平面図・照明姿図・盤結線図	_ <i>'</i>
			A3 : 1/50			

	仕 構造OR	C OSRC OS (OW
物經濟	階 地	下 階 地上 階	
!物概要		㎡(対象面積 基準法別表第一	mi) 消防法施行令別表第一
		安全性の分類 〇特定の施設	O一般の施設 地域係数 ● 1. O O()
	給排水	工事項目 新生工事	空気調和工事
衛生器具工		〇 消火工事	〇 空気調和工事
給水工事 排水工事(含通気)	○ ガス工事● 浄化槽工事	〇 換気工事
給湯工事		〇 厨房器具工事	
一般事			庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(機械
			月
		1土交通省国土技術政策総合研	究所監修建築設備耐震設計・施工指針
(2014年 本工事の使		・種別等は、本特記による。	
		(及び諸手続等の費用はすべて 監督職員に提出する。	受注者の負担とする。
		監督戦員に掟田りる。 ②士を適用させる。(但し●印	ወ ൿ)
〇配管技能士	└ 〇ダクト板金技能	〔士 ○熱絶縁施工技能士 ○冷	凍、空気調和機器施工技能士 [標P-16 1.5.2]
検査もしく	は指示に従うこと。	[標P-17 1.5.6]	に達するときは、事前に監督員に連絡して立会
	明記なくとも関係法		必要となるものについては、原則として請負金
	他工する。 理等については、図	示によること。	[標P-10 1.3.9]
本工事の施	エに伴う既設建物の)破損箇所は従来にならい復旧	する。
			00万円以上)には、工事実績情報として「エ (財)日本建設情報総合センターに登録すると
ともに登録	結果(工事カルテ受	領書) の写しを監督職員に提	出すること。(受注時、変更時及び完成時)
		結後、土、日、祝日を除く1 建設業者の優先活用について	0日以内とする。 [標P-51.1.4]
			管轄する地域振興局等の管内に主たる営業所
を有す 2) 受注者	る句を使用するよう は、前項で定めた建 中央記念を	ルーガのることとする。 記業者を活用しない場合は、	管轄する地域振興局等の管内に主たる営業所 施工計画書等の提出と併せて「下請工事にお
3) 監督職	員から指示された場	状況報告書」を監督職員に提 合、「下請業者使用実績報告	書」を監督職員に提出すること。
県産資材等の 1)工事に	の優先使用について 東用する資材につい	ては、県内で産出、生産また	は製造されたもの(以下「県産資材」という。) 資材等についても、県内に本店を置く資材業者 ついて県資材使用の有無を記載するとともに、 い場合は、「県産資材等不使用状況報告書」
の優先 等から	東用に努めることと 調達するよう努める	し、さらに、県産資材以外のこととする。	資材等についても、県内に本店を置く資材業者
2) 受注者に以下に記	は、 □材料使用承認原 記載する □指定資材	則において、すべての資材に1 」の中で県産資材を使用しない。	ついて県資材使用の有無を記載するとともに, い場合は, 「県産資材等不使用状況報告書」
《指定資材	(7品目)》		
		ノッリート), コンクリート二次 状況報告書」において, 第 1 I	(製品, 石材類, アスファルト合材, 木材, 樹木, 野芝 頁の資材業者等から調達しない場合は,その理
由を記載	世 ること。	監督職員から指示された場合, を監督職員に提出すること。	
の電子	(エクセル) データ Lにあたっては. 関	を監督職員に提出すること。 係法令に定められた有資格者	を配置すること。
ダンプトラッ	ク等による過積載	等の防止について	
2) 過積載を		入業者から、資材を購入しなし	
とがなし	いようにすること。		ては、資材納入業者等の利益を不当に害するこ
	D装着又は物品積載 うにすること。	装置の不正改造をしたダンプ!	トラックが、工事現場に出入りすることが
5) 「土砂等	を運搬する大型自!	動車による交通事故の防止等に 規定する団体等の設立状況をS	に関する特別措置法」 (以下法という) 沓まえ、同団体等への加入者の使用を促進する
こと。			
6) K##+#		材納 人業者を選定するに当← -	ってけ 交通安全に関する配慮にかけるまのます
は、業利	トに関しダンプトラ・	ック等によって悪質かつ重大な	っては、交通安全に関する配慮に欠けるものまた な事故を発生させたものを排除すること。 けるニレ
は、業務 7)1)~6)	修に関しダンプトラーのことにつき、下記	材納人業者を選定するに当たっ ック等によって悪質かつ重大な 請契約における受注者を指導す	3事故を発生させたものを排除すること。
は、業系 7)1)~6) 特記事	がに関しダンプトラーのことにつき、下記	ック等によって悪質かつ重大な 請契約における受注者を指導す	3事故を発生させたものを排除すること。 けること。
は、業系 7)1)~6) 特記事 殊な材料 と工法	所に関しダンプトラーのことにつき。下記 「項」 標準仕様書に記載 なお、特殊な材料	ック等によって悪質かつ重大な 請契約における受注者を指導す はされていない特殊な材料によ による施工は当該製品の指定	事故を発生させたものを排除すること。 すること。 り施工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。
は、業別 7)1)~6) 特記事 殊な材料 :工法 設工事と	所に関しダンプトラーのことにつき、下記 「項」 標準仕様書に記載 なお、特殊な材料 壁面、天井面等に	ック等によって悪質かつ重大な 請契約における受注者を指導す はされていない特殊な材料によ による施工は当該製品の指定	事故を発生させたものを排除すること。 「ること。 り施工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に
は、業系 7)1)~6) 特記事 殊な材料 :エエエ 設取合 連工事等	に関しダンプトラーのことについます。 「真」 「標準仕様書に記載料は 壁配に、天ない事等に 関係工事等についます。	ック等によって悪質かつ重大な 請契約における受注者を指導す はされていない特殊な材料によ による施工は当該製品の指定 機器取付のため必要な開口部 は、監督職員の指示によること いては、当該工事関係者と協力	事故を発生させたものを排除すること。 「ること。 り施工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に
は、 * (4) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	移に関しダンプトラ・ のことにつき、下! 基項 標準仕様書に記載 なお、特殊な材料 壁面記のない場合に 明配のない場合に 関係工事等につい 疑問が生じたら監	ック等によって悪質かつ重大な 請契約における受注者を指導す されていない特殊な材料によ による施工は当該製品の指定 機器取付のため必要な耐ま は、監督職員の指示によること では、当該工事関係者と協力 智職員の指示によること	事故を発生させたものを排除すること。 「ること。 り施工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等をける場合の施工の範囲は、設計図書等に 。
は1) 特 は1) 特 は2 は1) 特 は3 は4 に4 に4 に5 に5 に5 に5 に5 に5 に5 に5 に5 に5	Aに関しダンプトラ・ のことにつき、下下 基項 標準仕様書に記載料 なお、特殊抽画会に 明配のない場合に 関係が生じたの迎接 世本現代の選挙を である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	ック等によって悪質かつ重大な 請契約における受注者を指導す はされていない特殊な材料によ による施工は当ち級の指定 機器取付のため必要を期口ある。 、整督職員の指示によること な管職員の指示によること。 を登しる。 を受けること。 受けること。	事故を発生させたものを排除すること。 「ること。 り施工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に 。 「し、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合
は1) 特別 は1) 特別 を	Aに関しダンプトラ・ のことにつき、下下 基項 標準仕様書に記載料 なお、特殊抽画会に 明配のない場合に 関係が生じたの迎接 世本現代の選挙を である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	ック等によって悪質かつ重大な 請契約における受注者を指導す はされていない特殊な材料によ による施工は当ち級の指定 機器取付のため必要を期口ある。 、整督職員の指示によること な管職員の指示によること。 を登しる。 を受けること。 受けること。	本 放き発生させたものを排除すること。 「ること。 り施工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に 。 し、工事の円滑な進捗を図るものとし、
は、	に関しダンプトテト のことにつき、下! 標準仕様者に記載 なお、特殊な材料 壁面、天井面等に 関係工事等につし 疑問が生じたら登逸 ・ 生を行い、 ・ 世を行い、 ・ 世を一 ・ 世を一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ック等によって悪質かの重大な 請契約における受注者を指導す。 はたれていない特殊な材料によ による施工は当時級の指定 は、整督職員の指示によること では、当該工事関係者と協力 管職員の指示によること。 超における調整については、 受けること。 過と一致するよう訂正をした後 19 1.7.2) (● A - 4 版 1 部.	事故を発生させたものを排除すること。 「ること。 リ施エする場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に ・ し、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下記製本およびCDーROMを提出する。 ● A - 3 縮小版 2 部、 O A - 1 サイズ 部)
は、 * 6) 特 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	に関レダンプ・テート では、	ック等によって悪質かの重大な 請契約における受注者を指導す。 はたれていない特殊な材料によ による施工は当時級の指定 は、整督職員の指示によること では、当該工事関係者と協力 管職員の指示によること。 超における調整については、 受けること。 過と一致するよう訂正をした後 19 1.7.2) (● A - 4 版 1 部.	事故を発生させたものを排除すること。 「あこと。 リ施工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に ・ 「し、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下記製本およびCDーROMを提出する。 ●A-3縮小版2部、OA-1サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績書を2部提出す 監督員の指示による。
は)~ (1) 本 ・ (1) 本 ・ (2) 本 ・ (3) 本 ・ (4) 本 ・ (4) 本 ・ (5) 本 ・ (5) 本 ・ (5) 本 ・ (6) 本 ・ (7) 本 ・ (7) 本 ・ (8) 本	に関レダンプト下! 「標準仕様等なた特殊な材料 「特殊な材料 「特殊なな、場合は 関係工事でにお刺刺 関係工事でにも必要を 発達の表す。 発達の表す。 発達の表す。 のでは、 ので	ック等によって悪質かの重大な 請契約における受注者を指導す はされていない特殊な材料によ による施工は当該製の要を閉った は、監督職員の指示によること では、当該工事関係者と協っ 着職員の指示によること を関いては、当該工事関係者と協っ を関いては、当該工事関係者と協っ を関いては、当ない を関いては、 を関いな とは、 を関いな とは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 を	事故を発生させたものを排除すること。 「おこと。 リ施工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に し、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下配製本およびCD-ROMを提出する。 ● A-3縮小版2郎、OA-1サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績書を2部提出す 監督員の指示による。 【權P-17 1.5.5】【權P-18 1.7.1】
は、一分 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	に関レジンプき、下「 「標準仕様等なに記材 壁面、天井海舎に記材 壁面、天井海舎に記材 壁面、天井海舎に記材 壁面、天井海舎に 関係間が生たちら迎走 を放き、野田・佐藤・石 ・ 一 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で	ック等によって悪質かの重大な 請契約における受注者を指導す はされていない特殊な材料によ による施工は当該製の要を閉った は、監督職員の指示によること では、当該工事関係者と協っ 着職員の指示によること を関いては、当該工事関係者と協っ を関いては、当該工事関係者と協っ を関いては、当ない を関いては、 を関いな とは、 を関いな とは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 を	事故を発生させたものを排除すること。 「ること。 リ施工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に 。 し、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下記製本およびCDーROMを提出する。 ● A - 3縮小版2郎、OA - 1サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績書を2部提出す 監督員の指示による。 【標P-17 1.5.5〕【標P-18 1.7.1] 本またはその写しを2部ずつ件成し、完成図と
は、業務 7)1)~6)	に関レダンプき、下! 「標準仕様等に記材 「標準仕様等なに記材 ・ 野郎の天井海舎に ・ 明記のない場合に ・ 明記のない場合に ・ 明記のない場合に ・ 明報の表が ・ 一 報告を ・ 日本の ・ 日本	ック等によって悪質かの重大な 請契約における受注者を指導す による施工は当整製を設定は 機器取付のためを実施間の は、監督職員の指示によること では、当該工事関係を協力 智觀員の指示によること 受けること。 急一致するよう訂正をした後 19 1.7.2) ● A - 4版1部. 化石油ガス吸槽は、ガス機能よる。その他の試験成績書は 、要な官公署への申請書類は原 (標P-5 1.1.3) (標P-18	事故を発生させたものを排除すること。 「ること。 リ施工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に 。 し、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下記製本およびCDーROMを提出する。 ● A - 3縮小版2郎、OA - 1サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績書を2部提出す 監督員の指示による。 【標P-17 1.5.5〕【標P-18 1.7.1] 本またはその写しを2部ずつ件成し、完成図と
は、未会の ・ 大きな ・ 大きな	に関しダンプト下! 「標準仕様等なに記材料 「根準仕様等なお材料 「特殊な材料」 「関係工事をらも 原間が生じたらも 原間が生じたの。 発注図を施工事現場と指現す ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ック等によって悪質かの重大な 請契約における受注者を指導す。 はされていない特殊を材料によ による施工は当数をの数を限同ると指定 機器取付のため必要を限同ることが を開発しては、当該工事関係者とと。 を提供しては、当該工事関係者とと。 を関しては、当該工事関係者とと。 を関しては、当な工事関係者とと。 をしては、当な工事の指示によることにより を関しては、 をしては、当な工事の指示によることにより をしては、当な工事の指示によることのは、 をしては、ガス供給 としな、カス代報 をして、カス代報をは、ガス供給 とよる。その他の試験成績書は 、要な官公署への中籍署類は原 (押-5 1.1.3) [標P-18 定める工事出来高報告書によ る。(A-4版)	事故を発生させたものを排除すること。 「あこと。 リ施工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に し、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下配製本およびCDーROMを提出する。 ● A - 3縮小版2部、OA - 1サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績畫を2部提出す 監督員の指示による。 [權P-17 1.5.5] [標P-18 1.7.1] 本またはその写しを2部ずつ作成し、完成図と 1.7.1] リ毎月末見込みの出来高等を当月の20日まで
は、東6、東6 特 1 1 一部 特 2 1 1 年 2 1 年 3 日 4 日 3 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日	に関レダンプ・テート 「標準仕様等に記す 「標準仕様等体を対す ・特殊な材を、特殊な材 ・特殊な材 ・特殊なが、特殊な材 ・明記のない場合は 関係工事等につる ・受問が、特殊な材 ・受問が、表現の ・展別で ・一海に ・展別で ・展別で ・一海に ・一 ・一 ・一 ・一 ・一 ・一 ・一 ・一 ・一 ・一	ック等によって悪質かの重大な 請契約における受注者を指導す はたれていない特殊な材料によ定 機器取付のため工は当数数要を開口部 は、監督職員の指示によること、 では、当該工事間を合いないでは、 受けること。 と一致するよう訂正をした後、 19 1.7.2) (● A - 4 版 1 部、 水化石油ガス設備は、カス供給 よる。その他の試験成績書は 、変な官公署への申請書類は原 (棚)-5 1.1.3) (棚)-18 定める工事出来高報告書による。(A - 4 版) 「ボート・事項及び監督職員と協 「添した事項及び監督職員と協	事故を発生させたものを排除すること。 「ること。 「ること。 リ施工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に。。 し、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下記製本およびCD-ROMを提出する。 ●A-3縮小版2部。OA-1サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績書を2部提出す監督員の指示による。 〔程P-17 1.5.5〕〔4甲-18 1.7.1〕 本またはその写しを2部ずつ作成し、完成図と 1.7.1〕 リ毎月末見込みの出来高等を当月の20日まで 議した結果について、記録を整備する。
は、東令() 1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	に関しダンプ・下! 「標準化特殊な材料を 標準化特殊なが場合に 関係工事等にとの過避を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ック等によって悪質かを指導。 はたれていない特殊を放射によ による施工は当ち後の要を閉って による施工は当ち後の要を閉ってと は、整督職員の指示によること。 は、整督職員の指示によること。 を関係者と協力 皆職員の指示によること。 を関係者と協力 とを を を は、 を は、 を は を は を は に し た は に し た は し た し に し た し し に に に に に に に に に に に に に	事故を発生させたものを排除すること。 「ること。 「ること。 リ施工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に。。 し、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下記製本およびCD-ROMを提出する。 ●A-3縮小版2部。OA-1サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績書を2部提出す監督員の指示による。 〔程P-17 1.5.5〕〔4甲-18 1.7.1〕 本またはその写しを2部ずつ作成し、完成図と 1.7.1〕 リ毎月末見込みの出来高等を当月の20日まで 議した結果について、記録を整備する。
は、乗6 1 特記 1 特記 1 株本材料と工法 4 と工法 5 と取合 事等 型型 2 型型 2 型型 2 型 3 型 3 型 3 型 3 型 3 型 3 型 4 関 5 型 5 型 6 型 7 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8	に関こダンプ・テア! 基準仕様等な行うでき、下では、 様準仕様等な合うでは、 ・ である。 ・ では、 ・ では、	ック等によって悪質かを指導。 はたれていない特殊を放射によ による施工は当ち後の要を閉って による施工は当ち後の要を閉ってと は、整督職員の指示によること。 は、整督職員の指示によること。 を関係者と協力 皆職員の指示によること。 を関係者と協力 とを を を は、 を は、 を は を は を は に し た は に し た は し た し に し た し し に に に に に に に に に に に に に	事故を発生させたものを排除すること。 「あこと。 「おこと。 「おこと。 「おこと。 「おこと。 「おこと。 「おこと。 「おこと。 「は、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下記製本およびCDーROMを提出する。 ● A - 3縮小版2郎、○ A - 1 サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績書を 2 部提出す 監督員の指示による。 「標P-17 1.5.5〕 [標P-18 1.7.1] 本またはその写しを2部ずつ作成し、完成図と 1.7.1] リ毎月末見込みの出来高等を当月の20日まで 議した結果について、記録を整備する。 、直ちに記録を作成する。 る場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整
は、乗6 1 特記 1 特記 1 株本材料と工法 4 と工法 5 と取合 事等 型型 2 型型 2 型型 2 型 3 型 3 型 3 型 3 型 3 型 3 型 4 関 5 型 5 型 6 型 7 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8	に関こシブラ・下! 「標準性 特殊な容的 で	ック等によって悪質がの重大な 講契的における受注者を指導す。 はされていない特殊を材料によ による施工は当整要を開っている は、監督職員の指示によるにないでは、 場別では、当然では、当然では、 を受けること。 をと一致するよう打正をした後 をと一致するよう打正をした後 をと一致するよう打正をした後 をと一致するよう打正をした後 をと一致するよう打正をした後 をと一致するよう打正をした後 をと一致するよう打正をした後 をと一致するよう打正をした後 をと一致するよう打正をした後 をと一致するよう打正をした後 をと一致するよう打正をした後 をと一致するよう打正をした後 をと一致するよう打正をした後 をして、 をして、 に、は、は、が、の申請書類は原 に、定めるエキ出来、高報告書による。その申請書類は原 に、またる。そのものは、またない。またない。またない。またない。またない。またない。またない。またない。	事故を発生させたものを排除すること。 「あこと。 「おこと。 「おこと。 「おこと。 「おこと。 「おこと。 「おこと。 「おこと。 「は、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下記製本およびCDーROMを提出する。 ● A - 3縮小版2郎、○ A - 1 サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績書を 2 部提出す 監督員の指示による。 「標P-17 1.5.5〕 [標P-18 1.7.1] 本またはその写しを2部ずつ作成し、完成図と 1.7.1] リ毎月末見込みの出来高等を当月の20日まで 議した結果について、記録を整備する。 、直ちに記録を作成する。 る場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整
は、乗6 1 特記 1 特記 1 株本材料と工法 4 と工法 5 と取合 事等 型型 2 型型 2 型型 2 型 3 型 3 型 3 型 3 型 3 型 3 型 4 関 5 型 5 型 6 型 7 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8	に関こシフラ・下! 「根準化 性様素なを可能 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ック等によって悪質が重大な 講契的における受注者を指導す。 はされていない特殊を材め料によ による施工は当整要を開っている による施力である。 は、監督報負の指示によるとと。 身性では、当路ボニよることと。 身性では、当路ボニよることと。 身性では、当路ボニよることと。 身性では、当路ボニよることと。 身性では、当路ボニよることを、 身性では、当路様における調整については、 と一数するよう訂正をした後 と一数するよう訂正をした後 とし、一数では、当な、供給は、ガス乗の申請書類は原 には、は、カス乗の申請書類は原 にある。その中請書類は原 にある。その中語書類は原 にある。(A 4 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	事故を発生させたものを排除すること。 「あこと。 リ施工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
は、乗6 1 特記 1 特記 1 株本材料と工法 4 と工法 5 と取合 事等 型型 2 型型 2 型型 2 型 3 型 3 型 3 型 3 型 3 型 3 型 4 関 5 型 5 型 6 型 7 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8	に関こする。 「は、	ック等によって悪資法を指導。 講契的における受法者を指導。 はされていない特殊を材め相によ による施力にから変異を関っては、 地域のためのようでは、 当路本によるを使うである。 は、生質を関係をといる。 を受けること。 をと一致するよう打正をした後、 をしては、当然をについては、 をと一致するよう打正をした後、 をしている。 でしている。 でしているでしている。 でしている。 でしている。 でしている。 でしているでしなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	事故を発生させたものを排除すること。 「あること。 「おこと。 「はこと。 「
は、乗6 1 特記 1 特記 1 株本材料と工法 4 と工法 5 と取合 事等 型型 2 型型 2 型型 2 型 3 型 3 型 3 型 3 型 3 型 3 型 4 関 5 型 5 型 6 型 7 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8	に関こグンラ・下 (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (5) エキ・ロー (4) (5) エキ・ロー (4) (6) エキ・ロー (4) (6) エキ・ロー (4) (7) (6) エキ・ロー (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	ック等によって悪質するを指導。 (されてルない音楽を対象が表していない音楽を対象が表していない音楽を表しているのである。 による施工は音響を要を関っておいます。 は、監督職員の指示によること。 は、監督職員の指示によること。 は智職員の指示によること。 を関するよう訂正をした後 見と一数するよう訂正をした後 とと一数するよう訂正をした後 と、19 1.7.2) ● A - 4 版 1 郎 代 を	事故を発生させたものを排除すること。 「本によっている。 「本によっている。 「本によっている。 「本によっている。 「は、工事の円滑な進捗を図るものとし、 「地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下記製本およびCDーROMを提出する。 「本には、「本には、「本には、「本には、「本には、「本には、「、」」」 「本には、「、」」 「、」 「、」 「、」 「、」 「、」 「、」 「、」 「、」 「、
は、大きな対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	に関こグンプラ・下 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ック等によって悪質が書き、 消契約によける受注者を指導す。 はされていない特殊及な材料に上による施工は当数を変を関っている。 による能力は当数を変を関っことが、 は、監督職員の指示による協力 皆職員の指示による協力 皆職員の指示による協力 を関いては、当該工による協力 を関いては、当該工による協力 を関いては、当ないのでは、 を関いては、当ないのでは、 を関いては、当ないのでは、 を関いては、当ないのでは、 を関いては、当ないのでは、 を関いては、当ないのでは、 を関いては、当ないのでは、 をといること。 をといること。 をといること。 をといるには、一体には、 をは、 では、当ないのでは、 をは、一体には、 をは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	事故を発生させたものを排除すること。 「本による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に し、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下配製本およびCDーROMを提出する。 ● A - 3縮小版2部、OA - 1サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績書を2部提出す 監督員の指示による。 「標P-17 1.5.5〕 【標P-18 1.7.1】 本またはその写しを2部ずつ作成し、完成図と 1.7.1〕 リ毎月末見込みの出来高等を当月の20日まで 議した結果について、記録を整備する。 。 「場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整た場合 視に検査が不可能又は容易ではない部分の施行 た場合 観角から請求されたときは、提示又は提出をする。 フィル形式及び画素数については「鹿児島県 フィル形式及び画素数については「鹿児島県
は、乗6 1 特記 1 特記 1 株本材料と工法 4 と工法 5 と取合 事等 型型 2 型型 2 型型 2 型 3 型 3 型 3 型 3 型 3 型 3 型 4 関 5 型 5 型 6 型 7 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8 型 8	に関こシフき・下! 「標準仕 特殊なお 標準	ック等によって悪質するを指導す。 はきれていない特殊数な材の指によるによるにある。 による施工は当数要を開口ことが、 による施工は当数要を開口ことが、 は、当数用の指示によるにある。 は、監督職員の指示によるにある。 は智職員の指示にあるにある。 は智職員の指示にあるにある。 は智職員の指示にあるにある。 は智職員の指示にあるにある。 は智職員の指示にあるにある。 は智報にある。 は智報にある。 は智報にある。 は一数するよう訂正をした後、 は一数するよう訂正をした後、 は一数するよう訂正をした後、 はと一数するよう訂正をした後、 はと一数するよう訂正をした後、 はと一数するよう訂正をした後、 はとし、事と一数するよう訂正をした後、 はとし、事に、の本の他のは酸にある。(A - 4 版)管標題による。 なる 全へ名 - 4 版)管標題による。 に、日本・項及び管標題による。 に、日本・項及び管標題による。 に、日本・項及び管標ととした。 によるに、日本・近による。 に、日本・項を管理による。 に、日本・項を管理による。 に、日本・項を管理になる。 に、日本・近による。	事故を発生させたものを排除すること。 「本によっている。 「本によっている。 「本によっている。 「本によっている。 「は、工事の円滑な進捗を図るものとし、 「地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下記製本およびCDーROMを提出する。 「本には、「本には、「本には、「本には、「本には、「本には、「、」」」 「本には、「、」」 「、」 「、」 「、」 「、」 「、」 「、」 「、」 「、」 「、
は) 1 特別 1 株 1 大 1 大 1 大 1 大 1 大 1 大 1 大 1 大 1 大	に関こシフき・下に 関係リンフき・下に 関係リンフき・下に 標準性性様様共和場合 明記の工事にらいる。 原のでは、 原のでは、 のでは、	ック等によって悪質するを指導す。 はきれていない特殊数な材の指によるによるにある。 による施工は当数要を開口ことが、 による施工は当数要を開口ことが、 は、当数用の指示によるにある。 は、監督職員の指示によるにある。 は智職員の指示にあるにある。 は智職員の指示にあるにある。 は智職員の指示にあるにある。 は智職員の指示にあるにある。 は智職員の指示にあるにある。 は智報にある。 は智報にある。 は智報にある。 は一数するよう訂正をした後、 は一数するよう訂正をした後、 は一数するよう訂正をした後、 はと一数するよう訂正をした後、 はと一数するよう訂正をした後、 はと一数するよう訂正をした後、 はとし、事と一数するよう訂正をした後、 はとし、事に、の本の他のは酸にある。(A - 4 版)管標題による。 なる 全へ名 - 4 版)管標題による。 に、日本・項及び管標題による。 に、日本・項及び管標題による。 に、日本・項及び管標ととした。 によるに、日本・近による。 に、日本・項を管理による。 に、日本・項を管理による。 に、日本・項を管理になる。 に、日本・近による。	事故を発生させたものを排除すること。 「おこと。 「は、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下配製本およびCDーROMを提出する。 ● A - 3 縮小版2部、OA - 1 サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績書を2部提出す 監督員の指示による。 「健P-17 1.5.5) [健P-18 1.7.1] 本またはその写しを2部ずつ作成し、完成図と 1.7.1] リ毎月末見込みの出来高等を当月の20日まで 議した結果について、記録を整備する。 こちに記録を作成する。 る場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整た場合 視に検査が不可能又は容易ではない部分の施行 た場合 関から請求されたときは、提示又は提出をする。 ファイル形式及び画素数については「虚児島県 のオール形式及び画素数については「虚児島県 則として見本を整備すること。
(1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	に関こする。 「関ととない。 「関ととない。 「展準仕・特殊・不知・場合」 「展準仕・特殊・不知・場合」 「展準仕・特殊・不知・場合」 「展準 は 特殊・なが事性 じんの は 一般 である。 本工権 に を は と は と は と は で ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	ック等によって悪質なを指導。 講契的によって悪質するを指導。 はされていない特殊を対象が指した。 による施力である。 には、電子メールに、第一、20年の は、10年の は	事故を発生させたものを排除すること。 「おこと。 「おこと。 「おこと。 「おこと。 「おこと。 「おこと。 「おこと。 「おこと。 「は、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下記製本およびCDーROMを提出する。 ● A-3縮小版2部、OA-1サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績書を2部提出す 監督負的指示による。 「欄P-17 1.5.5〕 (欄P-18 1.7.1) 本またはその写しを2部ずつ作成し、完成図と 1.7.1) リ毎月末見込みの出来高等を当月の20日まで 議した結果について、記録を整備する。 、遺与に記録を作成する。 る場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整 た場合 視に検査が不可能又は容易ではない部分の施行 た場合 見あから請求されたときは、提示又は提出をする。 ファイル形式及び画素数については「鹿児島県。 したもの等については、監督職員の指示により見 わすことが出来る。 内書を2部作成し、完成図と・精に提出する。 内書を2部作成し、完成図と・精に提出する。
(1) 1	に関こす項 標準性特殊大事場である。 標準性特殊大事場である。 原のととである。 「は、大事をなる。 のとととというです。 「は、大事をなる。 のとととというです。 「は、大事をなる。 のでは、大事をは、大事をなる。 「は、大事をなる。 のでは、大事をは、大事をなる。 「は、たまなる。 「は、たまなる。 「は、たまなる。 「は、たまなる。 「は、たまなる。 「は、たまなる。 「なる。 「なる。 「なる。 「なる。 「なるる。 「なる。 「なるる。 「なる。 「なる。 「なる。 「なる。 「なるる。 「なるる。 「なる。 「なる。 「なる。 「なる。 「なる。 「なる。 「なるる。 「なるる。 「なるる。 「なる。 「なる。 「なる。 「なる。 「なる。 「なる。 「なる。 「なる。 「なる	ック等によって悪受注者を指揮する。 は言葉を持ちていない特殊を材めればした。 による施工は当数を要を開っていない、特殊を材めればした。 による施工は当数を要を開ってといる。 は、監督職員の指示によるにある。 は、監督職員の指示によるにある。 は、監督職員の指示によるにある。 と一数するよう訂正をした後。 と一数するよう訂正をした後。 と一数するよう訂正をした後。 と一数するよう訂正をした後。 と一数するよう訂正をした後。 と一数するよう訂正をした後。 と一数するよう訂正をした後。 と一数するよう訂正をした後。 とし、数を信念をの他の触りに表し、 とし、数を信念を一つも、一つは、一つは、一つには、一つには、一つには、一つには、一つには、一つには、一	事故を発生させたものを排除すること。 「あこと。 「おこと。 「は、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合。 「下配製本およびCDーROMを提出する。 ● A - 3 縮小版2部、〇A - 1 サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績書を2部提出す 監督員の指示による。 「標P-17 1.5 5) [標P-18 1.7.1] 本またはその写しを2部ずつ作成し、完成図と 1.7.1] リ毎月末見込みの出来高等を当月の20日まで 議した結果について、記録を整備する。 「虚ちに記録を作成する。 る場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整 た場合 関する方面は、地上に記録を整備する。 ではいいが表していてはない部分の施行 た場合 関する所ではない部分の施行 た場合 関する所ではない部分の施行 に場合 関する。 「表表ではない部分の施行 により見 ではない部分の施行 により見本を整備すること。 「標下により見 わすことが出来る。 「標下19 1.7.3) 「特定に提出する。 「標下19 1.7.3) 「標下19 1.7.3) 「表表では、元成図と一緒に提出する。 「標下19 1.7.3) 「特定に提出する。
7) 特殊 大変 連調 工 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	に関ことできまります。	ック等によって悪受注者を指揮する。 は言葉を持ちていない特殊を材めればした。 による施工は当数を要を開っていない、特殊を材めればした。 による施工は当数を要を開ってといる。 は、監督職員の指示によるにある。 は、監督職員の指示によるにある。 は、監督職員の指示によるにある。 と一数するよう訂正をした後。 と一数するよう訂正をした後。 と一数するよう訂正をした後。 と一数するよう訂正をした後。 と一数するよう訂正をした後。 と一数するよう訂正をした後。 と一数するよう訂正をした後。 と一数するよう訂正をした後。 とし、数を信念をの他の触りに表し、 とし、数を信念を一つも、一つは、一つは、一つには、一つには、一つには、一つには、一つには、一つには、一	事故を発生させたものを排除すること。 「多になった。」 リ施工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
は、1、1、1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	に関こすび。 「関ととなった」という。 「関係工事をしたの理。現のでは、1000 とに対している。 「はない、一体では、1000 とに対している。 「はない、一体では、1000 とに対している。 「はない、一体では、1000 とに対している。 「は、1000	ック等によって重大導 (また) は 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	事故を発生させたものを排除すること。 「多になった。」 リ施工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
は1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 日本 (1) 日	に関ことできます。 「関とというできます。 「関とというできます。 「関とというできます。 「関となら、大下」 「標準性・特殊・有性の違い。 「現を検すというできます。 「現では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部	ック等によって悪受法を (漢契約によいする要注を (注注、経験には、 (注注、とし、と、 (注述、 (证述 (证述	事故を発生させたものを排除すること。 「多にない。 「り能工する場合は監督職員の承諾を得ること。 工法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に 「し、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下記製本およびCDーROMを提出する。 ● A 3縮小版2郎、○ A - 1 サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績書を2部提出す 監督員の指示による。 「標P-17 1.5.5〕 [標P-18 1.7.1] 本またはその写しを2部ずつ作成し、完成図と 1.7.1〕 リ毎月末見込みの出来高等を当月の20日まで 議した結果について、記録を整備する。 、直ちに記録を作成する。 る場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整 た場合規に検査が不可能又は容易ではない部分の施行 た場合調度から請求されたときは、提示又は提出をする。ファイル形式及び画素数については「雇児島県 ルリとして見本を整備すること。 したもの等については、監督職員の指示により見 わすことが出来る。 内書を2部作成し、完成図と一緒に提出する。 「標P-19 1.7.3〕 施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物にはること。 る場合は、事前の現場養生を確実に行い災害の
は、1、1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	に関こすり、	ック等によって悪受法を (漢契約によいする要注を (注注、経験には、 (注注、とし、と、 (注述、 (证述 (证述	事故を発生させたものを排除すること。 「本による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に 「し、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局。支庁の建築担当職員と充分に打合 、下記製本およびCDーROMを提出する。 ● A-3縮小版2部、OA-1サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績書を2部提出す 監督負別指示による。 「標P-17 1.5.5〕 (標P-18 1.7.1) 本またはその写しを2部ずつ作成し、完成図と 1.7.1) リ毎月末見込みの出来高等を当月の20日まで 議した結果について、記録を整備する。 、直ちに記録、工事写真、見本等を整 根場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整 た場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整 た場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整 た場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整 た場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整 た場合とのでは、整督職員の指示により見 わすことが出来る。 「標P-19 1.7.3〕 施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には ること。 る場合は、事前の現場養生を確実に行い災害の 報告を、書面にて監督職員に提出する。と。
は1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 日本 (1) 日	に関こする 「関とと 「関とと 「関とと 「関連を 「フェート 「ファート 「ファート 「ファート 「ファート 「ファート 「ファート 「ファート 「ファート 「ファート 「ファート 「ファート 「ファート 「ファート 「ファート 「ファート 「ファート 「ファート 「ファート 「フェー	ック等によって多注を (1) 対象 は 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	事故を発生させたものを排除すること。 「本によった。 「本によった。 「本によった。 「本によった。 「本を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等にいて、 「は、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下配製木およびCDーROMを提出する。 ・ (相P-17 1.5.5) (担P-18 1.7.1) 本またはその写しを2部ずつ作成し、完成図と 1.7.1) リ毎月末見込みの出来高等を当月の20日まで 議した結果について、記録を整備する。 ・ 通合は、施工の記録、工事写真、見本等を登け場合物流で、施工の記録、工事写真、見本等を登れ、施工の記録、工事写真、見本等を登れ、施工の記録、工事写真、見本等を登れ、施工の記録、工事写真、見本等を登れ場合は、施工の記録、工事写真、見本等を登れる場合は、施工の記録、工事写真、見本等を登れ場合。 ・ 直ちに記録と作成する。 ・ 「相合といっては、単示又は提出をする。ファイルル式及び画素数については「鹿児島県かたもの等については」監督職員の指示により見わすことが出来る。 内書を2部作成し、完成図と一緒に提出する。 「権P-19 1.7.3) 施設及び長終処分場に搬入する産業廃棄物にはること。 る場合は、事前の現場養生を確実に行い災害の 報告を、書画にて監督職員に提出すること。 合場合は、事前の現場養生を確実に行い災害の 報告を、書画にて監督職員に提出すること。 合場合は、事前の現場養生を確実に行い災害の 報告を、書画にて監督職員に提出すること。
は1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 特な法 (1) 日本 (1) 日	に関こす 1 (4) という (5) という (5) という (6) という (7) と	ック等によって多注を (1) 対象 は 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	事故を発生させたものを排除すること。 「本による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
は、1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	「「「「「「「」」」	ック等によって悪質するを指す。 (されてルエは当性を対している。 (されてルエは当性を対している。 (されてルエは当性を対している。 (されてルエは当性を対している。 (されてルエは当性を対している。 (は、温を取り、	事故を発生させたものを排除すること。 「本によっな。 「本によっな。 「本によっな。 「本で、は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
は1) 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	「「「「「「「」」」	ック等によって要ない。 「神典」によって要ない。 「神典」によって要ない。 「神典」によって要ない。 「神典」には、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	事故を発生させたものを排除すること。 「本語となる。 「本語となる。 「本語となる。 「本語となる。 「本語となる。 「本語とは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で
は、1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	に同こ 1 項 「は 1 項 「は 1 項 「は 1 項 「は 1 項 「は 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の	ック等いた。 「特殊対したから、 「特殊対したが、 「特殊対したが、 「特殊対したが、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「	事故を発生させたものを排除すること。 「おによる。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に し、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局・支庁の建築担当職員と充分に打合 、下記製本およびCDーROMを提出する。 ● A - 3 縮小版 2 部、 2 の A - 1 サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績書を 2 部提出す 監督員の指示による。 「種P-17 1.5.5] 〔標P-18 1.7.1] 本またはその写しを 2 部ずつ作成し、完成図と 1.7.1] り毎月末見込みの出来高等を当月の 2 0 日まで 議し直ちに影響を作成する。 る場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整 付別特に表し、信任のでは、定成限と 1.7.1] り毎月末見込みの出来高等を当月の 2 0 日まで 議し直ちに影響と作成する。 の場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整 た場合機について、記録を整備する。。 したりに表現でいて、記録を整備する。 の場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整 た場合をが不可能又は容易ではない部分の施行 た場合のでは、第2 ではない部分の施行 た場合をが不可能又は容易ではない部分の施行 な場合をが不可能又は容易ではない部分の施行 な場合をが不可能又は容易でにない。 「種P-19 1.7.3] 施設及び展終処分場に搬入する産業廃棄物には ること。 る場合は、事前の現場養生を確実に行い災害の 報告自由の事については、当該製品の製造を引 の書を2 部件成し、完成図と一緒に提出すること。 も同様よする) の書を2 部件成し、完成図と一緒に提出すること。 も相合は、事前の現場養生を確実に行い災害の 報告自由の表しては、当該製品の製造者 ート(SIS)を常備し、記載内容の側知像直者 ート(SIS)を常備し、記載内容の側知像直者 ・1.5.5.2 に対していまたらに監督機関音下防規則」を遵守すること。 る。 入れ場所での処置(○数き均し ○たい積)
7) 特殊工設・11 大学 12	「「「「「「「」」」	ック等いる。 「特殊教育」にない。 「特殊教育」に対している。 「は、一、「は、一、「は、一、「は、一、「は、一、「は、一、「は、一、「は、	事故を発生させたものを排除すること。 「本法による。 等を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に し、工事の円滑な進捗を図るものとし、 地域振興局。支庁の建築担当職員と充分に打合 、下配製本およびCDーROMを提出する。 ● A-3縮小版2部、OA-1サイズ 部) 事業者の規定する気密試験成績書を2部提出す 監督員の指示による。 「標P-18 1.7.1] 本またはその写しを2部ずつ作成し、完成図と 1.7.1] り毎月末見込みの出来高等を当月の20日まで 議したもに表について、記録を整備する。 、市総果について、記録を整備する。 、場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整 提出を対象でが、でが、表述に提出を考える場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整 を場合は、施工の記録、工事写真、見本等を整 た場合をが不可能又は容易ではない部分の施行 た場合、関連が、表述に表しては、近に、表述に表しては、定したもの等については、整督職員の指示により見 わっとが出来る。 「標P-19 1.7.3] 施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物にはること。 る場合は、事前の現場養生を確実に行い災害の 報告の事にて監督職員に提出する。と。 もも同様して、主にないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな
7) 特殊工芸の連調工け成 験 請 事 事の事 エ 事守内東 工保全 体石設	「大きな	ック等からを指す。 (注) 大いでは、当のでは、 (注) では、 ((注) では、 (注) では、 ((注) では、	事故を発生させたものを排除すること。 「本語ない。」 「おいまする場合は監督職員の承諾を得ること。 「上法による。 「本を設ける場合の施工の範囲は、設計図書等に 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

Ⅲ 特記仕	様(下記項目及び特記事項中●印を付けたものを本工事に適用) 特記事項
1. 共通事項 1. 環境への	 ■国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に定めるところにより、環
配慮	境負荷を低減できる機器及び材料を選定するように努める。 [標P-11 1.4.1]
2. 機 材	使用資機材は、原則新品とし、JIS・JWWA等標準仕様書に定められた規格品とする。 使用機材は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機
	材等評価名簿」記載品、または同等品以上のものとする。 [標P-11 1.4.2]
3. 化学物質を 放散する	塗料,接着剤,保温材等の材料については、原則としてホルムアルデヒド等揮発性有機化合物の放 散量が小さく建築基準法の規制対象外である「F☆☆☆☆」の材料を使用すること。
建築材料等	(監P-66 1.4.1)
4. 防火区画 貫通部	区画貫通の管類は、建築基準法に従い施工する。なお、その際の充填材はモルタルまたはロックウールとし、保温材はロックウールとする。
共進即	国土交通大臣認定工法 (防火パテ等) の使用も可。 [標P-80 2.8.1,監P-286 2.8.1]
5. 配管用のス リーブ	地中部分等で水密を要する部分はつば付鋼管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは、 ビニル管とする。
リーノ	上記以外は原則として亜鉛鉄板製とするが、柱及び梁以外の個所で、開口補強が不要かつ、スリー
6. 専用工具	<u>径が200mm以下の部分は、紙製仮枠として良い。 〔標P-52 2.2.27, P-80 2.8.1〕 [監P-286 2.8.1</u> 塩ビライニング銅管、ポリ粉体銅管及び外面被覆鋼管は、帯のこ盤又は丸のこ機などで切断し、パ
の使用	イプカッターによる切断は禁ずる。ねじ切り機は、自動切り上げ装置付とする。
	ねじ切りに際しては、ねじゲージを使用して適正 (JISねじ) に切られているか確認する。 (施工手順を撮影の上, 工程写真に表す。) [標P-64 2.5.1]
7. ねじ接合剤	給水用、給湯用及び冷温水用の防食用ペーストシール剤は、JWWAK161に規定する水道
8. 支持金物類	屋外、ピット内及び多湿箇所の支持金物類はステンレス鋼製とする。
9. 外面被覆鋼管	埋設施工される外面被覆鋼管 (内外面被覆含む)については、継手スリーブ端及びチャック・パイ
の傷部補修 0. 鋼管の傷部	プレンチの傷部分にプラスチックテープを巻くこと。(露出部分は原則不要) [監P-234 2.5.4] 鋼管 (内面被覆鋼管含む)については、ねじ込んだ後、残りねじ部及びチャック・パイプレンチの
補修	傷部分に、十分さび止めペイントを塗布すること。 [監P-219 2.5.2]
 排水横引管 への接続 	原則としてY管接続とする。(ドレン配管含む)
2. 建物導入	管のたわみ性を利用した方法(スリークッション)で施工する。エルボ×5 [図P-110]
部の配管 3. 標準埋設	ビニル管 (一般 4 5 0 H・車路 6 0 0 H) 鋼管 (一般 3 0 0 H・車路 6 0 0 H)
深さ 4. 土中埋設	[標P-79 2.7.2, 監P-283 2.7.2] 外面を被覆していない鋼管は、プライマーを塗布のうえ、防食テープ1/2重ね1回巻きをさらに
鋼管類	プラスチックテープ (JISZ 1901に準じたもの、厚さ0.4mm) で1/2重ね1回巻きを行う。
(エラス, コー ト継手及び排	また、継手等の部分は、ペトロラタム系の充填材を詰め、表面を平滑にしたうえで防食シートで包み プラスチックテーブを1/2重ね巻1回巻きとする。
水用鋼管もこ	(施工手順を撮影の上、工程写真に表す。) [標P-79 2.7.3]
の項に準じる)	プラスチックテープ (JISZ 1901に準じたもの、厚さ0.4mm) で1/2重ね1回巻を行う。
埋設鉛管·鋼管	[標P-79 2.7.3]
16. 埋設管表示 テープ	下記の埋設管には、管頂部全長にわたって、粘着材付表示テープを貼り付ける。 ○直結給水管(上水道本管接続部) <紺色> ○給水管(水槽以降) <空色>
	○揚水管(受水槽~高置水槽間) <茶色> ○井水管 <白色>
17. 埋設管標識	○消火管
シート	(排水管は除く) [標P-79 2.7.1,監P-281 2.7.1] 土中埋設のガス管、給水管及び消火管の分岐曲り部に設置する埋設標は次のとおりとする。
18. 埋設標	工中理数のガス管、結水管及び消火管の方岐曲り部に設直する理談標は次のとおりとする。 (設置箇所は図示による)
	・未舗装部分は、アルミ製表示盤をコンクリート(200φ×300)で巻き込んだものを、ステント、2位で配件に関するトラスティス
	ンレス線で配管に緊結の上設置する。 ・舗装部分は、キャッツアイを専用工具を用いて設置する。
19. 弁類	水槽以降の配管には5K型、その他は10K型。(JIS規格)
	備えたものとする。
	呼び径65以上の弁は外ネジ式とする。(水道用ソフトシール弁は除く) [標P-43 2.2.1] 呼び径50以下の揚水ポンプ付属逆止弁はパイパス弁付きでもよい。
	呼び径65以上の仕切弁、逆止弁はライニング弁とする。
	屋内オイルタンク及びオイルサービスタンクの最高液面以下に設ける元パルブ及びドレンパルブは JIS B2071 (鋳鋼10K外ねじ仕切弁) または同等以上によるものとする。
	(所轄消防署の承認するもの) [標 P-43 2.2.1]
20. 屋外露出 の弁類	防露・保温の上ステンレス鋼板による外装を施し、弁棒はグリスアップする。
21. 埋設弁類の	弁桝内等の直接土砂に接触しない個所に弁類を設置する場合には、防食措置は原則不要とする。
<u>防食措置</u> 22. 機器の	ただし、水道事業者の指定工法がある場合および、鋼管ねじ部分については防食を行うこと。 振動を発生する機器については、ダブルナットで固定し、かつ防振措置を施すこと。
防振措置	(特記無き場合は防振吊り金具,防振パットとする。)
23. 可撓継手	************************************
	ステンレス製 油用 管 径 20 以下 25 ~ 40 50 ~ 10
	全 長mm 300以上 500以上 700以上
	会成コム製 (水用) 全 長mm 300以上 500以上 700以上
24. 防振継手	(油用で管径 4 0 以上は消防法令適合品とする) (鋼製フランジ付) [標 P-47 2.2.9] 鋼製フランジ付 [標 P-47 2.2.8]
25. ユニオンの	ユニオンは、呼び径25以下の見え掛り配管についても、原則として使用しないこととする。
使用 ?6. サービスタン	調理器具の接続等ユニオン使用の必要性が生じた場合については、監督職員と協議すること。 〇ゲージ式(側圧式) 〇ガラス管式(流出防止形) [標 P-55 2.3.4]
クの油面計	
27. 標識その他	機器順・弁頼・保守工具及び配管等には適宜その名称、内容及び矢印等を記入、もしくは樹脂製札 に刻印したものを取り付ける。 (パイプシャプト・ヒット内など隠ぺい部の配管類は、文字シール貼り付けでも良い)
	(パイプシャプト・ヒット内など隠べい部の配管類は、文字シール貼り付けでも良い) 必要に応じ消防法、ガス事業法、液石法などによる標識(危険物・火気厳禁他)を設置する。 (標P-19 1.7.4)
	(例)・弁類にSUS針金または耐候インシュロックで取付。「〇〇系統」、「〇〇A(口径)」を刻印し 樹には、「〇〇系統」〇〇A(口径)」彫込み、接着剤で取付。
	例には、「OU糸就 OUA(1位)」形必み、接着的で取行。 ・常時間、関係の注意書きは、必要に応じる道配のと。 ・室外機は「機器番号・系統名又は室名・竣工年度」を、室内機は「機器番号」を樹脂製札に 表示すること。作成前に監督員の確認を受けること。
	* 至アトថは「懐帝命方**未杌右乂は羊右*攻工牛皮」を、至内機は「機命奋号」を樹脂裂札に 表示すること。作成前に監督員の確認を受けること。

1.	衛生器具工事	[標P-249 1.1.1~P-254 1.1.13]
	和風大便器	躯体との緩衝材付、鉛管接続の場合は吊り金物を使用する。和便器と前壁との離隔は、250mm 程度を確保する。和風大便器用フラッシュバルブ壁面取り付けの場合はF.L.+800mm程度とする。
0	上 /东 兜	[標P-299 2.1.2.7,図P-172、173]
2.	大便器	○洗浄弁式 (ノンホールディング機構付) ●タンク式 ○電気開閉式 [標P-253 1.1.8] ○専用洗浄弁式 [標P-298 2.1.2, 監P-633 1.1.8]
3.	小便器	洗浄弁式 (●手動 ○自動)
4.	説明シール等	[標P-249 1.1.2,標P-298 2.1.2,監P-623 1.1.2] 器具付属の説明シール等は、下地を考慮し、最寄りに貼り付けのこと。
5.	紙巻器	ステンレス鋼板製ワンタッチ形とする。 〇シングル 〇棚付二連 [標P-249]
6. :	水栓類	原則としてJIS規格、JWWA規格(日水協)適合品とし節水こまとする。シングルレバーは 上げ吐水方式。 [標P-253 1.1.6, 監P-676 1.1.6, 図P-68]
7.	シールテープ	水栓類と配管を接合した後の、見えがかり部分の余分なシールテープは、カッター等を使用し丁寧
	の除去 化粧鏡の	に除去すること。 化粧鏡を壁に取り付けた際の隙間には、鏡の割れを防止するため補強材を設けること。
	裏板補強	化粧頭を壁に取り付けた際の隙间には、頭の割れを防止するたの補強材を設けること。 (厚さ4mm程度、ゴムシート等) ○一般型 ○ ○ ② 一登離防止型
9. :	水栓柱	VB仕様 Q900h ●1, 200h
	器具廻りの	必要に応じコンクリート根巻き、または壁にバンドにて固定する。 陶器類、洗濯機パン等については、原則として器具廻りをコーキング処理すること。
	コーキング	
II. ·	便 座	○温水洗浄便座(洗浄用水加温方式 O瞬間方式 O貯湯方式) ●普通便座(ソフト閉止) [標P-254 1.1.13]
3)	屋内給水工事	
_	給水方式	引込み付近水圧 () MPa ●水道直結方式 〇重力 (高置水槽) 方式 〇加圧送水方式
2	水槽類	○直結増圧方式 ○FRP製 ○ステンレス製(○一体型 ○組立型 ○単板構造 ○保温構造)
۷	小信規	タンク本体は、地震力及び地震力によって生ずるスロッシングによって損傷を起こさないような
		強度を有するものとする。 2 m以上は内外はしご付。 マンホールは内蓋及び南京錠付。
3.	ポンプ付属品	[標P-266 1.4.1,標P-303 2.2.4, 図P-70~79] フート弁本体は、ステンレス製・樹脂製又は青銅製とする。 [標P-255~262]
4.	ポンプ電動機	屋外:全閉防まつ形、屋内: (多湿箇所) 全閉防まつ形、 (その他) 防滴保護形 [標P-24 1.2.1]
	ボールタッ プフロート	○銅板製 ○耐食性のある樹脂等 ○ステンレス製 [標P-50 2.2.20]
4)	屋外給水工事	
1.	継手材	管端防食継手とし、継手受口の隙間には専用テープを使用すること。 (ゴムリング方式は不可) [標P-37 2.1.2.5]
2.	量水器	親メーター(〇貸与 〇買取り ●既設) 子メーター(〇貸与 〇買取り) ○集中検針盤
3.	量水器桝	給水装置に使用する場合は、水道事業者の承認を受けたものとすること。 [標P-49 2.2.16] 呼び径32までMC-1(430×310×550HフタMB-1)、呼び径40~65までM
	T IN I/T	FOME 3 2 ま CM
4	(T In 40 in	1100×710×750HフタMB-3小窓付)とする。 [標P-2951.8.4,図P-92]
4.	仕切弁桝	呼び径25までVC-P,呼び径40までVC-1(180×180フタB1),呼び径50~ 80までVC-3(300×300フタMHA-P300)とする。
		呼び径100からはVC-5(450×450フタMHA-P450)とする。
5	企 桝 豊水哭	[標P-295 1.8.2, 図P-91] 舗装部分以外に設置する弁桝,量水器桝については,コンクリート巻きにて固定のこと。
	の固定	桝と蓋とは鎖でつなぐこと(鎖は溶融亜鉛めっき仕上げまたはステンレス製)
	伸縮ジョイン ト	鋼管とビニル管の接続箇所には、エラス(又はフリー)ジョイントを使用する。
$\overline{}$	屋内排水工事	[標P-40~P-42 ,標P-63 2.4.8]
1. ;	洗面器等	洗面器および手洗器に直結する排水立管寸法は器具トラップよりワンサイズアップとする。
	の排水管 床上掃除口	汚水系統に取り付ける床上掃除口直下の曲管は90°長曲管とする。
	直下の曲管	
	器具との接続 通気金物	原則として配管接続とする。(ジャバラ・簡易ゴム接続は不可、専用アダプター使用のこと) 通気金物 ●アルミ(耐食性) ○ビニル製 排水通気弁 ○屋内型 ○屋外型
	排水通気弁	_ = = =
	床排水 トラップ	トラップ椀は原則として、樹脂製とする。 [標P-293 1.7.3]
	屋外排水工事 マンホール	[標P-295~P-296] [標P-40 2.1.2.6] ○鋳鉄製(OMHA形 OMHB形 OMHD形)名称入り蓋、鎖付とする。
	ふた	(鎖は溶融亜鉛めっき仕上げまたはステンレス製) [図P-36]
	汚水・雑排水	
- 1	桝	既製コンクリート桝使用可。深さ1.2mを超える桝には足掛金物(巾≒150以上 防錆処理) を取り付けること。 「 図P-93~98〕
	桝 小口径桝	を取り付けること。 [図P-93~98] 塩ビ製 O防護蓋T-8 (内蓋付き) ●塩ビ蓋ミカゲ (SUS鎖共)
3.	小口径桝	を取り付けること。 [図P-93~98] 塩ビ製 ○防護蓋T-8 (内蓋付き) ●塩ビ蓋ミカゲ (SUS鎖共) ●コンクリート巻 (蓋呼び径+200) 角×150 h
3. <i>i</i>		を取り付けること。 [図P-93~98] 塩ビ製 ○防護蓋T-8 (内蓋付き) ●塩ビ蓋ミカゲ (SUS鎖共) ●コンクリート巻 (蓋呼び径+200) 角×150h [標P-37~P-40] OSUS444製 ○ステンレス銅板製 (電気防食装置付)
3. i	小口径桝 給湯工事 貯湯槽の材質	を取り付けること。
3. 4 7. i 1. l	小口径桝 給湯工事 貯湯槽の材質 膨張水槽の 保温	を取り付けること。
3. 4 7. i 1. l	小口径桝 給湯工事 貯湯槽の材質 膨張水槽の	を取り付けること。
3. 4 7. i 1. l 2. l 3. l	小口径桝 給湯工事 貯湯槽の材質 膨張水槽の 保温 瞬間湯沸器 消火工事	を取り付けること。
3. 4 7. i 1. l 2. l 3. l	小口径桝 給湯工事 貯湯槽の材質 膨張水槽の 保温 瞬間湯沸器	を取り付けること。
3. 4 7. i 1. l 2. l 3. l	小口径桝 給湯工事 貯湯槽の材質 膨張水槽の 保温 瞬間湯沸器 消火工事	を取り付けること。
7. i 11. ! 2. j 33.	小口径桝 給湯工事 時湯槽の材質 膨張温 調火工事 以上工事 が展開開発 消屋内 が発展 が開発	を取り付けること。
7. i	小口径桝 給湯工事 貯湯槽の材質 膨張水槽の 保温間湯沸器 消火工事 屋内消火栓箱	を取り付けること。
3. 1. 2. 3. 3. 3. 3. 3. 3. 3	小 一 経 神 本 神 年 本 神 年 本 神 年 の 保 油 末 神 質 勝 保 淵 木 神 の 保 温 温 湯 来 工 消 本 2 人 立 で 東 本 全 立 で 東 本 全 立 で 東 本 全 立 で 東 本 全 立 で 東 本 年 第 1 年 品 温 温 温 温 温 温 温 温 温 温 温 温 温 温 温 温 温 温	を取り付けること。
3	小 口径 桝 ・	を取り付けること。
3	小口径桝 ・ 本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を取り付けること。
3	小口径桝 松湯工事 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を取り付けること。
3	小口径 学 本	を取り付けること。
3	小 ロ 径 単 本	を取り付けること。
3	小 日本	を取り付けること。
3	小 日本	生 を取り付けること。
3	小口 経 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は	を取り付けること。
3	小 哈湯県 神学 日本 中華	生 を取り付けること。
3	小 哈湯湯 神子	生 を取り付けること。
3	小 日本	進じ製 ○防護蓋丁 - 8 (内蓋付き) ●塩ビ蓋ミカゲ (S U S 鎖共) ● コンクリート巻 (蓋呼び径+200) 角×150h [棚P-37~P-40] ○S U S 4 4 4 4 4 4 4 5 ○ ステンレス鋼板製 (電気防食装置付) ○ステンレスクラッド鋼板製 (電気防食装置付) ○銅板製 (棚P-272 1.4.3、図P-78,79] □クカール 2 号 5 0 t 、外装はステンレス鋼板 (0 .3 t) 財塩処理 (○戻 ○不要) 配管カバー (○450 h ○) 吹出口は歩行面+2,000以上 ○設定温度50℃以下 (ガス瞬間湯沸器のダイレクト着火方式で離島の場合) [棚P-37~P-40] ○1号 ホース掛型とする。 鋼製 t = 1.6 mm 操作方法表示付き ○易操作性 1 号 日本消防検定協会の鑑定証票が貼付されたもの ○2号 (棚P-274 1.5.2、図P-80~89) 4 5 * 回転型で1 .0 MP a 型とする(3 I S 規格)。 ○一般型 ○定圧定定量型 フトチネ体は、ステンレス製・樹脂製又は青銅製とする。 (棚P-261 1.2.8、図P-179) 屋内は原則保温不要、屋がは図示による。 (棚P-310~321、図P-171,718) 屋内は原則保温不要、屋がは図示による。 (棚P-274 1.5.2、図P-319 3.1.3.4 〇プロパン庫 ○原合装置+転倒防止鎖(鎖はステンレス製) ○バルウ貯槽 ガス配管専用のペーストシール剤を使用すること。 発展持続以外にユニナン展子は使用しないこと。 外部から建物内へ引き込まれる箇所の付近の露出配管部に絶縁継手を設ける。 (種P-315・2.5) 有複格者の責任施工とする。使用材料についてはガス事業者の規定に準ずる。 「棚P-335~351、2 使用材料についてはガス事業者の規定に準ずる。 「棚P-335~352、2 使用材料についてはガス事業者の規定に準ずる。 「棚P-335~352、2 使用材料についてはガス事業者の規定に準ずる。 「棚P-335~352、2 使用材料についてはガス事業者の規定に準ずる。 「棚P-335~352 を 使用材料についてはガス事業者の規定に準ずる。
3	小 哈湯湯 神子	を取り付けること。
3	小 給別 勝保網 消火 神子	塩ビ製 ○防護蓋T-8 (内蓋付き) ●塩ビ蓋ミカゲ (SUS鎖共) ●コンクリート巻 (蓋呼び径+200) 角×150h [棚P-37~P-40] ○SUS 44 4製 ○ステンレス顕板製 (電気防食装置付) ○ステンレスクラッド銅板製 (電気防食装置付) ○領板製 [棚P-272 1.4.3、図P-78.79] ロックウール2号 50t、外装はステンレス顕板 (0.3 t) 耐塩処理 ○安 ○不要) 配管カバー (○450h ○) 吹出口は歩行面+2,000以上 ○設定温度50°以下 (ガス瞬間湯沸器のダイレクト着火方式で離島の場合) 「棚P-37~P-40] ○1号 ホース排型とする。 鋼製 t = 1.6 mm 操作方法表示付き ○易操作性 1号 ○広範囲型 2号 (棚P-274 1.5.2、図P-80~89) 45°回転型で1.0MP a型とする(JIS規格)。 ○一般型 ○定圧定流量型 フート弁本体は、ステンレス製・樹脂製又は青銅製とする。 (棚P-261 1.2.8、図P-179) 屋内は原則保温不美、屋外は図示による。 (棚P-310~321、図P-171,178) 一部市ガス 侵勢量 MJ/m) ○液化石油ガス(プロバンガス)発熱量50.2MJ/kg マイコン型 ○貸与品 MJ/m) ○液化石油ガス・フェース・フェース・フェース・フェース・フェース・フェース・フェース・フェー
3	小 路湯 課程	を取り付けること。
3	小 路湯 課程	塩ビ製 ○防護蓋T-8 (内蓋付き) ●塩ビ蓋ミカゲ (SUS鎖共) ●コンクリート巻 (蓋呼び径+200) 角×150h [棚P-37~P-40] ○SUS 44 4製 ○ステンレス類板製 (電気防食装置付) ○ステンレスクラッド銅板製 (電気防食装置付) ○領板製 [棚P-272 1.4.3、図P-78,79] ロックウール2号 50t、外装はステンレス類板 (0.3 t) 耐塩処理 (○要 ○不要) 配管カバー (○450h ○) 吹出口は歩行面+2,000以上 ○設定温度50°以下 (ガス瞬間湯沸器のダイレクト着火方式で離島の場合) (欄P-37~P-40) ○1号 ホース排型とする。 鋼製 t = 1.6 mm 操作方法表示付き ○易操作性1号 ○広範囲型 2号 (型P-274 1.5.2、図P-80~89) 45° 回転型で1.0 MP a型とする(JIS規格)。 ○一般型 ○定圧定定量型 フート弁本体は、ステンレス製・樹脂製又は青銅製とする。 (棚P-261 1.2.8、図P-179) 屋内は原則保温不要、量外は図示による。 (棚P-310~321、図P-171,178) ・ 郷市310~321、図P-171,178) ・ 郷市ガス (発熱量 MJ/m) ○液化石油ガス (ブロバンガス) 発熱量50.2MJ/kg マイコン型 ○貸与品 の大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大

	・換気工事・排煙工事	
1. 設計条件	外気	室 内 一般系統 ()系統
	温度(DB) 湿度(RH)	温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (R
	夏季 ℃ %	℃ % ℃
2. ばい煙濃度計	冬季 ℃ %	°C % °C
2. はい圧振及前 3. ばいじん量		双出すものとして配管配線を含む。 [標P-114 1.1.3]
測定孔	○煙導の直線部に径80¢の孔	[標P-114 1.1.2]
4. 煙道	鋼板厚3.2mm以上	[標P-114 1.1.2
5. ダクト	風速(○低圧 ○高圧1 ○高圧2)	
	〇アングル工法 〇コーナーボルト	
	プランン部のタグト端折り返しは5m	m以上とし、ダクト折り返し部の四隅にはシールを施す。 [標P-210 2.2.2.2 ~ 標P-211 2.2.2.5
	厨房、浴室などの多湿箇所の排気ダク	フトは、その継目及び継手を外面よりシール材でシールを施
	必要により水抜管を設ける。	[標P-210 2.2.1, 図P-154~15
	※シール材:シリコンコム糸又はニト ないものとする。	トリルゴム系を基材としたもので、ダクト材質に悪影響を与 [標P-188 1.14.2.)
6. フレキシブル		現定により、不燃材料の規定を受けたもので、十分な
ダクト		するものとし、空調用の場合、断熱材付のものとする。
		[標P-195 1.14.9 , P-215 2.2.5.;
7. ダクトテーブ		ニウム箔(厚さ0.05mm以上)の片面に樹脂系接着剤を
	布したテープ状のものとする。 布製テープは不可とする。	[標P-188 1.14.2.
8. 風量測定口		〇外気取入付近 〇取付を図示されたダンパー近接部分)
	※取付辺300以下は1個、300を	を超え700以下は2個、700を超えるものは3個とする。
9. チャンバー	消音内貼を施す。	[標P-214 2.2.5.5] [標P-191 1.14.6]
. , , , ,	OSA·RA OOA·EA	[標P-214 2.2.6]
10. 配管材料	膨張管、空気抜管及び膨張タンクより	リボイラへの給水管は、配管用炭素銅鋼管(白管)とする。
11. 機器類の基礎		ペット〇簡易防振(ゴム被覆ばね)〇専用防振架台(ばね)
12. 吹出口及	防振パットは厚さ15mmとする。 原則としてアルミニウム製とする。	[標P-203 2.1.1 図P-133~13 [標 P-198 1.15.3~1.15.4
び吸込口	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
13. 温度計	標準仕様書によるほか、下記の箇所に	こ取付ける。
	○温水ボイラの温水入口○空気調和機廻りの給気風道、還気履	風道及び外気風道 [標 P-55 2.3.2]
	〇冷温水管寄せ(往)及び冷温水管寄	
14. 瞬間流量計	標準仕様書によるほか、下記の箇所に	こ取付ける。 〇瞬間流量計 〇流量測定口
及び流量測		終交換器の温水出口 ・冷温水管寄せの各送り管
定口 15. 膨張水槽	※測定用タッピングは32 φピトー管	膏流量計用とする。 [標 P-57 2.3.8] を使用し、外装はステンレス鋼板 O.3 t とする。
の保温		[標 P-83 3.1.2] [標 P-87 3.1.4
16. ダクトフラン	フランジ部は保温材2枚重ねとする。	または、フランジ高さ+10mmとする。 [標 P-87 3.1.
ジ部の保温 17. 換気方式	○第1種 ○第2種 ○第3種	
18. パイプフード	〇深型 〇浅型 〇ステンレス	
19. パッケージ	○着脱式防虫網付き ○ガラリ付き 耐塩処理(○要 ○不要) JRA	
型空調機	前温处理(O安 O小安) 3 R A	《順里場古山林
		JRA9002-1991) (空調機器の耐塩害試験基準)
20. 耐震支持	吊り長さ250mm以上の機器は耐震支持	を取る。
12. 保温工事 1. 保温仕様	[標 P-84, 監 P-299] 保温材,外装材及び補助材の材料仕材	様は、標準仕様書による。 [標 P-83 表2.3.1]
1. Male 14		5ものとし、保温材は図示がない場合は以下を標準とする。
	給水管,排水管,消火管,冷水管,	
	給湯管、温水管、一般ダクト 防ル区両等貫通佣所 蒸気管 排機	: グラスウール保温材 至ダクト, 煙道 : ロックウール保温材
13) 各種試験, 調	<u>.</u>	EVVII ALE VVV WALE
1. 給水設備		3業者の規定圧力。ただし、最小〔鋼管 1.75 M P a(
給湯設備	17.5 kgf/cm²)、ビニール (2)揚水管、圧送管は当該ポンプの全	レ管1.0MPa(10kg f/c㎡)〕とする。 >性毎にお光するにもの2件のにも
	〔最小0.75MPa(7.5kg	
	(3) 高置水槽以下の配管は、静水頭に	
	〔最小0.75MPa(7.5kg	
		『内給水管(但し、水道メーター以降とする。) ✓ - ㎡) 〕
	[0.75MPa(7.5kgf/ (5)飲料水用タンク設置の場合端末に	こおいて遊離残留塩素が0.2mg/L以上検出されるまで
	消毒を行う。(1m3に付き2cc	
- 100 1 70 100	(6) 水圧試験の保持時間は最小60分	<u> </u>
2. 消火設備	消防用設備等の機能等についての試験 各消火ポンプに連結される配管は、当	後基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。 4該ポンプの締切圧力の1.5倍の圧力とする。
	(1)液化石油ガス設備の気密試験は、	[標 P-82 2.9.5 高圧側 1.56MPa、低圧側 8.4Pa以上
3. ガス設備	10.0kPa以下とする。	[標 P-321 3.2.
3. ガス設備	I(2) ガス器具等と接続されているガス	く管ついては、ガス器具等直近のガス栓を閉めて と
3. ガス設備		<u> </u>
3. ガス設備	上記(1)の気密試験を行うこと	
3. ガス設備	上記(1)の気密試験を行うこと (3)漏えい試験は、ガス器具等直近の 実施すること。	Dガス栓を開いて使用圧力以上4.2 k P a 以下の圧力で
3. ガス設備	上記(1)の気密試験を行うこと (3)漏えい試験は、ガス器具等直近の 実施すること。	
	上記(1)の気密試験を行うこと(3)漏えい試験は、ガス器具等直近の実施すること。 (4)都市ガス等の気密試験・漏えい記	Dガス栓を開いて使用圧力以上4.2 k P a 以下の圧力で 試験は、ガス供給事業者の規定に基づく方法・圧力とする。
	上記(1)の気密試験を行うこと(3)漏えい試験は、ガス器具等直近の実施すること。 (4)都市ガス等の気密試験・漏えい記	のガス栓を開いて使用圧力以上4.2kPa以下の圧力で 試験は、ガス供給事業者の規定に基づく方法・圧力とする。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
3. ガス設備 4. 浄化槽設備 5. 空額設備	上記(1) の気密試験を行うこと (3) 漏入し試験は、ガス器具等直近の 実施すること。 (4) 都市ガス等の気密試験・漏入し記 槽の水張り、配管、各機器の動作、選 24時間満水試験は、開始時と終了時の	Dガス栓を開いて使用圧力以上4.2 k P a 以下の圧力で 試験は、ガス供給事業者の規定に基づく方法・圧力とする。

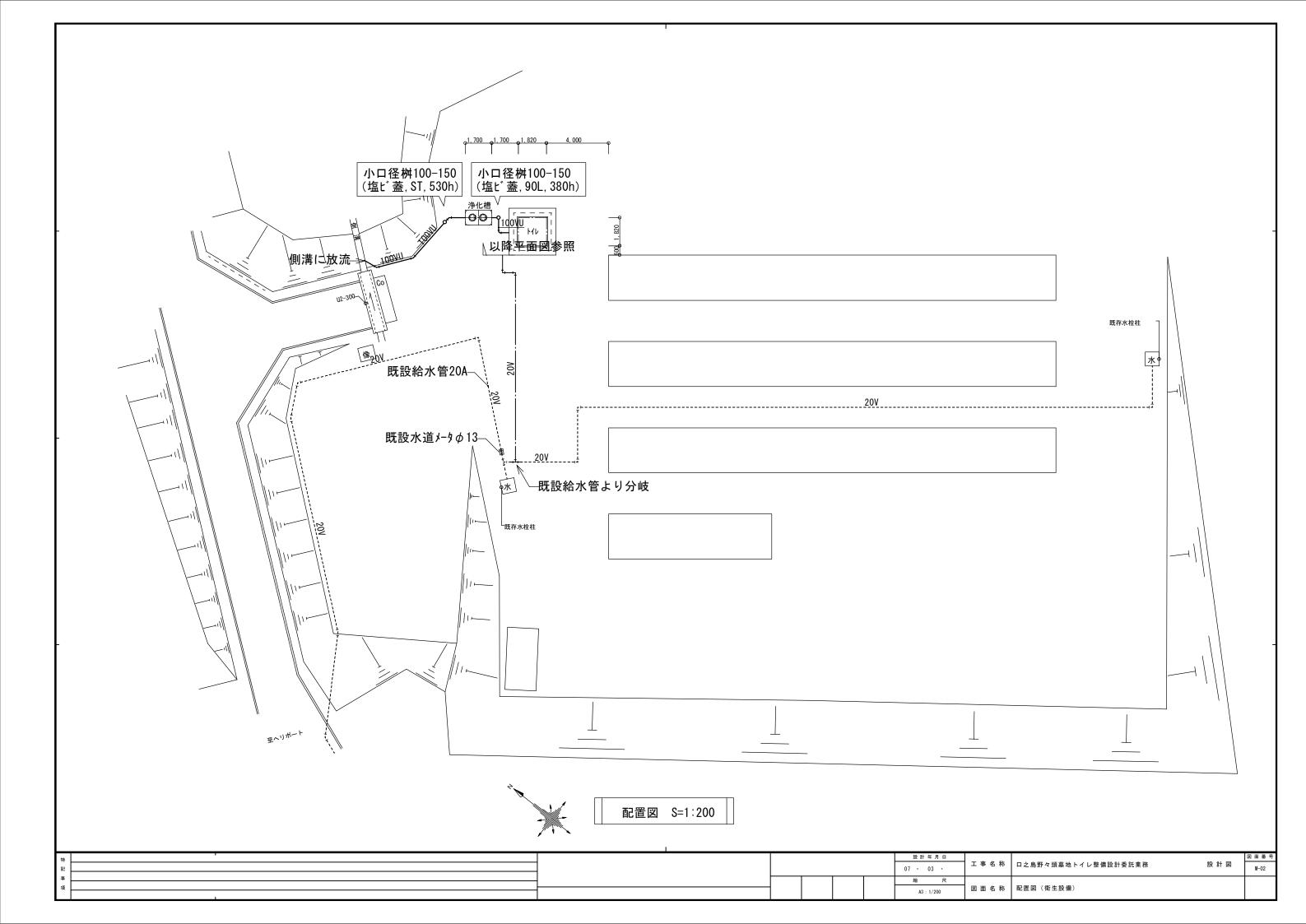
[標 P-350 2.2.2]
5. 空調設備
(1) 冷媒配管接続完了後、「高圧ガス保安法」等に基づいたメーカー指定の方法により気密試験を行う。
(2) 各種機器調整及び風量、風速、騒音、温度、湿度の測定等。 [標 P-245 2.4.1]
(3) 自動制御設備の総合調整を行う。 [標 P-245 2.4.2]
上記試験、調整状況の写真を終すること。

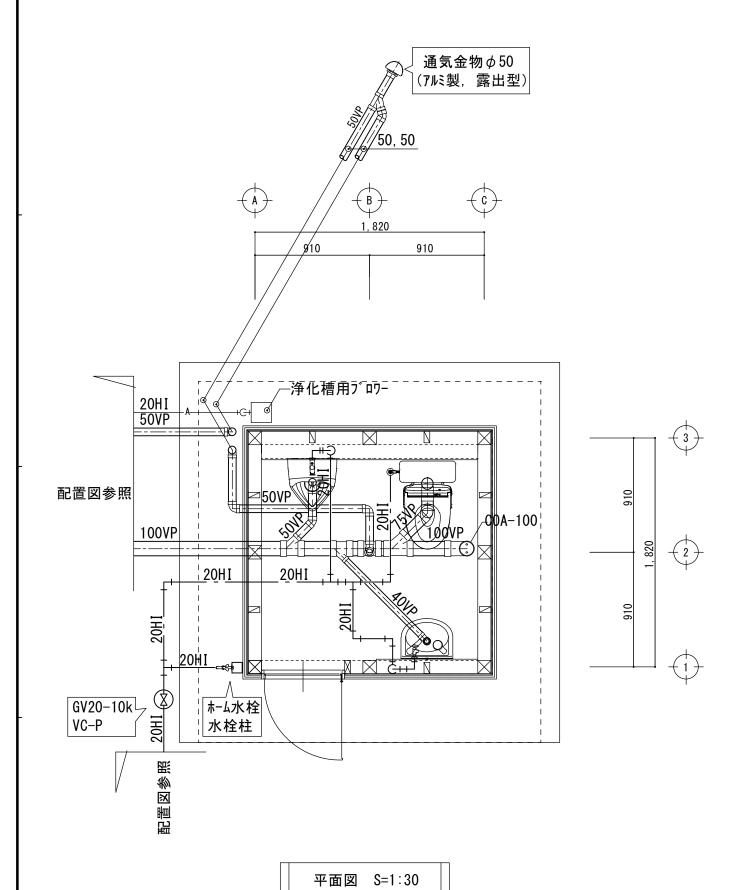
私工法:・グリーン購入法対象機器について
※「トップランナー制度」の対象製品については、当該製品の現場搬入予定時において、その基準をクリアしたものを採用すること。

※「グリーン購入法」の対象製品で、下表に指定したもの(機器表に特記がある場合も含む)については、当該製品の現場搬入予定時において、その基準をクリアしたものを採用すること。また、この表に記載のないものについては、皿-1-1によることとする。

(表) 対象指定製品 エアコン・温水器・給湯器・電気便座

		1				
特	'			設計年月日		図面番号
82				07 - 03 -	■ 工事名称 □ □之島野々頭墓地トイレ整備設計委託業務 設計図	M-01
事		Ī		縮尺		
項				N/S	図面名称 衛生設備 特記仕様書	





配管凡例表

記号	名 称		仕 様		
	給水管	屋内外配管	HIVP	JIS K 6742	
	排水管	屋外埋設	硬質ポリ塩化ビニル管	VU	JIS K 6741
E		屋内一般・土間	硬質ポリ塩化ビニル管	VP	JIS K 6741
	通気管	屋内一般・土間	硬質ポリ塩化ビニル管	VP	JIS K 6741

衛生器具表

名 称		参考型式・形状	数量	備	考
洋風便器	フラッシュタンク式	CFS498BC(フラッシュタンク式) TC301(普通便座),YH701(紙巻器)+T110D28	1		
小便器	フラッシュハ゛ルフ゛	UFH507CR (床置きタイプ) TG600PN (フラッシュバルブ)	1		
洗面器	自動単水栓 L250D (そで無し、中型)		1		
		TLE28SS1A (自動単水栓 AC100V)			
		T6BMP, TL250D, HH04060			
化粧鏡	盗難防止型	YM4560AE 17 (600*900), T110D28	1		
ホーム水栓	吐水口回転型	T200SNR13	1		
水栓柱		塩ビ製 H=1,200	1		

	1			設計年月日				図面番号	
				07 · 03 ·	工事名称	口之島野々頭墓地トイレ整備設計委託業務	設 計 図	M-03	
								++	
1	1			和 八					
	1 1	- 1			図面名称	平面図(衛生設備),配管凡例表,衛生器具表			
				A3: 1/30)				

			 様 表								
設計番号	-1										
型式名称	CA-5型										
処理対象人員											
汚水量	1.0 m3/	ď	j								
流入水質	BOD 200	mg/L	COD 100	mg/L	T-N 45mg/L		SS	160mg/L			
放流水質	BOD 20	mg/L	COD 30	mg/L	T-N 2	Omg/L	SS	15mg/L			
① 沈殿分離槽	i	有効容量			0. 317	m3					
② 嫌気ろ床槽	有効容量			0. 600	m3						
③ ピークカット部		有交	物容量		0. 120	m3					
④ 接触ろ床槽	i	有交	物容量		0. 296	m3					
⑤ 処理水槽		有交	物容量		0. 165	m3					
⑥ 消毒槽		有交	物容量		0. 015	m3					
総容量		有效	物容量		1. 513	m3					
機器装置 仕様											
嫌気ろ床槽ろ材	(円筒状)	PPa	ŧたはΡΕ		充填率	43	%				
接触ろ床槽ろ材	(ロール状)	PPa	ŧたはΡΕ		充填率	61	%				
接触ろ床槽ろ材	(板状)	PP a	ŧたはΡΕ		充填率	21	%				
ブロワー	60L∕min d		b 13 連続		運転	1台					
槽本体		FRP									
パイプ類	<u> </u>	PVC、PPまたはPE									
マンホール		FRP	(500K) ボル	トロック							
消毒剤		固刑	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /								

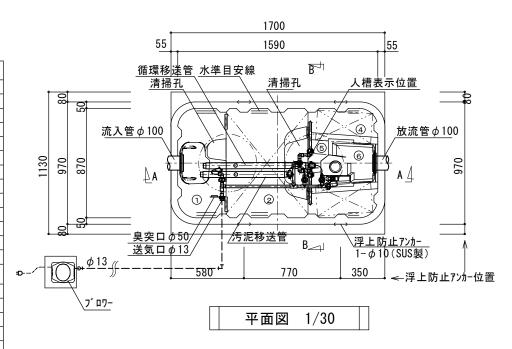
配管仕様				
露出配管(ブロワー廻り)	VP			
土中配管	φ40以下~VP·φ50以上~VU			
槽内配管	メーカー仕様			

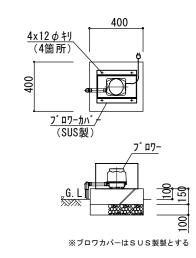
- 注1)上部は歩行者荷重とする。
- 注2)機器電源は単相100Vとする。
- 注3) 図中の"G.L"は浄化槽位置での仕上げい、ルを示す。
- 注4) 浄化槽からプロワーまでの距離は5m以内とする。
- 注5) 流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注6) 臭突管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注7) プロワー付近にコンセントx1を設置のこと。設置は浄化槽工事範囲外とする。
- 注8)岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウェルポイント工事は別途とする。

栗石又は切り込み砕石

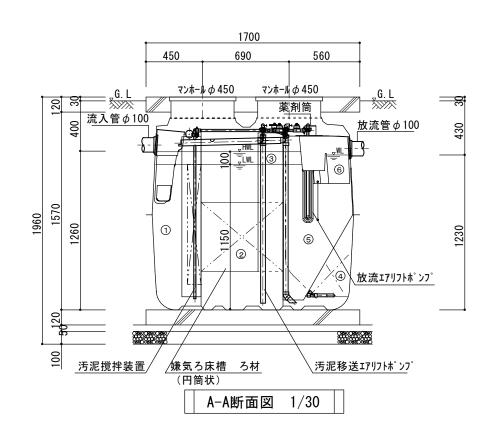
注9)製品全高は、製品規格で+10、-20mmの公差があります。 流入・放流管底は、製品規格で製品全高に対し±10mmの公差があります。

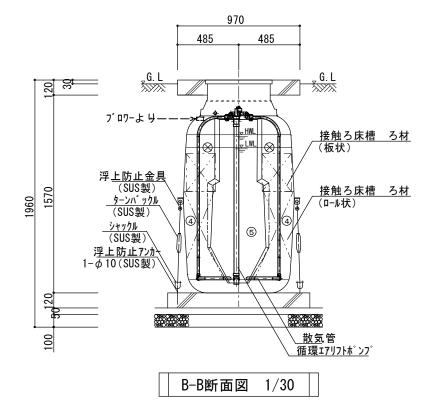
<一般事項>
コンケリート強度
・スラブ・コンケリート Fc=18N/mm2
・ベースコンケリート Fc=18N/mm2
・捨てコンケリート Fc=15N/mm2
鉄 筋 SD295A
定着及継手 40d
開口補強筋 4-D10シンケブル
地 業 目潰し砂利



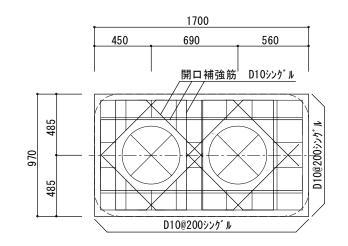


ブロワ- 平・断面図 1/30

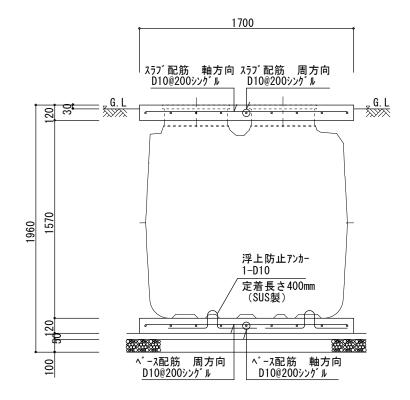




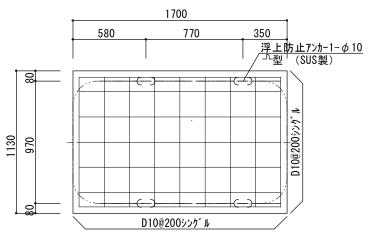
					1		•		
h					設計年月日			-n -1 m	図面番号
82				07 • 03 •	工事名称	口之島野々頭墓地トイレ整備設計委託業務	設 計 図	M-04	
*						-			$\overline{}$
項					WE /	】 図 面 名 称	净化槽設備図1		
,					A3: 1/30		The terms have a		

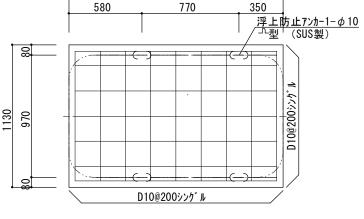


スラブ配筋図 1/30

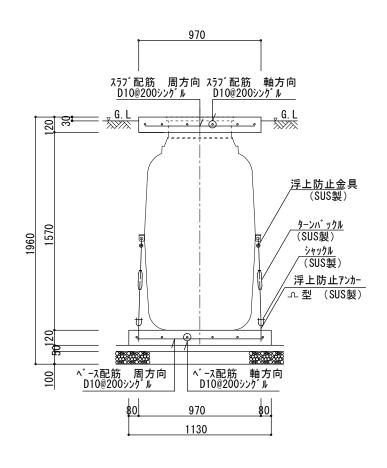


A-A断面図 1/30





ベース配筋図 1/30



周方向断面配筋図 1/30

設計年月日 07 · 03 ·		設計年月日				図面番号	ı
		工事名称	ロ之島野々頭墓地トイレ整備設計委託業務 設 計 図	M-05			
	縮	尺				ı	
		A3 : 1	/30	図面名称	净化槽設備図2		ı

浮上防止アンカーSUS製 /1-φ10 定着長さ400mm

(計4ヵ所)

浮上防止アンカー詳細図 1/30